

## 平成28年度入学式の挙行 本学永年勤続者表彰に74氏

お知らせ

- ・平成27年度実施大学機関別認証評価結果について
- ・平成28年度 人間ドックの実施について





学位記授与式



入学式

## 全学ニュース

- 1 平成27年度学位記授与式の挙
- 3 総長告辞（学士学位記授与式）
- 5 来賓祝辞（学士学位記授与式）
- 7 平成28年度入学式の挙
- 8 総長告辞（入学式）
- 11 役員等を対象とした「情報セキュリティ講習会」を開催
- 11 ベトナム政府叙勲に北海道大学病院の三古谷忠診療教授
- 12 本学永年勤続者表彰に74氏
- 13 名誉教授に32氏
- 14 北大フロンティア基金
- 16 平成28年度北海道大学の予算
- 18 平成27年度北海道大学大塚賞授与式を挙
- 18 平成27年度クラーク賞表彰式を挙
- 19 平成27年北大えのむ賞授与式を挙
- 20 平成27年度北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－表彰式を挙
- 21 平成27年度北海道大学企業研究セミナーを開催
- 22 北海道大学交流デー（忠北大学校、釜山大学校）を開催
- 23 北海道大学交流デー（ゲント大学）を開催
- 24 北海道大学交流デー（中国 南開大学）を開催
- 25 国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学グローバルステーションが第3回シンポジウムを開催
- 26 「アクティブ・ラーニング入門ワークショップ」を開催
- 26 「TF振り返り研修会」を開催
- 27 「Teaching in Englishワークショップ（第1回）」を開催
- 27 平成27年度総長室事業推進経費による研究支援事業（Fusion-H）研究成果報告会を開催
- 28 「平成27年度工作技術フォーラム」を開催
- 29 第13回創成シンポジウム「ためてませんか？フードマイレージ-たべて・つくる・みらい-」を開催
- 30 第12回「食と健康」研究会を開催
- 30 北海道地域4大学1高専による新技術説明会を開催
- 31 北大発ベンチャー促進懇談会年次報告会を開催
- 32 保健センターで第3回健康キャンパス北大「健康づくり支援セミナー」を開催

## 部局ニュース

- 33 スウェーデン王国国会議員団が北海道大学病院を訪問
- 33 マレーシア高等教育大臣が北海道大学病院陽子線治療センターを視察
- 34 次世代ポストゲノム研究センターを改組し「次世代物質生命科学研究センター」を発足
- 34 先端生命科学研究院が“部局設置型”産業創出講座を次世代物質生命科学研究センターに設置
- 35 水産科学院各種表彰授賞式を挙
- 35 水産学部キャンパス移行式及びびくろしお賞授賞式を挙
- 36 薬学研究院が第7回薬学研究院研究発表会（FD研修会）を開催
- 36 国際広報メディア・観光学院が北京と上海で留学説明会及び同窓会を開催
- 37 国際広報メディア・観光学院が台北で留学説明会及び同窓会を開催
- 38 第14回北海道大学・北京科技大学ジョイントシンポジウムを開催
- 39 喜田 宏名誉教授に「人獣共通感染症リサーチセンター特別招へい教授」の称号を授与

- 40 教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教職高度化研究部門がフォーラム「今後の教職制度改革と大学院における教職の高度化」を開催
- 41 公共政策学研究センターが「第4回北海道ダイアログ：東アジアにおける市民社会対話」を開催
- 42 社会科学実験研究センターで「2015 SAGE-Hokkaido Award for Best Journal Article in Social Sciences」授与式を挙
- 43 脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第12期修了生に修了証書授与
- 43 脳科学研究教育センター発達脳科学専攻の開講式を挙
- 44 北海道大学病院で新規採用者多職種合同歓迎会を開催
- 45 物質科学リーディングプログラムが原山優子氏・有本建男氏を招いてパネルディスカッションと特別講演会を開催

## お知らせ

- 46 平成27年度実施大学機関別認証評価結果について
- 47 平成28年度 人間ドックの実施について

## 博士学位記授与 48

## 同窓会との交流

- 65 函館同窓会「総会及び懇親会」
- 65 文学部同窓会、文学研究科が楡文賞受賞記念講演会を開催

## レクリエーション

- 66 平成27年度 北大山岳会山行記録

## 諸会議の開催状況 67

## 学内規程 69

## 表敬訪問 76

## 人事 77

- 103 新任監事・副学長・部局長等紹介
- 106 副理事・部局長等（再任）紹介
- 107 新任教授紹介
- 113 新任部課長等紹介

## 訃報

- 118 名誉教授 秀島 光夫 氏

## 資料

- 119 平成28年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ
- 120 平成28年度入学者の都道府県分布及び地域比率

## ■全学ニュース

# 平成27年度学位記授与式の挙

平成27年度学士学位記授与式



学位記を受ける総代

平成27年度学士学位記授与式を3月24日（木）に、本学第一体育館において執り行いました。

学位記授与式は、来賓、役員、学部長等の列席の下、北海道大学交響楽団による「エルムの鐘」の演奏の後開始され、水産学部を除く11学部の卒業生2,331名を代表し、各学部の総代へ学部長から学士学位記が授与されました。

山口佳三総長は卒業生への告示の中で、「時代に流されないしっかりとした指針を持って人生を歩み、その際、2つのことをぜひ、心に留め置いてほしい」ことを述べました。1つ目は、「生涯にわたって学ぶ姿勢を身につけること」であり、「自ら学ぶことの大切さを体得した人は、これからの未来を自力で切り拓いていける」こと、「学び続けることは、絶えざる自己革新を求めることでもあり、フロンティア精神をもってこれからの人生を切り拓いてほしい」ことを述べました。2

つ目は、「これからの人生を、常に社会と向き合って歩む」ことであり、「これからは、自分を育んでくれた社会にどう関わられるのか、どんな貢献ができるのかを問い続けてほしい」ことを述べました。

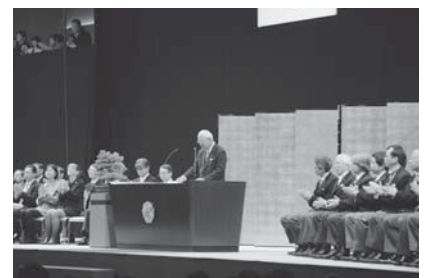
最後に、「夢と勇気と大志を持って、新しい船出をされることを祈念しております」とのはなむけの言葉が贈られました。

続いて、北海道大学連合同窓会会長の石山 喬氏から卒業生へ向けて、「大きく変動する世界を切り拓き日本を輝かせる力は、北大の4つの基本理念をしっかりと自分の中で養っていくことから生まれる」との言葉が贈られ、その後出席者全員による「都ぞ弥生」の斉唱で式は終了しました。

また、翌3月25日（金）に、ロワジールホテル函館において水産学部卒業生193名を代表し、各学科の総代へ水産学部長から学士学位記が授与されました。



告辞を述べる山口総長



祝辞を述べられる石山会長



会場の様子

平成27年度修士・専門職学位・博士学位記授与式

平成27年度修士・専門職学位・博士学位記授与式を、学士学位記授与式終了後に、第2体育館において執り行いました（水産科学院については翌日挙行）。

修士・専門職学位・博士学位記授与式では、役員、研究科等の長の列席の下、14研究科等の修士課程修了者1,378名を代表し、各研究科等の総代へ修士学位記が、また、法科大学院（法学研究科法律実務専攻）修了者49名、経済学研究科会計情報専攻修了者15名及び公共政策学教育部公共政策学専攻修了者19名を代表し、各研究科等の総代へ専門職学位学位記が、各研究科等の長から授与されました。

引き続き、16研究科等の博士課程修了者264名、論文博士17名を代表し、各研究科等の総代へ、山口佳三総長か

ら博士学位記が授与されました。

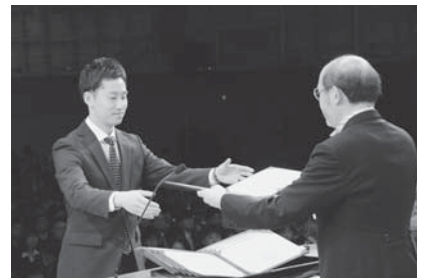
この後、総長告辞があり、最後に北海道大学交響楽団の弦楽四重奏による「都ぞ弥生」の演奏で締めくくられました。

翌3月25日（金）には、ロワジールホテル函館において、水産科学院の修士課程修了者106名を代表し、各専攻の総代へ水産科学院長から修士学位記が、また、博士課程修了者14名、論文博士1名に対し、山口佳三総長から博士学位記が授与されました。

学部・研究科等別の卒業者数、修了者数及び論文博士授与者数は以下のとおりです。

博士学位記授与者については、本号48ページに掲載しています。

（学務部学務企画課）



学位記を受ける総代



水産学部応援団のエール

学部別卒業生数一覧

学部名	卒業生
文学部	192
教育学部	61
法学部	206
経済学部	184
理学部	299
医学部	300
歯学部	54
薬学部	91
工学部	678
農学部	225
獣医学部	41
水産学部	193
計	2,524

研究科等別大学院修士課程・専門職学位課程修了者数一覧

研究科等名	修了者	研究科・教育部・専攻名	修了者
文学研究科	73	法科大学院（法学研究科法律実務専攻）	49
法学研究科	12	経済学研究科会計情報専攻	15
経済学研究科	29	公共政策学教育部公共政策学専攻	19
医学研究科	19		
情報科学研究科	181		
水産科学院	106		
環境科学院	113		
理学院	123		
農学院	153		
生命科学院	97		
教育学院	47		
国際広報メディア・観光学院	43		
保健科学院	37		
工学院	310		
総合化学院	141		
計	1,484	計	83

研究科等別大学院博士課程修了者及び論文博士数一覧

研究科等名	課程博士	論文博士
文学研究科	22	1
法学研究科	4	0
経済学研究科	2	1
医学研究科	49	3
歯学研究科	32	0
獣医学研究科	8	3
情報科学研究科	22	0
水産科学院	14	1
環境科学院	14	2
理学院	12	0

研究科等名	課程博士	論文博士
農学院	19	5
生命科学院	23	1
教育学院	2	0
国際広報メディア・観光学院	4	0
保健科学院	7	0
工学院	17	1
工学研究科	0	0
総合化学院	27	0
計	278	18

## 学士学位記授与式

北海道大学総長 山口 佳三

平成27年度学士学位記授与式を迎えられました卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、これまで皆さんを物心両面から支え、励ましてこられたご家族や関係者の皆様に対しまして、北海道大学の教職員を代表して心よりお礼とお祝いを申し上げます。

本日、晴れて本学の学士学位記を授与され巣立っていかれる卒業生は、12学部合わせて2,524名で、このうち女性が770名、留学生が21名です。留学生の皆さんにとって、環境も習慣も異なる異国の地での生活は、大変であったろうと思います。本日、無事に卒業の日を迎えることができましたことを、心より嬉しく思います。

卒業生の皆さんが北海道大学で過ごされた4年ないし6年の生活は、いかがでしたでしょうか。皆さんの中の多くの人は、本学における総合入試による卒業生です。皆さんは、1年生では、総合教育部で学部を超えた仲間との学びを経験されました。そうした皆さんが、入学前に抱いていた夢や希望あるいは期待は、実現できたでしょうか。夢がかなったという人、多くの友人を得たという人、クラブやサークル活動で充実した日々を過ごしたという人もいるでしょう。一方で、辛い思いをし、悩み、挫折を味わったという人もいるかもしれません。今、学士の課程を終え、卒業という節目を迎え、これまで自分の歩んできた道を振り返る良い機会であろうと思います。

皆さんは、北海道大学の教育研究の基本理念が、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」そして「実学の重視」の4つであることをよくご存知だと思います。このような理念の下で学ばれた皆さんは、高邁な大志と国際的な視野を持ち幅広い教養を通して、自ら考え行動できる能力を養ってきたはずです。このエルムの学園での学びの時を振り返って、次のステップへの糧としてください。

さて、卒業後の皆さんは企業に就職する人、国や地方の公務員として働く人、専門的知識と技術を持って医療の世界へ進まれる人、あるいは大学院に進学される人など、それぞれの進まれる道での活躍が期待されています。また、皆さん一人ひとりが大きな期待と同時に、若干の不安を抱かれています。

ここで、皆さんが巣立っていかようとしています社会の、ここ何年かの状況を振り返りたいと思います。5年前の2011年には、東日本大震災が発生し、東日本の広範囲が未曾有の被害を受けました。皆さんの中にも、大変な時を経験された方もいらっしゃいました。それまで、リーマンショックによる世界的な経済の冷え込みのため、停滞を余儀なくされていた日本の社会は、さらなる困難の時を迎えました。その中で、被災者の振る舞い、阪神大震災の教訓をも生かした社会のいろいろな階層からの支援の取り組みは、日本の社会に前途への明るい光となりました。さらに、政権も変わり、2012年の末以来は、アベノミクスが登場し、経済的にも不況脱出の可能性が見えてきたとされていましたが、今年に入ってから、日本初となる「マイナス金利」の導入が決定されるなど、不安定な経済状況となっています。また、世界に目を向けると、日中韓の政治的摩擦、EUの経済危機、移民問題を含めた中東情勢、さらにはアメリカ大統領選挙の行方といった世界の政治状況が、日本国内の将来の動向を左右しています。

こうした状況の中でも、私は、皆さんが時代に流されないしっかりとした指針を持って、これから踏み出される人生を歩んでほしいと願っています。その意味で、今から述べる2つのことをぜひ、心に留め置いてほしいと思います。

その一つは、生涯にわたって学ぶ姿勢を身に付けることです。皆さんを取り巻く現代社会において、技術革新の流れは一段と速まり、ここ10年のITの発展は、通信手段、情報発信のありようを個人のレベルでも一新させました。それによって、皆さんが身に付けるべき素養・知識も一変したといえます。大学で学んだことも、これから大学院に進んで修得する学問・技術も、日進月歩で進化し、10年後には、最早通用しない知識・技術となっているでしょう。ですから、皆さんは生涯学び続ける習慣を、必然的に身に付けなければなりません。そして、自ら学ぶことの大切さを体得した人は、これからの未来を自力で切り拓いていくでしょう。また、学び続けることは、絶えざる自己革新を求めることでもあります。フロンティア精神を持ってこれからの人生を切り拓いてください。

2つ目に、心に留めてほしいことは、これからの人生を、常に社会と向き合って歩むということです。皆さんは

これまで、それぞれの家庭、学校、学部という環境の中で、生まれ、自己研鑽を積み重ねてきました。その歩みは、しばしば受け身なもので、自己を見つめることに偏っていませんでした。そして、大学の学びの中で、自己を点検し、社会の中での立ち位置をも探し求めてこられたことと思います。そうした皆さんが、社会に踏み出さんとするこの時、これからは、自分を育ててくれた社会にどう関わられるのか、どんな貢献ができるのかを常に問い続けてほしいと思います。時代と共に、社会の様相は絶え間なく変化します。その中であって、しっかりと自らの立ち位置を点検し、自らの進路を切り拓いて、社会との関わりを求めてください。そして、社会への貢献を常に意識してください。

本日、学位記授与式を迎えられた皆さんにとって、北海道大学での学びを通して得た知識や能力、課外活動等で得た経験、そして何よりも学生生活の中で得た生涯の友となる友人は、これからの皆さんの歩みの糧であります。こうした糧を胸に、巣立っていかれる皆さんには、行かれた先に、学部ごと、あるいは地域の北大同窓会もあります。こうした同窓生との交わりをも通して、母校である北海道大学のこと、皆さんの後輩のことも思い出してください。

最後になりますが、皆さんが、夢と勇気と大志を持って、新しい船出をされることを祈念しています。皆さんの母校である北海道大学もさらなる国際化と、「世界の課題解決に貢献する大学」たることを目指して挑戦することを約束して、告辞の結びとします。

## 学士学位記授与式

北海道大学連合同窓会会長 石山 喬

只今ご紹介いただきました、昭和42年卒業、連合同窓会会長の石山です。

昨年もこの場所で感じたのですが、女性のきれいな着物姿が、針葉樹の山の中で桜が咲き誇っているように見え、まさに春が来たと言える情景で、見ているだけで心が浮き立つような感じがします。

本日はご卒業おめでとうございます。

今年は新たに2,524名の皆さんを私たち同窓生の仲間を迎え入れることができ、大変喜ばしく思います。ここには大学院に進む人も社会に出る人もおられますが、社会に出られる人は特に、これから始まる新しい人生に対して、期待と不安を持たれていることと思います。

私は皆さんに先立つこと49年前に北大を巣立って会社人生を送ってきました。社会人になって最初の頃は、自分の立ち位置は全く分からないもので、偉そうな人が大勢いるし、同期生も顔だけ見れば優秀そうだし、多くの社員の中の一人でしかないわけで、自分が会社に対してどのように役に立つのかも分からなく、大学を出てそろばんもできないのか等、冷やかされたりしていました。こんな時、あまり張り切っていると心身症になってしまいます。私はあまり真面目ではなかったもので、同期の仲間と徒党を組みアイスホッケーのチームを作ったり、スキー場の斜面を借りてスキー大会を開いたり、学生時代の延長線のように青春を発散させていました。そのうち色々な仕事を与えられるようになり、責任ある仕事を任せられるようになりました。そして自分の属している組織の目標も理解でき、それに対して自分が果たしていかなければならない役割や責任が明確になり、会社に馴染んでいくことができました。その後はオイルショックや、日本の企業がニューヨークのロックフェラーセンターを買収するようなバブル時代、あるいはその崩壊後の失われた20年と言われるデフレ時代のような社会の変化や会社の業容の変化に伴って、国内や海外の広い範囲の事業に従事してきました。

皆さんにしっかり覚えておいていただきたいことは、皆さんが大学で学んできた専門についてあまり拘らないでいただきたいということです。何故かというとな企業が皆さんに期待するのは、これから何をしてくれるのかです。企業

は皆さんの可能性に投資していくのです。どのような状況になろうとも企業はしっかり生き延びていくことが大切で、それを可能にしてくれるかどうかは、皆さんが立派な企業人として育っているかどうかです。よく言われるように、強い者が必ずしも生き延びるのではなく、変化に良く対応した者が生き延びるからです。

ここで、現在の世の中の激しい変化について少し述べさせていただきますと思います。この10年ほどの間で、日本の経済に一番大きな変化をもたらしたのは円相場の変動です。2006年には1ドル120円まで安くなっていた円が2010年には80円台まで上がり、日本の輸出競争力は大変弱くなりました。2011年には東日本大震災が起き、日本の保険会社が保険金支払いのため海外資産を売って円を増やすだろうとのことで、75円台という戦後最高値まで上がりました。2011年にアベノミクスが打ち出され120円台まで安くなりましたが、最近また、世界経済のリスク警戒や原油価格の下落によって円高基調で動いています。日本の企業は売上や収益の50%ほどを海外の事業所で上げるようになっていますから、為替の変動は企業業績に大きな変動をもたらします。企業の置かれた状況も激しく変化しています。

たとえば世界の鉄鋼最大手にアルセロールミタルという会社がありますが、10年ほど前に世界の鉄鋼会社を買収して大変な勢いで大きな会社になりました。新日鉄も買収されてはたまらないということで、企業の買収防止策をあわてて作らざるを得なかったほどの会社です。しかし中国の安値輸出により2015年は9千億円の赤字を出して大変苦しんでいます。

皆さんもよくご存じの富士フィルムは、フィルムの世界でコダックを抜いて世界のトップ企業になりましたが、カメラのデジタルカメラ化により、今やメディカルサイエンス企業として、主力を薬品や化粧品に変え立派な業績を上げています。ビールや洋酒の世界でも、国内は胃袋の数が減少していきますから、酒造メーカーは各社共盛んに海外進出を行っています。

20年以上前になりますが、アメリカで最後まで残ったテレビ製造工場が閉鎖されたという記事を読んでこれは大変なことだなと思いましたが、皆さんもご存じのようにテレビはもう日本では殆ど作られていません。最近の大きな出

来事では、あの液晶テレビで世界をリードしたシャープでも台湾の会社を買収されることになりました。電子産業全体で2000年には26兆円の売り上げのあったものが、2013年には11兆円まで減少しています。また、その他大きな変動要因としては、中国の海外膨張、北朝鮮の核装備、IS等の宗教的対立等、世界の平和を妨げるようなことが次々に起こっています。

私はこのような話をして、これから社会に出て行かれる皆さんの張り切っている気持ちを縮こませようと思っ  
ているわけではありません。私達は常にこのように大きく変動する世界の中で生きています。これが大学の外の世界の  
実態です。私達がこのような世界を切り拓き日本を輝かせていく力は、北大の4つの基本理念である「フロンティア  
精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」、  
これらをしっかり自分の中で養っていくことから生まれて  
くると思います。私にとってこの4つは企業人としても経  
営者としても大切な理念です。

話は変わりますが、今、同窓会は組織を変える作業に  
入っています。同窓会を校友会の形にして、現役学生、大  
学の関係者すべてを会員とした組織に生まれ変わろうと計  
画しています。これは大学の法人化に伴い、大学への同窓  
生からの支援活動が大変重要になっているからです。北大  
に関係のある人全てに北大校友会としての籍を持っていた  
だき、言ってみれば国籍のようにし、大学の外では東京や  
関西、各学部の同窓会に、住民票のようにしてそこに登録  
し活動していただく。活動としては、学生の就職支援、会  
員の転職支援、国内・海外のインターンシップの受け入  
れ、新渡戸カレッジフェローの推薦、大学のホームカミン  
グデーの共同開催や学外活動の支援、フロンティア基金へ  
の支援、変わったところでは東京同窓会の500人集まる新  
卒者歓迎ジンパがあります。このジンパは若い人達の企画  
運営で、会費は早割、彼女割引、彼氏割引、家族割引があ  
り、会員の会費が一番高いというものです。これらは以前  
の同窓会と違って、若い人達に企画運営をしていただき、  
社会におけるリーダーシップをとる練習の機会にもなっ  
ています。会社の仕事は組織で動きますが、同窓会活動は全  
員がボランティアですので、これを組織化し運営できれば  
会社の組織を動かすのは簡単です。また、普段ではなかな  
かお目にかかれないような、企業のトップとして活躍中の  
先輩方とも大変フラットな関係を持つことができ、色々な  
相談にも乗っていただけます。一緒に肩を組んで「津軽の  
海」を歌えばそれでOKです。皆さんもぜひ校友会に参加  
し、積極的に活動していただきたいと考えます。

最後になりますが、皆さんがそれぞれの人生で明るく輝  
いていただくことを祈念して、私のご挨拶とさせていただきます。

ご卒業誠におめでとうございます。

これを持ちまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



## 平成28年度入学式の挙行



総代による入学者宣誓

平成28年度の入学式を、4月8日（金）に札幌コンベンションセンターにおいて執り行いました。

式は、来賓の連合同窓会会長 石山喬氏、文部科学省科学技術・学術政策研究所長 川上伸昭氏、米国、中華人民共和国及びオーストラリア領事館からの代表者、丹保憲仁元総長並びに理事、副学長、監事及び部局長の列席の下、北海道大学交響楽団による「エルクの鐘」の演奏により開始され、山口佳三総長から新生入生に対し告辞が述べられました。

はじめに、山口総長は告辞の中で、本学において人生における大きな宝物となる生涯の友を多く作ってほしいと述べました。

そして、本学の概要の紹介後、本学の4つの理念である「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」を学生生活を送る上で常に意識してほしいと述べました。

この中で、今後の学生生活の中で大いにチャレンジ精神とフロンティア精神を発揮して、自らの道を切り拓いてほしいこと、「新渡戸カレッジ」や「現代日本学プログラム」、「Hokkaidoサマー・インスティテュート」や「ラーニング・サテライト」などの事業を通して、これから必要不可欠となるコミュニケーション能力を養ってほしいこと、全世界から学生が集まる本学の環境の下、多くの友人と接し、自らを省み、自己研鑽をしてほしいこと、環境問題やエネルギー問題や経済問題など、現代社会が直面する問題は全て複合的な課題であることから、その解決には科学技術のみならず社会科学の最前線における活動が求められているため、常に自分と社会との関わりを意識してほしいと述べました。

そして、最後に、これから研究という誰も踏み入ったことのない領域を手探りで行う作業へ進むに当たり、自分

流の学び方・姿勢を探し、確立してほしいと激励の言葉を述べました。

続いて、留学生38名を含む2,606名の入学者を代表して、山田啓明さんによる入学者宣誓が行われました。

その後、来賓、本学理事、副学長、監事及び部局長の紹介と続き、北海道大学交響楽団による「都ぞ弥生」の演奏で式は終了しました。

入学式終了後には、本学卒業生であり、文部科学省科学技術・学術政策研究所長 川上氏から「本学卒業生からのメッセージ」としてご講演いただき、引き続き新田孝彦理事・副学長から「北大生活を送るにあたっての心構え」についてのガイダンス、北海道大学合唱団による「都ぞ弥生」及び「斎太郎節」の合唱が行われ、全ての行事が終了しました。

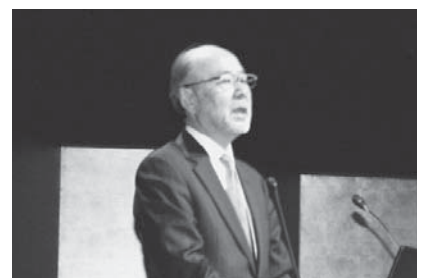
(学務部学務企画課)



告辞を述べる総長



川上氏から後輩へのメッセージ



新田理事・副学長によるガイダンス

# 入 学 式

北海道大学総長 山口 佳三

新入生の皆さん、北海道大学へのご入学おめでとうございます。

北海道大学の教職員を代表して、皆さんの入学を心より歓迎いたします。また、晴れの日を迎えた皆さんの、今日までの勉学と生活を支えてこられたご家族をはじめ、関係者の方々のお慶びもいかばかりでしょうか。ご家族、関係者の皆様には、引き続き、新入生の本学での成長を温かく見守り、励ましてくださいますよう、お願い申し上げます。

さて、今年の本学への入学者は2,606名で、そのうち男子学生が1,819名、女子学生は787名であります。また、入学者の中には、留学生38名、帰国子女12名が含まれています。この留学生の中には「現代日本学プログラム課程」の学生が19名含まれています。さらに、国内においては、道内出身者が935名、道外出身者が1,672名となっており、今年には道内出身者の比率が35.9%となりました。

このように、生まれた国や地域、育った環境も異なる皆さんが、この日本一美しいキャンパスを持つ北海道大学で学び、課外活動やボランティア活動などを通じ、お互いに競い、励まし合っていくこととなります。この北海道大学で、ぜひ、生涯の友となるような多くの友人を作ってください。その友人こそが、皆さんのこれからの人生における大きな宝物となることでしょう。

さて、ここで北海道大学のこれまでの歴史を簡単に振り返りたいと思います。

本学は1876年、明治9年に設立の札幌農学校に始まり、東北帝国大学農科大学を経て、大正期に北海道帝国大学となりました。昭和に入り、太平洋戦争後に北海道大学となり、文学部を含む総合大学へと成長し、2004年4月、現在の国立大学法人北海道大学となりました。また、大学の規模も、国立大学の中で最も多い12の学部を持ち、18の研究科・学院等を有する我が国の基幹総合大学となっています。この間、2010年にノーベル化学賞を受賞された鈴木章先生のクロスカップリングの研究をはじめ、多くの優れた研究成果を生み出すとともに、社会に貢献する有為な人材を全世界に輩出してまいりました。

本学が国立大学法人となった際、本学の教育研究理念として「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」

それに「実学の重視」の4つを掲げました。これは創立時の教頭であったウィリアム・S・クラーク博士以来、140年の歴史の中で醸成されてきた、本学の教育研究の基本姿勢をもとに決定したものであります。その意味で、北海道大学は、国立大学では珍しく、建学の精神・理念を持った大学であると言えるでしょう。

さらに、2014年には、これら4つの基本理念を踏まえた「北海道大学創基150年に向けた近未来戦略（北海道大学近未来戦略150）」を策定し、「世界の課題解決に貢献する北海道大学」を目指すべく、その目標を掲げています。そして、北海道大学は現在、この戦略を具体的に実行する施策として2014年度に採択されました、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業トップ型の、「Hokkaidoユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」構想によって、その目標の実現を図ろうとしています。この構想をスタートして今年で3年目となりますが、本学は教育研究を通して、皆さんを我が国のみならず、これからの世界を勇気を持って先導していくような、国際性豊かで人格に優れ、Lofty Ambition（高邁なる大志）を持った人材に育てることを目標としています。

ですから、これから北海道大学における学園生活が始まる皆さんにも、この4つの基本理念を理解していただきたいと思います。

「フロンティア精神」は、まずもって、未知の領域を切り拓く精神です。先人の後を追うのではなく、まだ誰も手をつけたことのない未開の地に挑むことです。ここにいらっしゃる多くの皆さんにとって、北海道という土地柄も、フロンティアであると言えるでしょう。大学における学びの中では、高校までのように与えられた教科をこなすだけではなく、何を学んでいくのか、自らの選択によって決めていく必要があります。そしてその選択は、自らの人生の方向を決めていくことでもあります。こうした学士課程の学びの中で、また課外活動等を含めた学生生活のなかで、大いにチャレンジ精神とフロンティア精神を発揮して、自らの道を切り拓いていってください。

「国際性の涵養」は、今日のグローバル化した社会の中では必然の要請です。IT、特にインターネットの発達には、情報が一瞬にして世界を巡る環境をつくりあげました。そのため、一つの国での政治的、経済的あるいは社会

的な動向が、すぐさま世界中に影響を与え合う国際社会となりました。こうした世界の中で、これからの人生を切り拓いていこうとする皆さんには、コミュニケーション能力が必要不可欠です。本学では、2013年度より「新渡戸カレッジ」を立ち上げ、毎年200名（1年生は120名）の学生を選抜し、カレッジ生には、卒業までに、実践英語をはじめとするカリキュラムを用意して、日本及び異文化理解を深め、原則1セメスター以上の海外留学を義務付ける特別教育プログラムを開始しています。この「新渡戸カレッジ」は、札幌農学校の第2期生であり、国際的に活躍された新渡戸稲造博士の精神を受け継ごうとするものです。また、このプログラムでは、北海道大学連合同窓会の協力のもと、国際経験豊かな同窓生が、カレッジ生のフェローとして、皆さんが国際社会に出ていくための様々な支援を行います。多くの新入生がこれに挑戦して、自らの新たな道を切り拓いてくれることを期待しています。さらに、本学では、昨年4月より「現代日本学プログラム課程」を開始し、毎年20名程度の留学生を学士課程に受け入れ、当初2年間は「新渡戸カレッジ」との合同となる英語による授業を開講し、この2つのプログラムによって、本学の「バイリンガル・キャンパス化」を図ろうとしています。また、スーパーグローバル大学事業の一つの取り組みとして、世界の研究者と協力して夏の北海道で国内外の学生を教育する「Hokkaidoサマー・インスティテュート」、連携している海外の大学で、本学と海外の学生が共に学ぶ「ラーニング・サテライト」など、多様な事業を展開していますので、こうした機会に積極的に参加していただき、多くの留学生との交流を通じて、皆さんの国際性が養われることを期待したいと思います。

次に、「全人教育」についてです。皆さんは、入学後の1年間を総合教育部に所属して、本学の教養教育である「全学教育科目」を学び、幅広い教養を身に付けるとともに、それぞれの分野の専門教育を受けるための基礎的な素養を修得します。そして、北海道大学には、日本全国から、いや全世界から、学生が集まります。先ほども触れましたが、今年の道内勢は、4割を切っています。道内出身といっても自宅から通学可能な学生は多くはありませんので、結果的に新入生の7割以上が親元を離れ、自宅外通学を4月から始めます。こういった状況は、他の大学にはない、北海道大学ならではの環境です。このように、皆さんは、生まれた国や地域、育った環境も将来の進路も異なる極めて多様な仲間とともに、多くの人は初めて親元を離れて勉学に勤しみ、また課外活動に打ち込んでいくのです。皆さんが、この環境の中で、多くの友人と接し、自らを省み、自己研鑽の場として活用されることを期待します。多くの先輩達が、本学でのこうした多様な仲間との出会いが、生涯の財産となったと述べています。この環境の中

で、隣の友人のことを慮ることが、皆さんの受けるべき「全人教育」の出発点かと思います。

そして、「実学の重視」についてです。札幌農学校の時代には、これはまさに、日本の、そして北海道の農業に直接役立つ教育を施すことを目指す、ということであったかもしれません。しかしながら、我が国における基幹総合大学に成長した北海道大学にあつては、その意味合いは自ずと変化しています。近年、科学技術の進展と社会の発展のテンポは急加速しており、その中で、単一な科学技術への信頼は薄れてきています。現代社会が直面する問題には、例えば地球温暖化をはじめとする環境問題、東日本大震災後の原子力発電を含めたエネルギー問題、リーマンショック以降の世界的な経済問題などがあります。これらに共通しているのは、すべて複合的な課題であるということ、さらには、これらの課題解決には科学技術のみならず、社会科学の最前線における活動も求められるということです。そのため、大学における教育研究も、常に現実社会と向き合うことが求められる状況となっています。皆さんにも、本学での学びの中で、常に自分と社会との関わりを意識していただきたいと思います。それが現代の「実学の重視」の精神であろうと思います。

新入生の皆さんには、このように本学の4つの基本理念が、自らの学園生活にどのように関わることか、常に意識していただきたいと思います。それと同時に、これから始まる皆さんの4年ないし6年のエルムの学園での学修の中で、一つの課題を出したいと思います。それは、自らの学びの姿勢を確立するということです。

皆さんのこれまでの学習環境は、学校の先生方や保護者の方によって、良くコントロールされた、いわば与えられた、受け身の学習環境ではなかったでしょうか。皆さんがこれから大学や大学院へと進んでいく中では、さらに先人の歩みを辿るとともに、研究という誰も踏み入ったことのない領域を手探りで進む作業へと進んでいかなければなりません。そのためには、皆さんのこれまでの勉学に対する姿勢を変える必要があるでしょう。皆さんは、小学校以来、物わかりの良い、先生のおっしゃることはすぐに理解する生徒であったらと思います。しかしながら、物事の理解には深さがあります。何事も表面的に理解してしまつて先に進んでは、人から教わることがなくなった時、そこから一歩も進むことができません。皆さんにも、ある事柄の説明を聞いて、何やら納得がいかない、腑に落ちないと思った経験があることと思います。この時、この事柄にこだわって色々と考えていくうちに、ある見方に気づいて、突然、納得できた、腑に落ちた時、事柄の理解は深まっています。学問の世界では、人の説明、あるいは教科

書の説明に対して、どうしてそうなるのかと自分流にこだわる中で、自分の物の見方が育ち、それが研究のきっかけにもなっていくものです。皆さんには、是非、自分流の学び方、姿勢を探し求めてほしいと思います。また、技術革新が、日進月歩で進む現代社会にあっては、表面的な知識の蓄積は長持ちしません。その意味で、皆さんは生涯学び続ける習慣を、必然的に身に付けなければならないでしょう。そうした生涯の自分を支える学びの姿勢を北海道大学在学中に、確立してほしいと思います。

以上、新しく北海道大学での学園生活を始められる皆さんに、いくつかの希望と注文を述べさせていただきました。

皆さんが、これから踏み出される北海道大学での歩みの中で、良き友に巡り合い、良き師に恵まれて、自らの豊かな道を切り拓かれることを祈念申し上げて、入学式の告辞を結びます。

## 役員等を対象とした「情報セキュリティ講習会」を開催

4月6日（水）、役員等を対象とした情報セキュリティ講習会を開催しました。

情報セキュリティに対する意識改革を組織のトップから進める、という趣旨により初めて実施したものです。

講師として文部科学省最高情報セキュリティアドバイザーの岩崎 進氏らを迎え、役員や事務局の幹部職員等約30名が出席しました。

岩崎氏からは、「北大の情報セキュリティ」と題し、情報セキュリティに関する概要及び具体的なインシデント事案比較について講演いただき、スベ

シャリスト育成や予算面に関する活発な質疑応答を経て閉会となりました。

本学では今後、個人情報保護や情報セキュリティ体制の強化、全教職員の

意識向上に関する取り組みを実施していきます。

（総務企画部総務課）



講師の岩崎文部科学省最高情報セキュリティアドバイザー



真剣な表情で聴講する役員等出席者

## ベトナム政府叙勲に北海道大学病院の三古谷忠診療教授

北海道大学病院高次口腔医療センター診療教授の三古谷忠氏が、ベトナム社会主義共和国政府から、ベトナム人民の健康に寄与したとして勲章を受章し、12月26日（土）に現地で受章式が執り行われました。三古谷氏は、アジア地域で無償医療援助活動を行う特

定非営利活動法人「日本口唇口蓋裂協会」（名古屋市）のベンチュ省（ベトナム南部）診療隊に平成12年から参加し、ベトナム戦争当時の枯葉剤大量散布で先天異常の発生が多いとされる同地域において、口唇口蓋裂（生まれつき唇や上あごが割れている病気）に罹

患した多くの子供たちへの無償手術や現地医療者への指導を行ってきました。長年にわたるこれらの活動が評価され、叙勲の荣誉に与りました。

（北海道大学病院）

### 受章にあたって

口唇口蓋裂では生命を左右されることはまずないが、適切な手術が受けられなければ人間の尊厳が失墜させられ、言語コミュニケーションが損なわれたままの人生を強いられてしまう。活動当初は現地に治療できる医療者がおらず、生活に精一杯で手術を受けることもできず成人した人々がたくさん

いらっしやった。その人生がいかなるものか辛い現実を目前として身の丈の範囲で支援に協力させていただこうと思いが固まった次第であった。以来、職場やその有志の方々のご協力をいただき、患者さんやご家族の笑顔を糧に活動を毎年継続してきた。そして、いかに多くの現地の人たちの有形無形の

ご支援、ご協力があったことかと改めて痛感する。政府・行政の担当者、病院スタッフ、コーディネーター兼通訳さん、運転手さん、衣食住をお世話してくださる宿舎の従業員さん、早朝から深夜まで労を惜しまず尽くしてくれるベトナムの方々のお陰があるからこそである。深く感謝申し上げます。



受章式の様子（左：三古谷氏、右：ベンチュ州知事）



術後患者の処置をする三古谷氏

# 本学永年勤続者表彰に74氏



三上理事・副学長から表彰状授与

平成28年3月31日をもって定年、または15年以上在職し退職された方々に対する本学永年勤続者表彰式を、3月31日（木）学術交流会館小講堂で行い

ました。表彰式は各部局長等列席のもとに行われ、永年勤務し退職された方々74氏の代表として、工学研究院 教授 奈

良林直氏に、三上 隆理事・副学長から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

次いで三上理事・副学長から、被表彰者の方々の本学に対する永年にわたる精励と努力に対し、深い敬意と感謝の意が表せられました。

引き続き、同会館第一会議室において祝賀会が催され、被表彰者と関係部局長等が、思い出話に和やかなひとときを過ごしました。

なお、このたび表彰を受けられた方々は、以下のとおりです。

(総務企画部人事課厚生労務室)

## 北海道大学永年勤続者表彰（退職時）被表彰者

所 属	氏 名	所 属	氏 名
財務部	大日向 孝 治	水産学部	佐 藤 淳 一
〃	正 木 一 宏	地球環境科学研究院	田 中 俊 逸
施設部	福 原 義 幸	理学研究院	泉 屋 周 一
附属図書館	佐 藤 洋 子	〃	羽 部 朝 男
〃	永 山 裕 子	〃	川 村 信 人
文学研究科	高 橋 英 光	〃	西 田 千 鶴 子
〃	山 田 貞 三	薬学研究院	北 浦 廣 剛
〃	佐 藤 鍊 太 郎	農学事務部	岩 渕 徹 也
経済学研究科	塚 田 久 美 子	〃	佐 藤 郁 子
医学研究科	有 賀 正	メディア・コミュニケーション研究院	上 田 雅 信
〃	丸 藤 哲	〃	園 田 勝 英
〃	玉 木 長 良	保健科学研究院	八 田 達 夫
〃	西 村 正 治	〃	坂 田 元 道
〃	KURKIN SERGEY	〃	真 木 誠
医学系事務部	山 内 一 昭	工学研究院	奈良林 直
歯学研究科	飯 田 順 一 郎	〃	古 坂 道 弘
〃	鈴 木 邦 明	〃	藤 吉 亮 子
歯学研究科・歯学部	不 動 康 則	〃	森 下 満
獣医学研究科	葉 原 芳 昭	〃	菅 原 隆 之
情報科学研究科	村 井 哲 也	〃	工 藤 豊
〃	田 中 英 一	〃	山 崎 賢 治
水産科学研究院	矢 部 衛	〃	高 田 健 治
〃	今 井 一 郎	工学系事務部	長 倉 清 剛
〃	門 谷 茂	〃	吉 田 紀 子

所	属	氏名	所	属	氏名
工学系事務部		野 島 比奈江	北海道大学病院		濱 多 なつみ
北海道大学病院		松 浦 亨	〃		石 田 加奈子
〃		加 藤 元 嗣	〃		中 根 進 児
〃		大 森 桂 一	〃		藤 村 紀 子
〃		小 野 貢 伸	電子科学研究所		太 田 隆 夫
〃		川 畑 いづみ	遺伝子病制御研究所		濱 田 淳 一
〃		堀 享 一	スラブ・ユーラシア研究センター		家 田 修
〃		荒 井 博 史	人獣共通感染症リサーチセンター		杉 本 千 尋
〃		中 西 千代美	量子集積エレクトロニクス研究センター		佐 野 栄 一
〃		亀 田 悦 子	北方生物圏フィールド科学センター		間 宮 春 大
〃		生 田 千 晶	北極域研究センター		齊 藤 誠 一
〃		佐 賀 和 高	情報環境推進本部		吉 井 英 一
〃		安孫子 ゆう子	大学力強化推進本部		木 場 保 洋

(敬称略)

## 名誉教授に32氏

本学名誉教授称号授与規程に基づき、3月15日（火）開催の教育研究評議会において、次の32氏に対し名誉教授の称号を授与することが決定されました。

本年4月から新たに名誉教授となられる方々には、決定通知が送付されました。

なお、称号授与式は、6月3日（金）を予定しています。

(総務企画部人事課厚生労務室)

### 北海道大学名誉教授

高 橋 英 光	(大学院文学研究科)	泉 屋 周 一	(大学院理学研究院)
山 田 貞 三	(大学院文学研究科)	羽 部 朝 男	(大学院理学研究院)
佐 藤 鎌太郎	(大学院文学研究科)	上 田 雅 信	(大学院メディア・コミュニケーション研究院)
人 見 剛	(大学院法学研究科)	園 田 勝 英	(大学院メディア・コミュニケーション研究院)
荻 野 昭 一	(大学院経済学研究科)	八 田 達 夫	(大学院保健科学研究院)
西 村 正 治	(大学院医学研究科)	奈良林 直	(大学院工学研究院)
玉 木 長 良	(大学院医学研究科)	古 坂 道 弘	(大学院工学研究院)
丸 藤 哲	(大学院医学研究科)	古 川 義 純	(低温科学研究所)
有 賀 正	(大学院医学研究科)	藤 吉 康 志	(低温科学研究所)
飯 田 順一郎	(大学院歯学研究科)	河 村 公 隆	(低温科学研究所)
鈴木 邦 明	(大学院歯学研究科)	末 宗 幾 夫	(電子科学研究所)
葉 原 芳 昭	(大学院獣医学研究科)	西 浦 廉 政	(電子科学研究所)
今 井 一 郎	(大学院水産科学研究院)	上 田 涉	(触媒科学研究所)
矢 部 衛	(大学院水産科学研究院)	杉 本 千 尋	(人獣共通感染症リサーチセンター)
門 谷 茂	(大学院水産科学研究院)	佐 野 栄 一	(量子集積エレクトロニクス研究センター)
田 中 俊 逸	(大学院地球環境科学研究院)	齊 藤 誠 一	(北極域研究センター)

# 北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を發揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報	18,474件	3,112,231,522円
基金累計額（3月31日現在）	教職員の寄附率	36.4%（1,441件/3,962人）

## 3月のご寄附状況

法人等10社、個人339名の方々から32,568,777円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

### 寄附者ご芳名（法人等）

味の素株式会社、株式会社MATコンサルティング、北日本精機株式会社、株式会社きのとや、株式会社セラフ、寺田医院、北海道ガス株式会社、北海道大学連合同窓会

### 寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	朝倉 清高	浅野 賢二	阿部 茂	安部 崇重	阿部 徹	荒井 収	池上 僚一
石井 康裕	石川 達也	石川満寿夫	石川三千雄	市橋 俊夫	伊藤 仁	井上 稔康	井上 雅弘
今井 卓	今村 晃久	入澤 秀次	岩倉 肇	岩下 明裕	上田 多門	梅田 雅司	榎 良一
王 万旭	大熊 成美	太田 利隆	大田 弘	大貫 浩幸	大沼 良文	大野 弘城	大橋 考暁
岡田 恭一	小川 弘毅	荻原 浩二	奥田 薫	小田桐直幸	小内 透	小原 隆志	小原 孝之
小原 大和	小柳 毅	埴山 雅秀	加貫 亮三	加藤 敏光	嘉藤 好彦	金川 眞行	金澤 裕勝
金澤 義輝	蟹江 俊仁	川上 征雄	川島 崇則	川瀬 昌万	河端 計範	川村 政良	河本 充司
川元 功	北 裕幸	北岡 善文	北川 英博	木村 光俊	久慈 公男	工藤 明	工藤 康正
窪田 太	桑島 正樹	小池 幸男	古川 達夫	古川 幸博	後藤 潤一	小山 明久	斉藤 久
坂詰 俊介	坂之井和之	櫻井 治	佐々木一英	佐々木 眞	佐藤 功	佐藤 克英	佐藤 清二
佐藤 道男	佐藤 太裕	佐藤 洋子	三条 肇	三升畑元基	篠原 信雄	清水 智之	清水 英征
霜鳥 知行	白尾 宣彦	白倉 恒夫	新宅 宏章	新藤 範義	末岡 和久	杉本 大	鈴木 淳
須田 孝徳	住吉 幸彦	清治 真人	関 博之	瀬名波栄潤	相馬 和則	高木 清晴	高田 淳司
高梨陽太郎	高橋 圭吾	高橋 保守	高橋 弓景	竹内 祥一	武田 勉	竹田洋一郎	田坂 隆
多田 和夫	田中 信幸	谷 智之	谷口 綾子	田村 亨	田村 義治	土家 琢磨	鶴谷 建太
寺澤 睦	當目 雅人	土栄 正人	富樫 篤英	富樫 聡子	時岡 真治	豊田 威信	長尾 昇治
中瀬 克彦	中谷 了	中村 徳三	新里 和久	西井 成実	西村 聡	西山太一郎	布目 恵造
沼崎 正徳	箱石 憲昭	橋田 太郎	橋詰 栄次	橋本 宏	幡鎌 俊昭	幡谷 繁	馬場 敦美
平野 明徳	廣瀬 一郎	廣長 周治	福田 正晴	藤兼 雅和	藤沢 節茂	藤田 秀悦	藤田 陸博
藤森 明	星 道太	堀 秀松	増本 秀二	松井 直人	松永 浩	松山 潮江	丸山 明
水野 雄三	溝口 郁夫	三田地利之	三村 明広	宮崎 貴雄	宮嶋 澄夫	宮山 憲彬	武者 浩透
村井 英樹	本岡 竜	森 武	安田 勲	柳原 優登	山内 隆嗣	山縣 豊樹	山上 正敏
山上 雅弘	山口 賢	山崎 正則	山本 康博	横田二美雄	吉田 広志	吉田 由久	米山 和代
脇川 康夫							



**銘板の掲示** (20万円以上のご寄附)**(法人等)**

北日本精機株式会社, 株式会社きのとや, 株式会社セラフ

**(個人)**

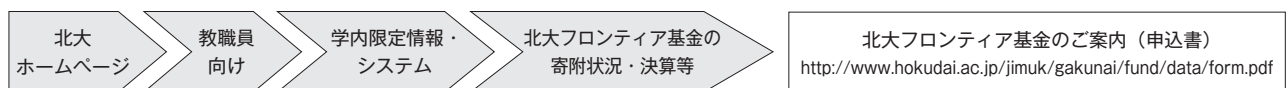
安部 崇重, 佐藤 洋子, 篠原 信雄, 白尾 宣彦, 高橋 保守, 橋詰 栄次

**感謝状の贈呈**

鹿島建設株式会社北海道支店 様  
(平成28年3月30日)

**ご寄附のお申し込み方法****① 給与からの引き落とし**

申込書は, 本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし, ご記入の上基金事務室に提出してください。

**② 郵便局または銀行への振り込み**

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡します。

**③ 現金でのご寄附**

寄附申込書に現金を添えて, 事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は, 本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか, 各部局事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので, ご利用ください。

**④ クレジットカードでのご寄附**

北大フロンティア基金ホームページ (<http://www.hokudai.ac.jp/fund/form.html>) のクレジットカード寄附申込フォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室 (事務局・学内電話 2017)

(総務企画部広報課)

# 平成28年度北海道大学の予算

## 平成28年度北海道大学収入・支出予算書

(単位：百万円)

収入				支出			
事項	前年度 予算額	28年度 予算額	増減額	事項	前年度 予算額	28年度 予算額	増減額
[一般会計]	45,133	43,731	△1,402	[一般会計]	45,133	43,731	△1,402
運営費交付金収入	34,387	33,224	△1,163	人件費	26,855	27,765	910
うち復興特別会計	2	0	△2	機能強化経費	1,611	629	△982
学生納付金	9,666	9,362	△304	特殊要因経費	3,825	2,123	△1,702
雑収入	1,080	1,145	65	退職手当	2,132	1,976	△156
				建物新営に伴う設備費	121	10	△111
				移転費	568	35	△534
				PFI事業維持管理経費	109	101	△8
				土地建物借料	1	1	0
				PCB廃棄物処理費	879	0	△879
				災害支援関連経費	0	2	2
				船員保険事業主負担分調整費	16	0	△16
				調整費	200	200	0
				特定経費	4,536	3,176	△1,359
				電子計算機借料	1,237	201	△1,036
				電子ジャーナル経費	646	672	27
				公租公課、保険料等	873	905	33
				燃料費	823	413	△410
				評価反映経費	48	0	△48
				収入見合経費	918	985	67
				目的積立金貸借分	△9	0	9
				中期目標達成強化経費	599	0	△599
				総長室等事業推進経費	590	0	△590
				学長裁量経費	0	3,296	3,296
				うち機能強化促進分	0	1,056	1,056
				基盤配分経費	6,917	6,541	△376
[病院会計]	29,217	30,883	1,666	[病院会計]	29,217	30,883	1,666
運営費交付金収入	2,591	3,003	412	人件費	8,920	8,858	△62
附属病院収入	26,409	27,655	1,246	機能強化経費	446	931	485
雑収入	217	225	8	病院診療経費	17,627	19,147	1,520
				うち設備費	1,116	1,321	206
				債務償還経費	2,105	1,833	△272
				基盤配分経費	120	114	△6
[外部資金会計]	20,714	21,720	1,007	[外部資金会計]	20,714	21,720	1,007
施設費補助金等収入	1,086	1,602	515	施設整備費	1,086	1,602	515
保育園運営費補助金収入	90	95	5	保育園運営費補助金事業費	90	95	5
寄附金収入	2,030	2,306	276	直接事業費	17,092	17,495	403
受託研究収入	4,929	6,035	1,106	寄附金事業費	1,983	2,258	275
共同研究収入	1,148	1,448	299	受託研究費	4,229	5,131	902
受託事業収入	607	838	232	共同研究費	1,054	1,330	277
大学改革補助金等収入	3,484	2,760	△725	受託事業費	595	826	232
文部科学省科学研究費補助金	6,720	6,355	△365	大学改革補助金等事業費	3,484	2,759	△726
厚生労働省科学研究費補助金	563	222	△341	文部科学省科学研究費補助金	5,211	4,948	△263
その他助成金等	56	60	5	厚生労働省科学研究費補助金	482	183	△298
				その他助成金等	55	60	5
				間接経費	2,445	2,528	83
				総長室等事業推進経費	1,214	0	△1,214
				全学経費(特定経費)	0	1,276	1,276
				部局配分経費	1,232	1,253	21
合計	95,064	96,335	1.3%増 1,270	合計	95,064	96,335	1.3%増 1,270

※項目ごとに四捨五入を行っているため、合計が一致しない場合があります。

(その他繰越金等：平成27年度末見込み)

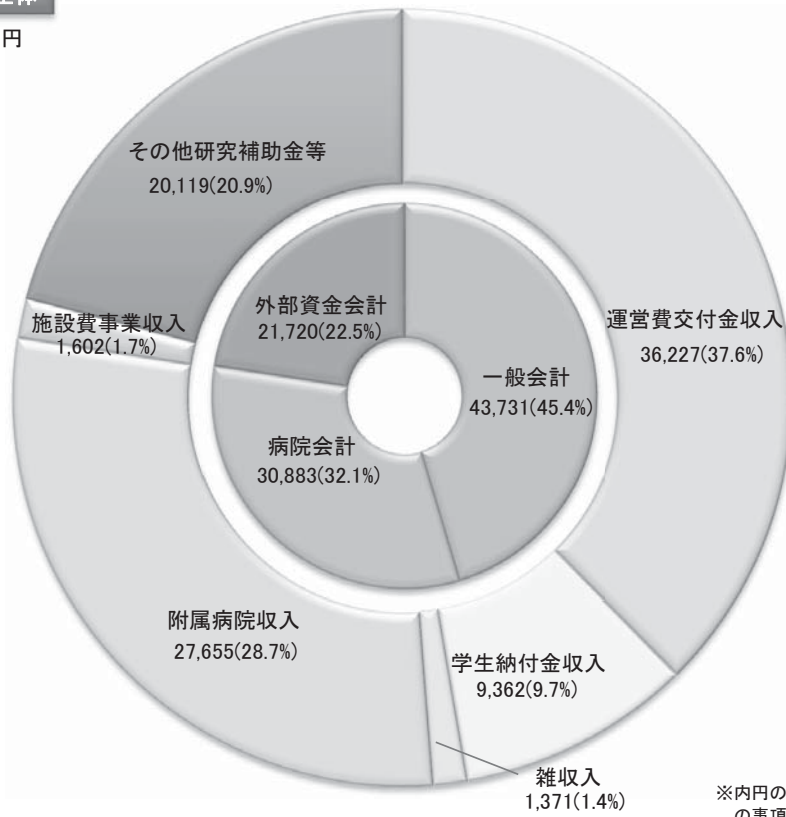
前中期目標期間繰越積立金	265百万円
寄附金	7,030百万円
計	7,296百万円

平成28年度北海道大学収入・支出予算（グラフ）

（単位：百万円）

収入予算全体

96,335百万円

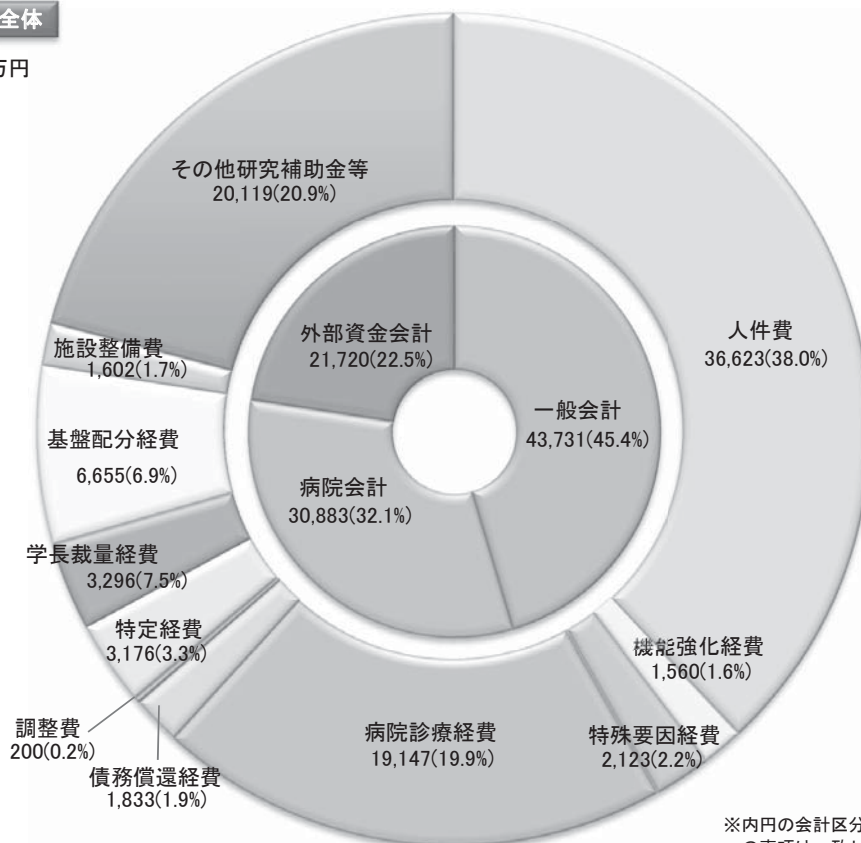


※内円の会計区分と外円の事項は一致しません。

（単位：百万円）

支出予算全体

96,335百万円



※内円の会計区分と外円の事項は一致しません。

※項目毎に四捨五入を行っているため、合計が一致しない場合があります。

（財務部主計課）

## 平成27年度北海道大学大塚賞授与式を挙



記念撮影

3月22日（火）、総長室において、北海道大学大塚賞授与式を挙

行しました。大塚賞は、大学院博士課程を当該年度内に修了し、研究者を目指す優秀な女子学生に授与される奨励金制度です。

今回は平成27年度内の博士課程修了予定者8名及び既修了者2名、計10名が受賞者として選ばれました。

授与式には山口佳三総長、大塚榮子名誉教授、新田孝彦理事・副学長、望月恒子副学長・女性研究者支援室長、出口寿久学務部長の列席の下、山口総長より賞状が授与され、お祝いの言葉

が述べられました。

式終了後には、大塚賞受賞者講演会が百年記念会館大会議室にて開催され、今年度受賞者代表並びに平成19年度受賞者の研究紹介及び講演があり、最後に大塚名誉教授から講評と激励のお言葉をいただきました。

引き続き交流会が開催され、研究分野に関する情報交換や将来の活躍を誓い合う機会となりました。

これからも、研究者を目指す多くの女子学生が受賞されることを期待しています。

（学務部学生支援課）



賞状の授与



交流会の様子

### 受賞者

文学研究科	村田藍子
文学研究科	北梶陽子
医学研究科	趙文静
歯学研究科	本郷裕美
水産科学院	西澤瑞穂
環境科学院	渡邊美穂
環境科学院	山崎彩
生命科学院	千葉杏子
工学院	徳永透子
総合化学院	玉置瞳美

## 平成27年度クラーク賞表彰式を挙

3月23日（水）、平成27年度公益財団法人北海道大学クラーク記念財団クラーク賞表彰式がクラーク会館国際文化交流活動室において挙

行されました。クラーク賞は、成績優秀で他の学生の模範となる学部卒業者に対して、本学の推薦に基づき表彰されるものです。



賞状の授与



表彰式の様子

表彰式では、同財団の中村睦男理事長から出席した43名の受賞者に対して、賞状と記念品が授与され、併せて、「クラーク賞を受賞したことを誇りに思い、社会で大いに活躍してくだ

さい」と賞賛と激励の言葉が贈られました。

なお、水産学部では函館キャンパスにおいて3月24日（木）に表彰式が挙行され、出席した3名の受賞者に対し

て、水産科学研究所の宮下和夫副研究所長から賞状と記念品が授与されました。

(学務部学生支援課)

## 平成27年北大えるむ賞授与式を挙行



授与式記念写真

3月28日（月）、総長室において、平成27年北大えるむ賞の授与式を行い、山口佳三総長から賞状の授与と記念品が贈呈されました。

北大えるむ賞は、平成9年度に本学の伝統である全人教育の充実のため、学生の健全な課外活動及び社会活動等を積極的に支援し、その振興と活性化を図ることを目的として創設されたも

のです。

本学の学生を対象として、国際的・全国的規模の競技会等に参加し優秀な成績を修め課外活動の振興に功績があったもの、社会活動において優れた評価を受けたもの、自己研鑽並びに他の学生の指導などに優れた評価を受けたものなどに対して表彰しているもので、今回は、応募のあった22件から5

件が決定されたものです。

引き続き懇談会が催され、山口総長と受賞者の和やかな歓談の後、新田孝彦理事・副学長から受賞者へねぎらいと激励の言葉があり、受賞者は今後の更なる活躍を誓いました。

(学務部学生支援課)

### 受賞団体・個人と受賞理由

#### ◆ 団体

○競技舞踏部

「第53回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会」団体総合の部で第1位を獲得。

○Biomod Hokkaido Univ.

「生体分子デザインコンペティションBIOMOD日本大会」で第2位に入賞し、「国際生体分子デザインコンペティションBIOMOD2015」で金賞を受賞。

#### ◆ 個人

○西川 百合子

加藤 依子

「WFDF2015世界U-23アルティメット選手権大会」ウィメン部門に日本代表チームの一員として出場し優勝。

○小杉 重順（筆名：三上 春海）

短歌研究社が公募する現代短歌評論賞応募論文で「第33回現代短歌評論賞」を受賞。

○笹森 瞳

「2015年ストックホルム国際青年科学セミナー（SIYSS）」に日本代表学生として参加。

# 平成27年度北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－表彰式を挙



記念撮影



賞状の授与

3月29日（火）、高等教育推進機構中会議室において、平成27年度北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－表彰式を挙りました。

この賞は、全学教育科目「自然科学実験」において、特に優秀な成績を修め、本学の目指す全人教育の理念にふさわしい学生を表彰するために設けられた制度です。

表彰式は、新田孝彦高等教育推進機構長、鈴木久男総合教育部長、出口寿久学務部長の列席の下、新田機構長から7名の受賞者のうち1名の欠席者を

除く6名に賞状が授与されました。

続いて新田機構長から、鈴木章名誉教授の経歴の紹介とともに、「学術と社会の発展に貢献できる人材へと育てていただきたい」との挨拶がありました。

受賞者は、偉大なる先輩の名を冠した賞を授与されたことにより、今後も勉学に一層励むべく自覚を新たにしていきました。

(学務部学生支援課)

## 受賞者

### 第1学期受賞者

- 17組 越後谷 駿
- 23組 伊 東 祐 紀
- 26組 中 島 理 沙

### 第2学期受賞者

- 37組 佐 藤 賢 斗
- 40組 松 田 真 奈
- 43組 鈴 木 花 奈 子
- 44組 小 野 卓 哉

## 平成27年度北海道大学企業研究セミナーを開催

学務部キャリアセンターでは、「平成27年度北海道大学企業研究セミナー」を、北海道大学連合同窓会との共催により、3月1日（火）～28日（月）のうち22日間にわたり、クラーク会館において開催しました。

本セミナーは、就職活動を行う学生の地理的ハンディキャップの解消を目的に、学生が主体的に業界・企業研究を行い、「就職活動へ向けての礎をつくる」ことができるよう、平成16年度から毎年度開催している全国最大規模の就職活動支援イベントです。

本年度は過去最多の718社（昨年度：658社）の参加を得て、延べ28,712名（昨年度：33,796名）の学生が、企業・団体の人事・採用担当者からの企業や業界に係る説明に熱心に耳を傾け、積極的に質問を行っていました。

また、留学生の採用を予定している企業による外国人留学生支援企画「留学生相談コーナー」には、115社に参加いただき、延べ195名の留学生が利用しました。

午後の企業説明終了後には、企業等の人事・採用担当者と学生との交流の場として「情報交換会」を毎日開催し、280社の担当者と延べ1,085名の学生が交流を深めました。3月8日（火）には、山口佳三総長、新田孝彦理事・副学長も情報交換会に参加し、企業の担当者と学生の輪に加わって、打ち解けた雰囲気の中で懇談を行いました。

このほか、セミナー期間中に、特別企画として「公開模擬面接会」及び「外国人留学生就職セミナー」を開催しました。「公開模擬面接会」では、多くの学生の視線が注がれるなか、実

践さながらの形式で面接が行われ、面接を受けた学生及び見学した学生ともに、面接における留意点や課題を認識することができたものと思います。また、「外国人留学生就職セミナー」では、日本の企業で活躍している本学出身の先輩留学生から、就職活動での苦労話や雇用慣行の違い、仕事内容など様々な経験談について講話していただき、日本企業への就職を希望する留学生には、今後の就職活動に役立つ大変貴重な機会となりました。

なお、本セミナーは、各企業及び諸団体等の協力を得て開催しているもので、関係の皆様により感謝申し上げます。

（学務部キャリアセンター）



講堂での企業説明の様子



企業説明を聞く学生



外国人留学生支援企画「留学生相談コーナー」



「情報交換会」で学生と懇談する山口総長



特別企画「公開模擬面接会」の様子



特別企画「外国人留学生就職セミナー」で先輩の話聞く留学生

## 北海道大学交流デー（忠北大学校，釜山大学校）を開催



釜山大学校での記念撮影

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、2月4日（木）に忠北大学校にて、3月8日（火）には釜山大学校にて、北海道大学交流デーを開催しました。

忠北大学校は韓国中部の清州市にある国立大学で、本学とは2007年に大学間交流協定を締結しています。

開会式では、忠北大学校のイベ・チョン獣医学大学長の挨拶の後、本学の稲葉 睦獣医学研究科長から挨拶があり、その後、本学の寺尾宏明副学長が挨拶を行いました。

開会式に引き続き、獣医学分野に関する研究交流セミナーが行われ、両大学からの研究発表及び質疑応答が行わ

れました。開会式及び研究交流セミナーには、忠北大学校から教職員、学生等約130人の出席があり、本学からは、獣医学研究科を中心に14人の教職員が出席しました。

釜山大学校は、韓国南東部にあり、教職員数約2,800人、学生数約28,000人が在籍し、28の単科大学（学部）を持つ国立総合大学です。

開会式では、釜山大学校のハム・セヨン自然科学大学長の挨拶の後、本学の鈴木徳行理学院長の挨拶があり、その後、本学及び釜山大学校双方からそれぞれの大学紹介が行われました。開会式には、釜山大学校から教職員、学生等約50人の出席があり、本学から

は、理学研究院，先端生命科学研究院，電子科学研究所を中心に17人の教職員が出席しました。

開会式の後は、生命科学分野，地質学分野，物理学分野，化学分野の4つの分科会に分かれて研究交流セミナーが行われ、今後の研究交流及び学生交流促進が期待される内容となりました。

今後もソウルオフィスでは、韓国における教育・研究機関等との連携拡大，教員や学生の相互交流の促進，卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

（国際本部国際連携課）



忠北大学校で挨拶する寺尾副学長



忠北大学校での研究交流セミナー



釜山大学校での研究交流セミナー



## 北海道大学交流デー（ゲント大学）を開催

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、2月29日（月）・3月1日（火）にゲント大学において北海道大学交流デーを開催しました。

ゲント大学は、ベルギーの首都ブリュッセルから北東約50kmにあり、1817年に設立された学生約36,000人、教職員約8,600人が在籍する総合大学です。本学とは2013年6月に大学間交流協定を締結しています。

開会式には、ゲント大学フレディ・モーティア副学長の他、教職員、学生等29名と、本学からは、寺尾宏明副学長、名和豊春工学研究院長をはじめ、各研究科等から合わせて29名の教職員

が出席し、在ベルギー日本国大使館の石井正文駐ベルギー特命全権大使にも出席いただきました。

開会式では、まず本学の寺尾副学長、ゲント大学のモーティア副学長から挨拶があった後、石井大使から祝辞をいただき、その後ゲント大学のガイド・バン・ヒューレンブレック国際室長と本学ヘルシンキオフィスの成田吉弘所長からそれぞれの大学の概要等の説明が行われました。

開会式の後には、昼食を挟み、文学研究科のラフェイ・ミシェルケイ准教授、スラブ・ユーラシア研究センターの野町素己准教授、工学研究院の名和研究院長、情報科学研究科のジェブカ・

ラファウ助教、獣医学研究科の滝口満喜教授、メディア・コミュニケーション研究院のアスマン・シュテファニー教授、経済学研究科の早川 仁助教が、それぞれ代表となる分科会に分かれ、ゲント大学との研究交流を行いました。

今後もヘルシンキオフィスでは、欧州諸国の教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、学術面にとどまらない幅広い面での交流を強化していきます。

（国際本部国際連携課）



開会式の様子



寺尾副学長の挨拶



分科会の様子

## 北海道大学交流デー（中国 南開大学）を開催

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、3月29日（火）に南開大学において北海道大学交流デーを開催しました。

南開大学は、1904年に設立された国立総合大学で、本学とは2006年5月に大学間交流協定を締結しています。

開会式には、同大学から関乃佳副学長をはじめ、教職員、学生等約30人の出席があり、本学からは、寺尾宏明副学長をはじめ、37人の教職員及び学生が出席しました。

開会式は、関副学長の挨拶から始ま

り、続いて、寺尾副学長が挨拶を行った後、本学国際本部の野澤俊敬特任教授による、本学の国際交流及び日本への留学等の説明が行われました。

開会式の後は、5つの分科会に分かれ、研究交流セミナーが行われました。

第1分科会は、本学農学研究院と南開大学生命科学院、第2分科会は、本学保健科学研究院と南開大学分析科学研究センター、第3分科会は、本学工学研究院と南開大学化学学院、第4分科会は、本学教育学研究院及びメディア・コミュニケーション研究院と南開

大学外国語学院、第5分科会は、本学地球環境科学研究院と南開大学元素有機化学研究所の間で行われ、本学の参加者を含め、全体で約90人が参加しました。

今後も国際本部では、中国における教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

（国際本部国際連携課）



挨拶をする寺尾副学長



開会式の様子



分科会の様子

# 国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学 グローバルステーションが第3回シンポジウムを開催



関係者集合写真

GI-CoRE量子医理工学グローバルステーションは、3月3日（木）・4日（金）にスタンフォード大学放射線腫瘍学科と合同で第3回GI-CoRE量子医理工学シンポジウムを医学研究科学友会館フラテにて開催しました。

平成26年4月に国際連携研究教育局（GI-CoRE）が設置されて以来、量子医理工学グローバルステーションでは、最先端の放射線医学、放射線生物学、医学物理分野の研究を進めてきましたが、第3回目となる本シンポジウムではスタンフォード大学のみならず、ジョンズ・ホプキンス大学、大阪

大学からも講師陣を招へいし、イメージング研究、肝臓がん・肺がん治療、腫瘍微小環境研究、及び最新の陽子線治療等、世界をリードする量子医理工学研究について合計11講義を実施しました。参加者からも研究内容に関する多くの質問や意見が出され、活発な質疑応答及び意見交換が行われました。なお、公募した一般演題には、インド、中国、パキスタン、ベトナム、米国等、国際色豊かな21通の応募があり、うち8名がポスターアワードを受賞し、レセプション中に開催された授賞式で、量子医理工学グローバルス

テーション長の白土博樹教授から表彰状が授与されました。

本シンポジウムには最先端の研究に従事する国内外の研究者を含む141名が参加し、世界的な研究拠点としての量子医理工学グローバルステーションの更なる飛躍に寄与するディスカッションの場となったばかりでなく、平成29年4月に開設される医理工学院に向けての貴重な情報交換の場となりました。

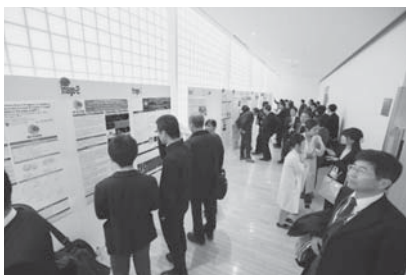
（国際連携研究教育局）

量子医理工学グローバルステーション長  
白土教授

スタンフォード大学 ジアッシア教授（中央）



会場風景



ポスターセッションの様子



ポスターアワード授賞式



レセプションの様子

## 「アクティブ・ラーニング入門ワークショップ」を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、3月2日（水）に高等教育推進機構S5講義室において、アクティブ・ラーニング入門ワークショップを開催しました。本ワークショップは、9月1日に本センターが実施した「アクティブ・ラーニング導入ワークショップ」が好評だったことを受け、実施したものです。教員等48名（学内25名、学外23名）の参加があり、自らの授業に効果的なアクティブ・ラーニングの取り入れを目指しました。

開催にあたり、新田孝彦センター長から挨拶があった後、早速アクティブ・ラーニングについて講演・ワークショップのプログラムに入りました。

今回のプログラムは、アクティブ・ラーニングについて2つの講演とワークショップからなり、本センターの山本堅一特任准教授による「アクティ

ブ・ラーニング型授業の基礎・基本」、本機構の三上直之准教授による「実践例から見るアクティブ・ラーニングの手法」と題した講演の後、「自らの授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる」と題したワークセッションが行われました。

事後アンケートでは、「アクティブ・ラーニングについて、自分がやっていたこともあてはまると思えた部分と新たな視点がわかった」「様々な分

野の先生方からコメントをいただくことができてありがたかった」等の意見があり、全てのプログラムにおいて9割以上の方に満足いただくことができました。

本センターでは、今年度もアクティブ・ラーニングに関するワークショップを開催する予定です。興味のある方は積極的にご参加ください。

（高等教育推進機構）



講演の様子



ワークショップの様子

## 「TF振り返り研修会」を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、3月9日（水）に高等教育推進機構S5講義室において、TF（ティーチング・フェロー）振り返り研修会を開催しました。

本学では、平成27年度から大学院教育の一環として、TF制度を導入しました。TFは授業の分担、授業設計・教材開発の補佐、そしてレポート指導や補習等の授業補完業務を担当することができるため、TAでは難しいティーチングに関する経験を積むことができます。

本研修会は、平成27年度からTF制度が本学に導入されたことに伴い、平成27年度TFとして業務を担当した大学院生及びTFの活用を検討している教員を対象として実施しました。

開催にあたり、細川敏幸副センター長の挨拶があった後、「TF業務の振

り返り」と題したワークセッションと「TF制度を有効に活用するために」と題したディスカッションが行われ、本センター教員と参加者による積極的な意見交換が行われました。

ディスカッションでは「TA以上に責任ある仕事を経験できた」「主体性や責任が必要であると自覚して業務にあたることができた」などTF制度が狙っていた良い点が発揮されたことを確認できる意見の他、TAとTFを区別

せず運用している授業も見られるなど課題も出されました。

高等教育研修センターでは、教員と大学院生、そして授業を受ける学生にとってより良い制度になるよう、本研修会で得られた課題などについて検討を続けていきます。

TF振り返り研修会は、今年度も開催する予定です。

（高等教育推進機構）



講演の様子



グループワークの様子

## 「Teaching in Englishワークショップ（第1回）」を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、教員に対するFDの一環として、3月29日（火）に高等教育推進機構S5講義室において「Teaching in Englishワークショップ」を実施しました。

本研修は、英語で授業を行う際の注意点等を考え、教員同士で取り組み事例を共有することを目的として、英語で授業を行う予定のある教員及びすでに実施している教員を対象に実施したもので、本学教員41名、道内他大学等の教員10名が参加しました。

開催にあたり、新田孝彦センター長から開会の挨拶があった後、工学研究院の小林幸徳教授による「英語による学部（国際交流科目）及び大学院専門科目の実践」、国際本部の山田悦子准教授による「英語で行う授業において

日本人学生に話を促す工夫」と題した講演が行われました。また、「英語で授業を行うときに気をつけること・必要な支援等について」と題したワークショップでは、積極的な意見交換が行われました。

事後アンケートでは、「異なる視点から講演をしていただき、とても勉強になった」「様々な専門や立場の方

と、意見や経験を交換・交流できた点が非常に良かった」等の意見が見られ、多くの参加者に好評でした。

高等教育研修センターでは、今後も数回にわたり「Teaching in Englishワークショップ」を開催する予定ですので、積極的にご参加願います。

（高等教育推進機構）



講演の様子



ワークショップの様子

## 平成27年度総長室事業推進経費による研究支援事業（Fusion-H）研究成果報告会を開催

研究戦略室では、3月9日（水）、百年記念会館において、平成27年度総長室事業推進経費による「若手研究者異分野連携型萌芽研究支援（通称：Fusion-H）」の研究成果報告会を、大学力強化推進本部URAステーション主催、「北大クロスロード交流会」との共催により、「第6回北大クロスロード交流会HOKUDAI流！未知との遭遇～Fusion-H報告会～」と題して開催しました。

若手研究者異分野連携型萌芽研究支援（Fusion-H）は、若手研究者による部局を超えた異分野連携型プロジェクトの形成を促進し、将来、本学の旗と

なるような斬新な研究分野を開拓・育成することを目的として、研究戦略室が今年度企画・公募した研究支援事業です。

今回の成果報告会は、本事業の効果を検証するため実施したもので、本事業に採択された若手研究者9名が研究発表を行い、その後、研究戦略室員をはじめとした参加者約30名との間で活発な質疑応答が行われました。

個々の発表の中で、若手研究者が本支援事業経費を活用し、異分野連携型研究を推進していることが確認されました。

また、報告会終了後には、若手研究者及び研究戦略室員参加の懇親会を開催し、参加者相互の盛んな交流を図りました。

（研究推進部研究振興企画課）



挨拶をする川端和重研究戦略室長



発表する若手研究者



会場の様子

## 「平成27年度工作技術フォーラム」を開催

3月15日（火）・16日（水）の2日間にわたり、工学部フロンティア応用科学研究棟において、工作技術フォーラム実行委員会主催、技術支援本部（工作・観測系グループ）共催による、「平成27年度工作技術フォーラム」を開催しました。本フォーラムは、今回で6回目の開催となり、本学の技術職員34名のほか、埼玉大学、函館・釧路・旭川工業高等専門学校の技術職員、計39名が参加しました。

初日は、菅原隆之グループ長の開催挨拶に引き続き、埼玉大学の山崎次男主任技師から「埼玉大学総合技術支援センターの紹介」と題し、組織化に向け大学技術職員の役割の変化等について、組織改編当時のお話を交えた講演をしていただきました。その後、本学

と道内他機関の技術職員による延べ12件の技術発表があり、非常に活発な質疑応答が行われました。また、2日目には、企業4社をお招きし、最先端の技術とその発信力を学ぼうと、今回初めての試みである「企業による勉強会」を開催しました。各社30分間の講演の後に、実際にパネルや加工サンプルなどを用意していただき、展示会を行いました。各企業のブースでは情報交換や積極的に質問する技術職員の姿が多数見られました。

事後のアンケートでは、「他職員の業務を聞いて刺激を受けた」「モチベーションが上がった」「企業の発表や展示は工作に役立つ」等の感想が寄せられました。

本フォーラムは、技術職員の技術や

プレゼン能力などの資質向上及びグループ内の連携を向上させ、より充実した研究教育支援体制を整えるための重要な活動の一つとして、技術支援本部の工作・観測系グループが自発的に開催しています。特に、今回からは各部局から実行委員を選出し、小単位の会議を開くことで、技術職員の意見を集約するシステムを構築できたことは大きな成果と捉えています。さらに、通常の業務遂行能力だけでなく、企画力や組織運営力も習得できる場になると考えています。すでに来年度の企画も進んでおり、今後も多くの関係者の参加を期待しています。

（技術支援本部）



埼玉大学 山崎主任技師による講演



技術発表での質疑応答の様子



企業による技術講演の様子



展示ブースの様子

## 第13回創成シンポジウム「ためてませんか？フードマイレージ—たべて・つくる・みらい—」を開催

創成研究機構では、3月22日（火）、学术交流会館講堂において、第13回創成シンポジウム「ためてませんか？フードマイレージ—たべて・つくる・みらい—」を開催しました。

当シンポジウムは、本学の研究と社会とのつながりについて広く市民の方々に紹介し、より身近に感じていただくことを目的としています。13回目となる今回は、「フードマイレージ」という考え方をテーマとし、生産者と消費者がどのようにつながっているのかを紹介し、「食」を通して環境・エネルギーや、経済のことについて参加者ととも考えるために企画しました。

はじめに、渡辺康正創成研究機構副機構長より開催挨拶があった後、農学研究院の小林国之助教による「たべる

ことからできること」と題した講演があり、農業経済学から見たフードマイレージ、ヨーロッパでの事例の紹介などがありました。続いて、地球環境科学研究院の藤井賢彦准教授より「数字からみえること、みえないこと」と題し、環境の観点から見た食に関するCO<sub>2</sub>削減の指標についての講演があり、北海道立総合研究機構産業技術研究本部食品加工研究センターの田村吉史氏より「すぐにできること、それは選ぶこと」と題して、道産加工食品や選ぶ基準となる認定制度などについて、事例紹介を交えてご講演いただきました。

講演の後には、講演者3名のほか、「北海道生活」編集長の八木由起子氏をパネリストに加え、創成研究機構の

川本真奈美学術専門職がモデレーターとなり、「あなたも仕掛け人?!広めよう“フードマイレージ”」と題してパネルディスカッションが行われました。ディスカッションは、参加者から集められた「質問カード」や、フードマイレージを広めるための「アイデアカード」を紹介しながら進められ、市民が実際の生活でどの程度、どのようにフードマイレージを意識して暮らせば良いのか、パネリストたちが活発な議論を展開しました。

当日は一般市民を中心に93名の参加者があり、質問カードの多さなどからも市民の関心の高さがうかがわれ、盛会のうちに終了しました。

（創成研究機構）



渡辺副機構長による挨拶



小林助教による講演



藤井准教授による講演



田村氏による講演



パネリスト 八木氏



パネルディスカッションの様子

## 第12回「食と健康」研究会を開催

3月2日（水）、フロンティア応用科学研究棟1階セミナー室において、第12回「食と健康」研究会を開催しました。今回は、世界が注目している「日本食」の素晴らしさを、科学的・多面的に検証するための国家プロジェクト、農林水産省異分野融合共同研究「医学・栄養学との連携による日本食の評価」の補完研究「日本食によるストレス・脳機能改善効果の解明」の平成27年度成果報告会として開催しました。

はじめに、研究代表の医学研究科神経病態学講座精神医学分野の久住一郎教授の開会挨拶、研究概要の説明に続いて、同じく豊巻敦人特任助教、古賀農人特任助教より「日本食と脳機能との関連の検討」として、神経生理学的知見、生化学的知見から、それぞれ発表がありました。

後半は、大阪市立大学健康科学イノベーションセンターの渡邊恭良所長よ

り「抗疲労素材を多く含んだ日本食の機能」について発表され、研究チームが実際に開発した抗疲労食メニューを用いて行われた試験の結果等が報告されました。

参加者からは多くの質問や活発な意見交換が行われ、この研究分野への関心の高さ、期待の大きさがうかがえました。

なお、「食と健康」研究会は今回で終了し、次回からは「食科学プラットフォームセミナー」として、より一層「食」に特化したテーマで開催するこ



大阪市立大学健康科学イノベーションセンター  
渡邊恭良

とになりました。

新しいセミナーの事務局は、引き続き産学・地域協働推進機構が担いますが、今後も皆様の期待に応えられるよう、新たなプロジェクト形成に向けて関係者のご協力を得ながら具体的な成果の創出を目指していきます。

この研究分野に興味のある学内研究者は、お気軽にお問い合わせください。

◆jigyo@mcip.hokudai.ac.jp

（産学・地域協働推進機構）



会場の様子

## 北海道地域4大学1高専による新技術説明会を開催

国立研究開発法人科学技術振興機構と本学産学・地域協働推進機構は、3月8日（火）にJST東京別館ホール（東京・市ヶ谷）において、室蘭工業大学、北見工業大学、帯広畜産大学、函館工業高等専門学校と共に「北海道地域4大学1高専・新技術説明会」を開催しました。

新技術説明会は、本学が主催者となり、北海道地区の大学・高等専門学校

の医薬、バイオ系の特許技術シーズを集め、研究者が自らの特許技術について実用化を展望した技術説明を行うことで、事業化及び共同研究を希望する企業等と産学連携マッチングを図るイベントです。本学では、平成22年度から北海道地区の他大学・高等専門学校等と連携して開催しており、今回で7回目の開催となりました。

今回は1日で9件の講演発表（本学

研究者からの講演発表は5件）がなされ、来場者数120名、技術個別相談件数14件、名刺交換数43件と大変盛況な会となりました。今回引き合いを受けた企業に継続的なフォローを行い、今後の技術移転活動に反映させていきます。

（産学・地域協働推進機構）



会場の様子



## 北大発ベンチャー促進懇談会年次報告会を開催

3月29日（火）、百年記念会館大会議室にて、北大発ベンチャー促進懇談会年次報告会「ベンチャーキャピタルを使いこなす」を開催しました。

この懇談会は、本学の技術シーズの企業化を加速し、技術革新、地域活性化に活用することを目的に月例会として開催してきたセミナーの平成27年度の総まとめの会です。

4月に設立された本学の創業デスクの活動を報告し、現在7件の創業計画に対して支援を行っている旨の説明を行いました。また、北大発ベンチャー認定制度の紹介と募集開始のアナウンスも行いました。

会議の冒頭、産学・地域協働推進機構長である川端和重理事・副学長と株式会社東京大学エッジキャピタルの郷治友孝代表取締役社長との間で、連携協力覚書の調印式が行われました。同社は大学専門のベンチャーキャピタル

として平成16年に設立され、10年余で1兆円を超える時価総額のベンチャーの創立・支援を実現してきました。

続いて、独立行政法人中小企業基盤整備機構の矢島敬雄理事から「ベンチャーキャピタルの機能と活用」と題する基調講演が行われました。同機構は、事実上国内のベンチャーファンドすべてに出資しており、ベンチャーキャピタルのフィクサーともいえる国の機関です。続いて、郷治代表取締役社長から「大学発ベンチャーとベンチャーキャピタルの活動について」と題して講演いただきました。お2人が強調されたのは、ベンチャーキャピタルはハゲタカファンドではなく、研究者と併走する支援者である、ということでした。

年次報告会の後半は、4名の方が、出資を募るためにベンチャーキャピタリストを説得するためのプレゼンテー

ションを行う、というピッチイベントでした。このイベントは我が国の主要な競争的資金を供給する国の機関である特定研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と本学の共催で行われました。我が国トップレベルのベンチャーキャピタリスト、ベンチャー支援者である4名のコメントーターから厳しくも温かい質問・コメントをいただき、緊張感あふれるピッチとなりました。

セミナーの後は、ファカルティハウス「エンレイソウ」で交流会を開催しました。講師、参加者、スタッフ約50名が参加し、和やかな意見交換が行われました。このイベントの様子は翌朝のNHKニュースで紹介されました。

（産学・地域協働推進機構）



調印式署名の様子



川端機構長（左）と郷治代表取締役社長（右）



ピッチイベントの様子

# 保健センターで第3回健康キャンパス北大「健康づくり支援セミナー」を開催

保健センターでは、2月16日（火）午後6時30分から同7時30分まで保健センターラウンジにおいて、第3回健康キャンパス北大「健康づくり支援セミナー～カラダチェックと運動のススメ～」を開催し、21名の教職員・学生の参加がありました。21名の内訳は教職員17名、学生4名で、今回は教職員の関心が高かったようです。

本セミナーでは、受付後、まず「In Body230」により、参加者のカラダチェックを行いました。In Body230は、体の筋肉・脂肪バランスなど、いろいろな成分を測定し分析する装置です。セミナー開始後、まず川原由佳子保健

師より概要説明があり、引き続き橋野聡センター長の挨拶がありました。その後、吉村 彩臨床検査技師より「体成分分析装置In Body230を体験しよう～あなたのカラダ年齢は何歳～」と題し、In Body230によりあらかじめ測定した結果の内容について詳しい説明があり、実際のカラダ年齢が示されました。

次に、橋野センター長より「運動は、何歳からでも始められる！」と題した講演が行われ、講演後は、エアロバイク、トレッドミル（ランニングマシン）などの使用方法の説明と実習が行われました。参加した教職員・学

生は熱心に受講し、実習の後には、終了予定時間がかなり超過してしまうほど質疑応答が活発に行われました。事後のアンケートでは、「体組成計や健康器具を体験し興味深かった」「自分の体の状態が知ることができてよかった」「定期的に運動しようという気になれた」「生涯運動を続けようと思った」などの声が寄せられ、好評なセミナーでした。

本センターでは、今後も継続して様々な講習を企画・実施していく予定です。

（保健センター）



吉村臨床検査技師のIn Body230の説明



実技の様子：エアロバイク



実技の様子：トレッドミル



活発な質疑応答

## ■ 部局ニュース

# スウェーデン王国国会議員団が北海道大学病院を訪問

4月1日（金）、スウェーデン王国の国会議員団（団長：レーナ・アスブルンド議員）が北海道大学病院を訪問されました。

スウェーデン・日本国会議員友好連盟（Sweden-Japan Parliamentary Association）に所属する国会議員14名が訪問調査のために来道したもので、その一環として、日本の大学病院における外来診療や高度先進医療について知ることを目的に、本院で寶金清博病院長との懇談や、陽子線治療センターの見学等が行われました。

ピーター・シェーン准教授（国際医療部副部長）による案内のもと、外来診療棟の見学が行われたのに引き続き、寶金病院長とシェーン准教授との懇談が行われました。寶金病院長からの本院概要説明に対して、「かかりつ

け医」から大病院への紹介といった日本における外来受診の仕組みや、大学病院の財務状況、医師不足・偏在問題等について、スウェーデンと日本との比較的な視点を中心に多くの質問が出され、活発な意見交換が行われました。

最後に、陽子線治療センターの清水伸一副センター長から、センターの概要について説明があった後、陽子線治療センター見学が行われました。議員

団は、本院の進める最先端医療のみならず、日本における先進医療へのアクセスにも関心を寄せていました。

高福祉国家として知られるスウェーデンからの国会議員団による訪問は、双方にとって大変有意義なものとなりました。

（北海道大学病院）



アスブルンド議員（右側）からの質問に答える寶金病院長（左側）



清水副センター長による模型を用いた陽子線治療センター説明

# マレーシア高等教育大臣が北海道大学病院陽子線治療センターを視察

4月4日（月）、マレーシアのイドリス・ジュソ高等教育大臣が、本学訪問の一環として、北海道大学病院陽子線治療センターを視察されました。

マレーシアでは現在、学園都市建設構想が進められており、その中で陽子線治療施設の建設も予定されていることから、今回、イドリス大臣をはじめとする7名が、国内最先端の陽子線治療施設である当センターの視察に来訪されたものです。

寶金清博病院長からの歓迎の挨拶に引き続き、梅垣菊男副センター長から当センターの沿革や治療設備の説明がありました。陽子線照射技術としてスポットスキヤニング法を採用することで、施設のコンパクト化に成功した旨の説明には、関心を寄せられる様子が見えられました。清水伸一副センター長からは、センターにおける陽子線治療の特長や実績について説明がありました。これに対して、陽子線治療の副

作用や、患者さん毎の治療計画の決定プロセスについて質問が出されるなど、活発な意見交換の場となりました。

その後、梅垣副センター長の説明により加速器室を、清水副センター長の説明により治療室を視察されました。患者さんにリラックスして治療を受け

ていただくための工夫に感心されるご一行の様子が見受けられました。

今回の視察が、マレーシアにおける学園都市建設構想の実現の一助となることを願っています。

（北海道大学病院）



寶金病院長（右）による歓迎の挨拶



梅垣副センター長（右側）による加速器室の説明



清水副センター長（右側）による治療室の説明



視察後の記念撮影

## 次世代ポストゲノム研究センターを改組し 「次世代物質生命科学研究センター」を発足

先端生命科学研究院では、国家的研究プロジェクトや産学連携研究を平成18～27年度まで附属次世代ポストゲノム研究センターを中心に実施してきました。今後の社会変革や本学の第3期中期目標・中期計画期間のもとで、平成28年4月1日より同センターを改組

し、附属次世代物質生命科学研究センターを発足しました。新しい研究センターは3ユニット（産学連携、国際連携、先端基盤）を設け、企業との大型共同研究の推進、国際共同教育研究拠点（GI-CoREグローバルステーション）の創成、機器共用・高度技術人材

育成を機動的に進める体制を開始します。これにより本学内の研究シーズの実用化を更に加速させます。

（生命科学院・先端生命科学研究院）

## 先端生命科学研究院が“部局設置型”産業創出講座を 次世代物質生命科学研究センターに設置

産業創出部門制度は、本学と民間等外部の機関が共通の課題について一定期間継続的な共同研究を実施することにより、社会的に高い付加価値を持つ産業を創出し、社会イノベーションを推進することを目的とする制度です。これまでの産業創出部門は全学組織である産学・地域協働推進機構に設置されていましたが（平成28年3月末時点で5部門設置）、次世代物質生命科学研究センターの発足趣旨及び新規体制に鑑み、同センター内に、本学で初めての「部局設置型」産業創出部門として、株式会社ダイセルと連携協力して「脂質機能解明研究部門」を4月1日（金）に開設しました。

全学組織設置型は部局横断的な融合研究開発に適していますが、この度の部局設置型は研究テーマを「乾燥肌・アトピー性皮膚炎・抗ガン剤投与患者の皮膚状態改善及びアルツハイマー予防のための新規機能性健康素材の開発」に絞り組織構成をコンパクトにすることで、より柔軟かつ機動的な共同研究開発が可能になるなどの利点が見込まれます。

植物性セラミドを用いた皮膚機能改善の研究開発はこれまでユニチカ株式会社との共同研究として、地域イノベーション戦略推進事業「さっぽろヘルスイノベーション“Smart-H”」などで展開して優れた機能性食品を生む

など多くの成果をあげてきました。ユニチカ株式会社の健康部門が株式会社ダイセルに合併移行したのを期に、これを更に発展させ、「うるおい肌」部門の初めての特定保健用食品を目指すなど、全国的に発展しつつあるセラミド市場を牽引していくことを目指します。また、これまでの研究を抗ガン剤投与患者の皮膚機能改善やアルツハイマー疾患予防のための新規機能性素材の開発といった、健康長寿社会を今後築いていく上での重要課題にも取り組んでいく予定です。

（生命科学院・先端生命科学研究院）

## 水産科学院各種表彰授賞式を挙行

3月25日（金）、ロワジュールホテル函館において、水産科学院各種表彰の授賞式を学位記授与式に引き続き、執り行いました。

本表彰は、学術上優れた研究成果を

挙げた大学院生に授与される水産科学院独自の表彰制度で、平成27年度は伊藤一隆賞2名、佐々茂雄賞1名、はるにれ賞1名の計4名の修了者が受賞しました。

授賞式では宮下和夫副研究院長から賞状が贈られ、お祝いの言葉が述べられました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



「はるにれ賞」受賞者



祝辞を述べる宮下副研究院長

名称	学年	受賞者
伊藤一隆賞	博士後期課程3年	稲葉 信晴
	博士後期課程3年	杜 磊
佐々茂雄賞	修士課程2年	小竹 元己
はるにれ賞	博士後期課程3年	泉 ひかり

## 水産学部キャンパス移行式及びくろしお賞授賞式を挙行

水産学部3年次の函館キャンパスへの移行に伴い、4月4日（月）、講義棟大講義室において、キャンパス移行式を行いました。

式には、木村暢夫副研究院長のほか、宮下和夫副研究院長、評議員、学科長、教務委員長、学生委員長、練習船船長及び学科担任が出席し、木村副

研究院長から218名の移行者へ、函館キャンパスで新たに始まる学生生活に向けて激励がありました。

移行式終了後には、引き続き、水産学部くろしお賞の授賞式を行いました。

本表彰は、優れた学業成績により水産学部第3年次に進級し、函館キャン

パスに移行した学生を表彰する水産学部独自の表彰制度です。

受賞者である海洋生物学科3年の河村眞美さんには、木村副研究院長から賞状が授与され、お祝いの言葉が述べられました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）



移行生を激励する木村副研究院長



「くろしお賞」授賞式の様子

## 薬学研究院が第7回薬学研究院研究発表会（FD研修会）を開催

3月18日（金）、薬学研究院臨床薬学講義室において「第7回薬学研究院研究発表会（FD研修会）」を開催しました。本発表会は、教員のプレゼンテーション能力の向上や他分野の研究に関する理解を深めることによる共同研究の活性化等を目的として、FD研修会を兼ねて年2回実施しているものです。

発表会では南 雅文薬学研究院長の開会挨拶の後、分子生物学研究室の仁木加寿子助教による「これまでの研究

と今後の抱負」、創薬有機化学研究室の福田 隼助教による「強力な抗炎症作用を有するレゾルビン類の構造活性相関研究」、及び薬剤分子設計学研究室の秋田英万准教授による「細胞内環境に応答する脂質様材料：ssPalmが拓くマルチ創剤基盤」の研究発表が行われました。

発表会には本研究院の教職員56名が参加し、活発な質疑討論が交わされました。出席者へのアンケート調査では「他分野の研究内容やその歴史を知る

ことで、知識の幅が広がるとともに自らの研究についても、より多角的な視点で捉え直す良い契機になった」などの肯定的な意見が多数寄せられました。また、発表者に対してプレゼンテーションに関する感想・意見・激励などのフィードバックも多く寄せられ、大変有意義な会となりました。次回は今夏に開催する予定です。

（薬学研究院・薬学部）



仁木助教の発表



福田助教の発表



秋田准教授の発表

## 国際広報メディア・観光学院が北京と上海で留学説明会及び同窓会を開催

3月12日（土）に国際交流基金北京日本文化センター、3月18日（金）には名古屋大学中国交流センターをお借りして、国際広報メディア専攻志望の留学生向け説明会を開催しました。今回は北京・上海とも新任の委員が加わり、気持ちも新たに説明会に臨みました。今年も留学への希望を胸に秘めた参加者が、両会場で40名を超えるほど集まりました。説明会開始前には新たに作成した学院紹介DVDを放映し、参加者に学院を身近に感じてもらうことから始め、プログラムは例年通り、全体説明、研究生と大学院生としての学修、本研究院独自の事前審査応募の注意点などを中国語翻訳付きで説明しました。今回も北京・上海の両説明会で本学院の最近の修了生や現役生が応援に駆け付けてくれ、また、上海説明会ではテレビ電話のポリコムを利用して札幌にいる現役大学院生と結び、参加者と先輩とが直に中国語で生活面に

についての質問・アドバイスなどのやりとりを交わす時間が設けられました。参加者向けに実施したアンケートの結果からは、留学に備えて必要で有益な情報を提供できた感触を得ています。今回も北京と上海との2か所開催により、中国各地から幅広く参加者を集め情報発信することができたことから、今後も本説明会の開催形態や実施日について様々な角度から検討していきたいと思えます。

また、両説明会ともに、終了後は本

学院国際広報メディア専攻修了生・現役生による同窓会が開催され、学院での思い出やそれぞれの近況について、親しく語り合う場が持たれました。同窓会では修了生のその後の活躍を知ることができ、それをまた今後の留学希望者に向けた留学説明会に還元していくという、良い形の循環ができています。

（国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院）



説明会参加者と修了生との交流場面（北京説明会）



修了生と記念撮影（上海同窓会）

## 国際広報メディア・観光学院が台北で留学説明会及び同窓会を開催

3月26日（土）・27日（日）の2日間、台北市中心部の交流協会台北事務所文化ホールを会場にお借りし、本学院の留学説明会を実施しました。台湾での学院説明会は昨年度に続き2度目の開催で、2日間合わせて20名を超える参加者がありました。

説明会では、今年度新たに撮影制作された学院紹介ビデオの上映に続き、まず教員から、各専攻でどのような研究教育が行われ、いかなる特色を持った教育方法で講義や演習が展開されているか、あるいは先輩たちがどのようなテーマの修士論文を書いているか、修了後はどのような進路に進んでいるか等について紹介したほか、入試の概要や研究生制度についても詳しい説明を行いました。また、メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センターの最近の活動状

況についても紹介し、現在、様々な課題に直面している東アジア情勢に、メディア研究・コミュニケーション研究の視点からアプローチすることのアクチュアリティについても説明しました。その後、ボランティアスタッフとして駆けつけてくれた台湾出身の修了生2名も、それぞれ自分が学院で取り組んだ研究テーマと現在の仕事などについて紹介してくれました。

引き続きQ&A、個別面談・グループ面談でも、教員からの説明に加え、実際に学院で学んだ同じ台湾出身の先輩から学生時代の体験に即した情報や親身のアドバイスを直接得られたことは、参加者にとって大変参考になった様子で、予定時間いっぱいまで熱心なやりとりが交わされ、非常に好評でした。

また、説明会1日目の終了後には、

昨年に続き第2回目の同窓会（台湾校友会）を開催しました。説明会に協力してくれた観光創造専攻の修了生2名のほか、国際広報メディア専攻の修了生1名も駆けつけ、互いの近況や学生時代の思い出話、今回残念ながら出席できなかった修了生の状況についても情報共有され、大いに盛り上がりました。入学年度の違いや専攻の別なく、学院を通じてつながった縁を再確認することができた意義深い一夜となりました。

今回も説明会と同窓会でアンケートを実施したので、説明会に参加してくれた皆さんや修了生の声を参考に、今後の学生募集活動や同窓会活動に活かしていきます。

（国際広報メディア・観光学院、  
メディア・コミュニケーション研究院）



熱心に説明に耳を傾ける参加者



グループ面談の様子



同窓会参加者で記念撮影

# 第14回北海道大学・北京科技大学ジョイントシンポジウムを開催



集合写真



Wang副学長の基調講演



寺尾副学長の挨拶



全体会議の様子



名和工学研究院長（中央）と優秀論文発表者

3月7日（月）・8日（火）に、第14回北海道大学・北京科技大学ジョイントシンポジウムを開催しました。本学は1986年に中国の大学として最初の大学間交流協定を北京鉄鋼学院（1988年に北京科技大学に改称）と締結しました。これを機に、教育・研究交流の一環として1988年から交互にホスト校となりジョイントシンポジウムを継続的に開催しています。

今回で14回目を迎えた本シンポジウムは、全体会議、2つの分科会及び学生の研究発表からなり、北京科技大学を会場として盛大に開催されました。今回は、山口佳三総長の代理として寺尾宏明副学長が出席し、工学研究院、工学院、情報科学研究科及び総合化学学院から教職員10名と学生12名の合計22名が出席しました。

7日（月）午前9時30分から、Techart Plaza F USTBを会場に全体会議が開催され、北京科技大学のGe Wang副学長から今年は協定締結30周年の記念の年であること、これまでの交流を祝うとともに今後も継続的な両校の交流と発展を願う旨の挨拶がありました。

続いて、寺尾副学長から本学では2013～2015年の3年間に北京科技大学から約30名の交換留学生を受け入れていること、大学間交流協定を締結して

いる約30の中国の大学の中で最も活発な交流を行っている大学であること、本シンポジウムが両大学の益々の発展に繋がることを期待する旨の山口総長の挨拶文が代読されました。

この後、Kanjun Guo国際センター処長から北京科技大学の概要とこれまでの両大学の交流状況について紹介がありました。次いで、記念品の交換が行われ、Zhang Xinxin学長から今回のシンポジウムを記念した銅製の銘皿が寺尾副学長に、寺尾副学長からは優佳良織のテーブルクロスがZhang学長にそれぞれ贈られました。名和豊春工学研究院長からは、工学研究院等の概要がユーモアを交えて紹介されました。最後に、両校の学生生活について、北京科技大学の学生と中川祐貴さん（工学院材料科学専攻DC3年）からそれぞれ紹介があり、大いに会場を沸かせました。この後、キャンパスツアーが実施され、2008年の北京オリンピックに使用された体育館、食堂、学生寮等を見学しました。

同日午後2時からは、シンポジウムA（材料）とシンポジウムB（情報、機械、化学）の2つの分科会が、それぞれ材料学院と情報学院に分かれて実施され、両大学16名の教員が各自の研究について発表し、活発な討論が行わ

れました。

8日（火）午前9時から、学生の研究発表が国際センター多機能教室において行われました。まず、ショートプレゼンテーションとして、29人の学生から1人2分間の口頭発表があり、両校の教員による5段階の評価が行われました。次に、会場内のポスターにより学生と教員を含む参加者による意見交換が熱心に行われました。

午後6時30分からは北京市内の日本食レストランでレセプションが開催されました。その席上、名和工学研究院長から研究発表の優秀学生4名（各校上位2名）に対して、表彰状が授与されました。また、学生も含めた両校の相互理解と親睦を深め、次回は札幌での開催を約束して、全ての行事を終りました。

なお、今回のシンポジウム開催に当たり、北京科技大学から本学に留学経験がある学生や留学を希望している学生、本学のインターンシップ研修生を世話した経験のある学生等が多数ボランティアとして参加し、シンポジウムの円滑な運営と両校の友好に大いに貢献しました。

（工学院・工学研究院・工学部、情報科学研究科、総合化学院）



## 喜田 宏名誉教授に「人獣共通感染症リサーチセンター特別招へい教授」の称号を授与

人獣共通感染症リサーチセンターは、4月1日（金）、人獣共通感染症リサーチセンター大会議室において特別招へい教授称号授与式を挙行し、鈴木定彦センター長から喜田 宏名誉教授へ、特別招へい教授称号記を授与しました。

この称号は、人獣共通感染症リサーチセンターの学術研究の進展並びに共同利用・共同研究拠点の機能向上に資するため、顕著な業績を有し、日本学士院賞等を受賞した本学の教授経験のあるもの、センターの研究活動及び大

学院の教育活動の進展に特に寄与したものに授与し、本センターに活動の拠点を確保してその活動を支援しようとするもので、2月9日（火）開催の本センター協議員会において、喜田名誉教授に、人獣共通感染症リサーチセンター特別招へい教授の称号を授与することを決定しました。

同氏は、専門分野であるインフルエンザ制圧のための基礎的研究をはじめ、国際社会における人獣共通感染症対策の指揮を執り、センター長及び統括として長年にわたり本センターの研

究活動に寄与されました。また、今後も引き続き統括として本センターの活動へご指導、ご助言をいただきます。

授与式では、鈴木センター長が同氏の長年にわたる本センターの活動へのご指導・ご尽力への感謝と労いを述べ、喜田名誉教授より人獣共通感染症研究に対する今後の発展についてのお言葉の後、和やかな空気の中、センターの教職員で同氏を囲んでの記念撮影を行いました。

（人獣共通感染症リサーチセンター）



喜田名誉教授（右）と鈴木センター長（左）



人獣共通感染症リサーチセンターの教職員と記念撮影

## 教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教職高度化研究部門が フォーラム「今後の教職制度改革と大学院における教職の高度化」を開催

3月10日（木）、教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター教職高度化研究部門が教職高度化フォーラム「今後の教職制度改革と大学院における教職の高度化」を開催しました。

はじめに、小内 透教育学研究院長より開会挨拶があり、近藤健一郎准教授による報告「今後の教職制度改革の見通しと北大の教職課程」では、昨年12月に出された中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」をふまえ、今後各大学が取り組む教員養成の方向性や、考慮しなければならない点等について紹介がありました。また、東京学芸大学の教員養成評価プロジェクトが進めている研究概要、とりわけ教員の質保証の取り組みや認定基準等が示されました。

続いて、安達 潤教授による報告「高等学校における特別支援教育の実際と北大生の意識」では、高等学校における特別支援教育のニーズを把握し、中学校・高等学校教員免許を取得

する学生、大学院生に対する教育プログラムを検討することを目的として実施された3つの調査（北海道内の高校（161校）、現職教師（560名）、本学で教職課程を履修している学生（122名））について報告がありました。調査から、8割を超える学校で、学びや行動・コミュニケーションに困難を示す生徒が在籍していること、そのうち4割近い学校では一般的に基準として示されている6%を超えていることなどが示されました。また、学校での指導は、普段の指導の延長に留まっており、本人や保護者の視点に立った支援には至っていない状況などが報告されました。これらをふまえ、今後本学の教職課程に取り入れた方が良い内容や具体的手立てが提案されました。

シンポジウムでは、「研究志向の大学院における教職の高度化」というテーマのもと、4名のシンポジストから発表が行われました。姫野完治准教授からは、今年度から新たに組み込んだ大学院共通授業科目「学校フィール

ドワーク実践研究」の取り組み概要と評価について報告がありました。その上で、同授業を受講した大学院生の伊藤 茜さん（生命科学院）と横口 馨さん（理学院）から、授業を受けての成果と課題が発表されました。続いて、フィールドワークを受け入れた播 良夫氏（札幌北高等学校教諭）より、札幌北高等学校の取り組み状況やフィールドワークでの成果、教職を志望する学生に求めること等が示されました。4名の発表とSarkar.Arani,M.R准教授（名古屋大学）の指定討論をふまえて、大野栄三教授をコーディネーターにフロアを交えた討論が行われ、「教職の高度化」をいかに捉えるか、教師に求められるSocial Justice（社会正義）、研究志向の大学院における教職のあり方等について活発な議論が交わされました。

（教育学院・教育学研究院・教育学部）



近藤准教授の報告



安達教授の報告



シンポジスト、コーディネーターの各氏

## 公共政策学研究センターが「第4回北海道ダイアログ：東アジアにおける市民社会対話」を開催



参加者の集合写真

2月19日（金）・20日（土），韓国中央大学にて公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター東アジア研究所主催により，日本，韓国，台湾，中国の東アジア地域の4つの市民社会を代表する研究者・民間活動家を集めた「第4回北海道ダイアログ：東アジアにおける市民社会対話」を開催しました。

過去3回の「北海道ダイアログ」は本学で開催しましたが，今年は初の試みとしてソウルで実施しました。今回は「親密圏，家庭，ケア」の現状と課題をテーマとして，ジェンダーや国民的再生産に関わる規範や人々の行動の

変化について，参加者が各国・地域の現状と課題を持ち寄り，意見交換や議論を繰り広げました。

旧来の婚姻や家庭の観念が色濃く残った法制度を変え，家庭内での男女平等の実現を目指す台湾の民間活動家の取り組みや，経済構造の変化に伴い女性が非正規雇用で低賃金労働への従事を余儀なくされている韓国の実情，また中国からは家庭が国家と個人にとってそれぞれの安全を求める先となっているとの視点が提示されました。日本については，家族主義から脱却できていない社会的規範と法制度により，家族あるいは社会によるケアか



遠藤 乾教授による報告の様子



会場の様子

らこぼれおちる貧困児童の問題提起がなされました。

個人が愛着を感じる私的領域をめぐり，国家による福祉充実への期待と親密圏への政治の介入への懸念，その狭間にゆれる日本，韓国，中国，台湾の現状について，国と地域の壁を超えて改めて見つめ直す対話の場となりました。

（公共政策学教育部・公共政策学連携研究部）

## 社会科学実験研究センターで「2015 SAGE-Hokkaido Award for Best Journal Article in Social Sciences」授与式を挙

3月18日（金）、文学研究科・文学部小会議室において「2015 SAGE-Hokkaido Award for Best Journal Article in Social Sciences（2015年度SAGE-北海道大学社会科学国際優秀論文賞）」授与式を執り行い、関係者列席のもと、結城雅樹社会科学実験研究センター長から石橋伸恵氏（文学研究科博士後期課程3年）に、賞状及び副賞（目録）が授与されました。

本賞は、SAGE Publications, Asia-Pacific Pte Ltdと社会科学実験研究センターの共催により、本学大学院生の英文学術誌への掲載論文を表彰することで、本学が掲げる基本理念のうち、特に「フロンティア精神」、「国際性の涵養」のもとに、人間と社会の関係をめぐる社会科学研究諸領域において、将来国際的に活躍できる人材育成に寄与することを目的として平成27年

度に設立されたものです。

受賞論文の詳細及び受賞理由は以下のとおりです。

受賞者は、2016年度中に本学キャンパスで開催されるSAGE Publications Asia-Pacificの担当者との茶話会に出席します。

（社会科学実験研究センター）

受賞者：石橋伸恵氏（文学研究科博士後期課程人間システム科学専攻）

標 題：Quantum Decision-making in Newcomb's Problem: Effect of Reward Size.  
（ニューカム問題における量子的意思決定：金額効果）

著 者：石橋伸恵、高橋泰城

掲 載 誌：NeuroQuantology, 13 (3) , 293-298

受賞理由：人間に備わっている様々な「非合理性」については、これまで多くの研究がなされてきたが、本研究は量子意思決定理論という最新の理論を用いて人間が確率判断の際に非合理的に振る舞うことを説明しようとするものである。最新の理論を用いている点、及び実験結果の解釈の独自性は極めて高く、今後の当該分野の発展に寄与する可能性が高いと評価した。



受賞者の石橋氏（中央右）と結城センター長ほか列席者

## 脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第12期修了生に 修了証書授与



今年度の修了生と基幹教員

3月24日（木）、修士・専門職学位・博士学位記授与式当日の午後4時から、ファカルティハウス「エンレイソウ」第一会議室において、脳科学研究教育センターが設置する発達脳科学専攻教育プログラム修了生に対し、吉岡充弘センター長から修了証書が授与されました。

今年度の修了生は第12期生として、修士課程7名（河村友里絵：文学研究科、福富又三郎：生命科学院、蒔苗詩歌、宇野智己：教育学院、藤盛陽介、西 慶悟、木村勁介：保健科学院）、博士課程1名（陳沖：医学研究科）の

所属学院・研究科の学位取得に加えて、発達脳科学専攻所定の修了要件を充足し、修了が認定されたものです。

センターでは、脳科学に関する大学院共通授業科目の開設に加え、研究分野の垣根を越えた融合的研究指導の一環として、北広島クラッセホテルでの合宿研修、脳科学シンポジウムの開催、複数の研究科等に所属する基幹教員による修了論文の審査などを行っています。中でも、修了論文の公開発表会や合宿研修では、できるだけ専門用語を使わず、他専攻の大学院生・教員に自分の研究を理解してもらうことを



センター長から修了証書授与

特に重視しています。

発達脳科学専攻は、文理医系融合型の脳科学研究のバーチャル専攻として、平成15年度に発足し、現在は学内10研究科（学院）にわたる大学院生を対象として複雑な機能をもつ脳について融合した教育プログラムを編成し、研究科枠を超えた人材育成を図っています。これまでに修士課程76名及び博士（後期）課程22名、計98名の修了生を送り出しています。

（脳科学研究教育センター）

## 脳科学研究教育センター発達脳科学専攻の開講式を挙



新しく加わった履修生と基幹教員

脳科学研究教育センターでは、4月1日（金）午後4時30分からファカルティハウス「エンレイソウ」第一会議室において、今年度入学した履修生の開講式を行いました。

渡邊雅彦センター長（医学研究科教授）から、祝辞とともに発達脳科学専攻の特色ある教育体制や研究指導内容についての説明があり、新入生は、バーチャル専攻の特徴を活かした大学院教育に、大きな期待を示していました。

引き続き、出席した基幹教員と履修生の自己紹介の後、田中真樹センター

教務専門委員会委員長（医学研究科教授）から、修了要件についての説明があり、「所属学院・研究科の課程のみを修了する大学院生に比べ、より多くの単位を修得する必要がある、さらには当センターの合宿研修や発表会等で研鑽を積むことになり大変ではあるが、その経験は必ず将来の自信につながるので頑張ってください」との激励がありました。

開講式に引き続き、同会場にて新入生歓迎交流会が行われ、参加者は所属部局を超えて情報交換を楽しんでいました。

本専攻には、今年度14名の履修生（修士課程9名、博士（後期）課程5名）が加わり、全体では26名の履修生が在籍することになります。

（脳科学研究教育センター）



新入生歓迎交流会の様子

## 北海道大学病院で新規採用者多職種合同歓迎会を開催

4月5日（火）、北海道大学病院では今年度採用する6つの職種（医科臨床研修医・歯科臨床研修医・看護師・薬剤師・メディカルスタッフ・事務職員）の新規採用者を対象に、多職種合同歓迎会を開催しました。

この合同歓迎会は、病院全体で新規採用者へ歓迎の意を表するとともに、午前中から行われたコミュニケーションスキル研修の一貫として企画し、各部署の新規採用者と病院各部署・職種間の相互の親睦を図り、優れたチーム

医療体制作りを目指したものです。会場となった北部食堂には、新規採用者215名のほか、寶金清博病院長をはじめ病院執行部・各診療科長等87名が集まりました。

会の冒頭では、寶金病院長の開会挨拶、北川善政副病院長の乾杯の発声があり、多職種混合グループでの笑顔があふれる賑やかな雰囲気となりました。会の途中には病院執行部より期待のこもった激励及び各職種の新規採用者紹介があった後、その期待に応える

ように新規採用者代表6名より熱い抱負が述べられました。最後に、佐藤ひとみ看護部長から乾杯及び閉会の言葉が述べられ、大盛況の中、惜しまれつつも会が終了し、新規採用者と病院職員との交流が深まる場となりました。

職種の垣根を越えたシームレスな連携が重要性を増す医療現場において、本会がチーム医療実践の一助となることを期待します。

（北海道大学病院）



開会の挨拶をする寶金病院長



親睦を深める新規採用者

# 物質科学リーディングプログラムが原山優子氏・有本建男氏を 招いてパネルディスカッションと特別講演会を開催

物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム(ALP)\*では、日本の科学政策のエキスパートを招聘し、国際的に活躍できる博士人材、物質科学による課題解決、科学技術政策などについてプログラム生とともに考えるパネルディスカッションと講演会を開催しました。

1月12日(火)には、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の常勤議員である原山優子氏をお招きし、理学部7-310講義室で公開パネルディスカッション「科学技術イノベーションを駆動する人とは？」を開催しました。原山氏とプログラム生4名、石森浩一郎プログラムコーディネーターが、将来のイノベーション人材となる大学院生の多様性(年齢や性別など)のあるべき姿や、日本の大学院の教育システムの問題点などについて踏み込んだ議論を行いました。また、翌13日(水)にフロンティア応用科学研究棟5-12室で開催した特別講演会「地球規模課題に向き合う：大学のリーダーシップ」では、原山氏はプログラム生に「大学には、環境問題や貧困・感染症などの地球規模の課題に対してイニシアチブをとる人を育て、新たな価値

観を生み出す役割が強く期待される。日本の大学組織には改善すべき様々な課題があるので、リーディングプログラムで俯瞰力を培ったフレッシュな学生がボトムアップ型のリーダーシップを発揮し、大学をより良いものにしてほしい」と語られました。

3月10日(木)には、政策研究大学院大学教授・科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェローの有本建男氏をお招きし、理学部7-310講義室で公開パネルディスカッション「A Global Leader in the 21st Century (21世紀を担うグローバルリーダー)」を、翌11日(金)にフロンティア応用科学研究棟5-12室で特別講演会「Bridging Science, Society and Politics in the Changing World (変革する世界で科学・社会・政治を架橋する)」を開催しました。文部科学省で科学技術政策を、科学技術振興機構で科学技術の社会実装を推進されてきた有本氏は、科学と社会を語る中で科学をどう発展させていくか、また、これからの日本をどのように変えていったら良いかを繰り返しプログラム生に問いかけました。加えて、何か新しいことを行う際には仲間を増やすこと、チームで新し

い科学を作っていくことが必要とのアドバイスを送りました。

当プログラムは、従来型の「学術志向に基づいた高度専門知識を有するリーダー」育成からの脱却を図るため、化学・物質工学・生命科学が融合した先端科学の圧倒的な専門力をベースに、分野を超えて本質を見通す秀逸な能力に基づいて物質科学フロンティアを開拓し、我々が直面する環境破壊、エネルギー危機、高齢化社会、食糧危機などの難課題の解決を自らの強い意志で先導できるAmbitiousリーダーを産学官で育成することを目的としています。科学を推進する政策に携わってきた両氏によって語られたメッセージは、プログラム生にとって大きな力となっていくことでしょう。

\*物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム(ALP)

総合化学院総合化学専攻、生命科学院生命科学専攻、環境科学院環境物質科学専攻、理学院数学専攻、工学院量子理工学専攻に所属する大学院生を対象とする5年一貫の大学院教育プログラム。

(理学院・理学研究院・理学部)



パネルディスカッションで討論する原山氏(左側)とプログラム生



講演する原山氏



パネルディスカッションで会場からの質問に応じる有本氏(中央)



講演会でプログラム生に語りかける有本氏

## ■お知らせ

# 平成27年度実施大学機関別認証評価結果について

本学は、独立行政法人大学評価・学位授与機構の平成27年度実施大学機関別認証評価を受審し、3月24日（木）に「同機構が定める大学評価基準を満たしている」との評価を受けました。

この評価により、本学における教育研究活動等の質が保証され、高等教育機関として十分な水準にあることが認められました。

なお、評価結果の中で以下の事項を含む5項目が、主な優れた点として挙げられました。

- 総合入試を実施することによって、文系、理系ごとの共通カリキュラムによる初年次教育の充実が図られ、入学後の学習成果に基づいて学部・学科を選択することを可能としている。
- 学士課程、大学院課程の全授業科目において、開講部局、レベル、授業内容、使用言語に応じて特定の番号を付与する授業科目のナンバリングを実施している。
- 文部科学省からの支援により、「北海道内国立大学の機能強化について～北大を拠点とする連携体制の構築～」 「新渡戸カレッジの創設」 「教学評価体制（IRネットワーク）による学士課程教育の質保証」 「日本とタイの獣医学教育連携：アジアの健全な発展のために」 「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家庭教育プログラム（RJE3プログラム）」 「人口・活動・資源・環境の負の連鎖を転換させるフロンティア人材育成プログラム（PAREプログラム）」 「One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム」 「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」 「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」を実施している。

（総務企画部企画課）



認定証



認定マーク



## 平成28年度 人間ドックの実施について

文部科学省共済組合北海道大学支部では、文部科学省共済組合本部の指導の下、保健事業の一環として健康管理の推進を目的に人間ドックを次のとおり実施しています（任意継続組合員を含む）。

なお、平成19年度より、受付等については専門業者へ外部委託となり、組合員が直接ホームページ等から申込みしていただくこととなりますので、よろしくご協力願います。

### 1. 申込期間

平成28年4月1日（金）～12月20日（火）

### 2. 対象者

満年齢35歳以上（当該年度の4月1日現在）の組合員（任意継続組合員を含む）及び組合員の被扶養者である配偶者

### 3. 補助額

組合員 2万5千円 被扶養配偶者 1万5千円

（利用料金が共済組合助成額を下回る場合は、利用料金）

受診料の個人負担額は、医療機関に支払います。

### 4. 健診機関

文部科学省共済組合ホームページ掲載の「健診機関リスト」から各自選択します。

### 5. 申込方法

申込方法につきましては、昨年度と同様の取扱いとなりますので、詳細については文部科学省共済組合ホームページでご確認願います。

なお、ホームページを閲覧できない方は、郵送の申込となりますので所属部局等の担当者へお尋ねください。

文部科学省共済組合ホームページアドレス

<http://www.monkakyosai.or.jp/>

### お問い合わせ先

株式会社イーウェル 健康サポートセンター

TEL 0570-057120

受付時間 （平日）10時～20時 （土・日・祝）10時～17時

### 6. その他

平成20年度から健康保険組合に「特定健康診査」が義務づけられたことに伴い、今回実施する健康診断結果のうち、法定健診項目及び特定健診項目に関する診断内容及び問診結果等の個人情報については保有・利用させていただきます（目的外利用はいたしません）。

（文部科学省共済組合北海道大学支部）

## 博士學位記授与

3月24日（木）に本学大学院研究科等の所定の課程を修了した課程博士は278人、及び本学に学位論文を提出してその審査、試験等に合格した論文博士は18人でした。なお、被授与者の氏名と論文題目等は次のとおりです。

(学務部学務企画課)

### 課程博士

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者		博 士 論 文 名
	氏 名		
博士（文学）	井 上 蔭 文 いの うえ まさ ふみ		東郷実と帝国日本 主査：教授 権 錫永
	大 谷 伸 治 おお たに しん じ		昭和戦前～戦後初期の〈国体〉と〈デモクラシー〉 - 日本国憲法との連続性に着目して - 主査：准教授 川口 暁弘
	大和田 つとむ 努 おおわだ つとむ 努		日本中世外記官人の研究 - 廷臣の参集の場と人的ネットワークの形成を中心に - 主査：准教授 橋本 雄
	曹 建 平 ソウ ケン ヘイ		近代満州における煙草産業に関する研究 主査：教授 白木沢 旭児
	張 集 歆 チョウ シュウ カン		1930-1940年代中国華南地域における商人組織の研究 主査：教授 白木沢 旭児
	久 井 貴 世 ひさ い あつ よ		江戸時代におけるツルの生息実態および人との関わり 主査：教授 佐々木 亨
	白 尚 輝 ベック サン ヤップ		Tungusic from the Perspective of Areal Linguistics : Focusing on the Bikin Dialect of Udihe (地域言語学的観点から見たツングース諸語 - ウデヘ語のビキン方言を中心に -) 主査：特任教授 津曲 敏郎
	鷺 尾 浩 幸 わし お ひろ ゆき		清末民初江南の地方自治と基層社会 主査：特任教授 三木 聡
	許 春 艶 キョ シュン エン		『全体新論訳解』二種の研究 主査：教授 池田 証壽
	関 谷 由 一 せき や ゆ いち		万葉集羈旅歌の研究 - 行旅歌における「家の妹」と〈羈旅〉主題 - 主査：准教授 金沢 英之
	趙 熠 璋 チョウ ユウ イ		荻生徂徠の四書注釋に關する研究 主査：教授 佐藤 鍊太郎
	MAYER イングリッド Ingrid Helga		『百人一首』の英独語版を通して見る和歌の翻訳 主査：教授 池田 証壽
	松 本 裕 喜 まつ もと ゆう き		『伊勢物語』本文の研究 主査：教授 後藤 康文
	劉 暁 萃 リュウ ギョウ ヘイ		未完結文における語用論的選好に関する研究 主査：教授 加藤 重広
	劉 リン 琳		日本書紀古訓の形容詞語彙に関する研究 主査：教授 池田 証壽
	呂 ショウ 晶		日本語広告表現の語用論的研究 - 形式と機能に着目して - 主査：教授 加藤 重広
	上 宮 あい 愛 うえ みや あい		嘘の理解の発達と嘘をつく行為 主査：教授 仲 真紀子
	郭 莉 莉 カク リ リ		日中の少子高齢化と福祉レジーム - 育児と高齢者扶養・介護 - 主査：教授 櫻井 義秀
	北 梶 陽 子 きた かじ よう こ		産廃処理の社会的ジレンマゲーミング：選択的誘因の失敗と情報共有がもたらす公益 主査：准教授 大沼 進

博士 (文学)	トームソン THOMSON ロバートジョン Robert John	A Socioecological Approach to Behavior and Psychological Tendencies on Social Network Sites: The Role of Relational Mobility (ソーシャル・ネットワーク・サイトにおける行動と心理傾向の社会生態学的アプローチ：関係流動性の役割) 主査：教授 結城 雅樹
	むら 村 た 田 あい 藍 こ 子	‘共感’の心的デザインの再構築－自他間の情動共有システムを出発点としたボトムアップアプローチ 主査：准教授 竹澤 正哲
	もり 森 やす 康 ひろ 浩	環境配慮行動における介入による長期的な行動変容 主査：准教授 大沼 進
博士 (法学)	かく 角 もと 本 かず 和 まさ 理	サイバー時代におけるプライバシーの法理論－私法上の問題を中心に－ 主査：教授 吉田 邦彦
	つ 津 だ 田 とも 智 なり 成	フランス国家賠償責任法における役務のフォート認定の基準と方法－国家賠償法1条1項の責任原理との比較の視点から－ 主査：教授 岸本 太樹
	ほつ 堀 た 田 ひさ 尚 のり 徳	身体拘束中の被疑者による証拠開示請求権 主査：教授 上田 信太郎
	り 李 フン 雯 セイ 静	有害物質の被害者（潜在的被害者を含む）の民事救済に関する一考察－日中米法を素材として－ 主査：教授 吉田 邦彦
博士 (経済学)	こ 小 ばやし 林 だいすけ 大州 介	イノベーションと人工物進化－シュンペーターとネオ・シュンペーター学派の理論的再考を通じて 主査：教授 西部 忠
博士 (経営学)	たか 高 はし 橋 よし 平 のり 徳	仕事現場における連携と学習：救急救命士の実証研究 主査：教授 松尾 睦
博士 (医学)	い 伊 とう 藤 さ 沙 わ 和	ヒト間葉細胞を用いた白血病幹細胞の長期培養法の樹立 主査：准教授 濱田 淳一
	いわ 岩 た 田 あきら 瑛	骨粗鬆症性脊椎椎体骨折に対する保存治療の効果と骨癒合の予測 主査：教授 生駒 一憲
	おお 大 の 野 まさ 正 よし 芳	ラット放射線性直腸炎モデルに対するヒト羊膜由来間葉系幹細胞投与の効果 主査：教授 荒戸 照世
	おか 岡 もと 本 まさ 将 あき 明	C型肝炎ウイルス感染におけるウイルスRNA認識経路を介した生体応答の解析 主査：教授 村上 正晃
	かき 蠣 ぎき 崎 とも 文 ひこ 彦	Studies on the role of MicroRNA-296-3p in the malignant transformation and liquid biopsy for the metastasis in head and neck cancer (頭頸部がんにおける悪性転化に関するMicroRNA-296-3pの役割および転移に関するリキッドバイオプシーの研究) 主査：教授 松野 吉宏
	かな 金 や 谷 みのる 穰	急性移植片対宿主病における免疫活性化受容体DNAM-1とCD155の相互作用に関する研究 主査：教授 渥美 達也
	き 木 うち 内 しず 静 か 香	胸腺及び胸腺上皮性腫瘍における細胞内プロテアーゼの発現に関する研究 主査：教授 近藤 亨
	き 鬼 とう 頭 あい 愛 こ 子	若年者における失業体験が精神的健康に及ぼす影響 主査：教授 大滝 純司
	き 木 むら 村 すぐる 傑	画像機器の観点からの動体追跡装置の品質管理法の提案 主査：教授 秋田 弘俊
	く 久 ぼ 保 きみ 公 とし 利	閉塞性黄疸患者における胆道ドレナージ術前後の肝弾性度測定 主査：教授 平野 聡
く 久 ぼ 保 た よし まさ 良 政	腭充実性偽乳頭腫瘍における超音波内視鏡下穿刺吸引生検体と次世代シーケンサーを用いたCTNNB1遺伝子変異解析に関する研究 主査：准教授 神山 俊哉	
くり 栗 オ 栖 こう 宏 た 多	脳梗塞急性期治療としての経動脈的局所脳低温による神経保護作用の研究 主査：教授 佐々木 秀直	

博士 (医学)	こん 今	まさ 雅	ふみ 史	非症候性尿道下裂の分子基盤の解明に関する研究：次世代シーケンサーおよび、比較ゲノムハイブリダイゼーションを用いた、全既知遺伝子変異解析および、ゲノムコピー数解析 主査：教授 近藤 亨		
	さい 斉	とう 藤	ひと 仁	し 志	新生仔ラット海馬歯状回における新生顆粒細胞に対する麻酔薬暴露の影響に関する研究 主査：教授 三輪 聡一	
	さ 佐	とう 藤	ふみ 史	ゆき 幸	チロシンキナーゼ阻害薬を用いた食道扁平上皮癌がん幹細胞を標的とした治療法の開発 主査：教授 佐邊 壽孝	
	しお 塩	や 谷	りゅう 隆	た 太	マウスリンパ節移植モデルにおける浮腫予防効果ならびに悪性黒色腫転移制御に関する研究 主査：教授 清水 宏	
	し 志	だ 田	はる 玄	き 貴	Anti-lactoferrin antibodies contribute to enhancement of neutrophil extracellular trap formation and are associated with disease activity of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis (抗ラクtofフェリン抗体は好中球細胞外トラップの形成促進に寄与し、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の疾患活動性に関与する) 主査：教授 水上 尚典	
	し 清	みず 水	とも 智	ひろ 弘	続発性骨粗鬆症の病態および治療に関する研究 主査：教授 生駒 一憲	
	しも 下	だ 田	ゆう 祐	すけ 介	Novel Large Cerebral Aneurysm Model Rat with Intraperitoneal Beta-AminoPropioNitril-Fumarate (BAPN-F 腹腔内投与を用いた大型脳動脈瘤モデルラットの開発) 主査：教授 森本 裕二	
	すぎ 杉	やま 山	みな 未	な 奈	こ 子	Sterilization of the access port of CV catheters using povidone-iodine decreases incidence of catheter-associated bloodstream infection (中心静脈カテーテルにアクセスする際のポビドンヨード消毒はカテーテル関連の血流感染症を減少させる) 主査：教授 橋野 聡
	す 須	とう 藤	あ あ	す す	か 香	明日香 ミトコンドリアとケラチン5/14の結合および単純型表皮水疱症の発症病態に関する検討 主査：教授 岩永 敏彦
	たか 高	はし 橋	いく 育	こ 子	Identification of plasma microRNA as a novel biomarker of sporadic amyotrophic lateral sclerosis (血漿microRNAを用いた新規筋萎縮性側索硬化症バイオマーカーの検討) 主査：教授 畠山 鎮次	
	たか 高	はし 橋	つね 恒	あり 存	遺残靱帯組織温存前十字靱帯再建術における自家移植腱の機能再構築に関する生体力学的・免疫組織学的研究：成羊モデルを用いた検討 主査：教授 岩崎 倫政	
	チュン 陳		チュン 冲		The neurobiological basis of the antidepressant-like effect of exercise (運動の抗うつ様効果の神経生物学的基盤に関する研究) 主査：教授 吉岡 充弘	
	ち 千	ば 葉	ひろ 博	き 基	排尿反射におけるラット前頭前野の役割—セロトニンを介した排尿反射制御機構について— 主査：教授 田中 真樹	
	つね 常	まつ 松	せい 聖	し 司	Hepatitis B virus x protein impairs alpha interferon signaling through up-regulation of suppressor of cytokine signaling 3 and protein Phosphatase 2A (HBx蛋白はSOCS3及びPP2Aの発現亢進を介してインターフェロニンシグナルを阻害する) 主査：教授 有賀 正	
	デン 鄧	メン 孟	ギョウ 堯		Studies of murine NK-triggering receptors expressed on myeloid cells and their response to Hepatitis B virus infection (マウス骨髄細胞でのNK関連レセプターの発現とHBV感染応答に関する研究) 主査：教授 有賀 正	
	とみ 富	やま 山	ゆう 勇	き 輝	Quantification of Vascular Function in Coronary and Brachial Arteries (冠動脈および上腕動脈の血管機能の定量評価) 主査：教授 久下 裕司	
なか 中		とも 智	あき 昭	胸膜悪性中皮腫の新規分子診断マーカーの探索および評価に関する研究：希少症例の病理組織検体からの探索アプローチ 主査：教授 西村 正治		

博士 (医学)	なり 成 田 ひさし 高	拡散尖度画像を用いた統合失調症の白質構造変化について 主査：教授 寶金 清博
	にし 西 村 まちこ 真智子	Extracellular cleavage of collagen XVII is essential for correct cutaneous basement membrane formation (17型コラーゲンの細胞外領域での切断は正常な基底膜構築に不可欠である) 主査：教授 福田 諭
	は長 谷 てつたろう 徹太郎	イソフルラン暴露による延髄最後野におけるc-Fosの発現誘導に関する研究 主査：教授 渡邊 雅彦
	はま 濱 うちゅう 祝 嗣	もやもや病特異的iPS細胞由来血管内皮細胞の多角的解析 主査：教授 大場 雄介
	はやし 林 えりか	Studies on the role of $\alpha$ -MSH-MC1R-MITF signaling pathway on TGF- $\beta$ production in melanoma cells (メラノーマ細胞におけるTGF- $\beta$ 産生に関与する $\alpha$ -MSH-MC1R-MITFシグナル経路の役割に関する研究) 主査：教授 佐邊 壽孝
	はやし 林 たい 大 知	左室弛緩能・充満圧の推定における心エコー法による心筋ストレイン/ストレインレートと運動速度解析の有用性の比較に関する多施設前向き研究 主査：教授 松居 喜郎
	はら 原 だ 田 けい 一 慶	体内留置マーカーを用いた動体追跡放射線治療の精度向上における4次元CTの研究 主査：教授 秋田 弘俊
	ふり 降 はた 旗 たか 高 あき 明	mitoNEET蛋白はミトコンドリアの鉄恒常性を調節している 主査：教授 岩永 敏彦
	ほん 本 ま 間 あ や	鼻粘膜における末梢時計機構の研究：時計遺伝子発現リズムを指標としたアレルギー性鼻炎に対する時間治療法の開発 主査：教授 西村 正治
	まつ 松 おか 岡 まさ 正 たけ 剛	関節軟骨修復における糖脂質の機能解析 主査：教授 山本 有平
	み 三 うら 浦 たくみ 巧	A study of the new preoperative prognostic scoring system to predict prognosis in patients with locally advanced pancreatic body cancer who undergo distal pancreatectomy with <i>en bloc</i> celiac axis esection (腹腔動脈合併尾側膵切除が適応となる局所進行膵体部癌症例における術前因子を用いた予後予測システムの研究) 主査：教授 武富 紹信
	むら 村 い 井 だい 大 すけ 輔	Studies on the relationships of left ventricular strain and strain rate to wall stress (左室壁応力と心筋ストレインおよびストレインレートとの関係に関する研究) 主査：教授 松居 喜郎
	もり 森 おか 岡 けい 圭 た 太	母体因子が児の性分化に与える影響 主査：教授 篠原 信雄
	もん 門 ま 間 だい 大 すけ 輔	変形性関節症および骨折治癒過程における糖脂質の機能解析 主査：教授 山本 有平
	やす 安 い 居 こう 剛	ニューレグリン-1による顔面神経軸索再生促進効果および誘導能に関する研究 主査：教授 佐々木 秀直
	やま 山 だ 田 けん 健 じ 司	腫瘍血管内皮マーカーであるCXCR7の腫瘍血管内皮における機能解析に関する研究 主査：准教授 濱田 淳一
やま 山 だ 田 たい 大 しょう 翔	The roles of AHR and IFI16 in antiviral innate immune response (抗ウイルス自然免疫応答におけるAHRとIFI16の役割) 主査：教授 村上 正晃	
やま 山 もと 本 じゅん 準 や 也	分岐鎖アミノ酸および蛋白質負荷が常染色体優性多発性嚢胞腎の嚢胞形成に与える影響の解析 主査：教授 篠原 信雄	
よし 吉 たに 谷 たかし 敬	Virtual Touch Quantification 法を用いたエラストグラフィによる心不全患者に対する臓器うっ血の評価の有用性に関する研究 主査：教授 平野 聡	

博士 (医学)	わた なべ ゆう すけ 渡 邊 祐 介	体系的な内視鏡外科トレーニングの構築に向けた基盤研究 主査：教授 大滝 純司
	い こま ともしも 生 駒 朋 子	Fatigue resistance to experimental contraction in human craniofacial muscle groups (顎顔面筋の実験的収縮運動に対する抗疲労性) 主査：教授 山口 泰彦
	うき た ま ゆみ 浮 田 万由美	Sclerostin enhances adipocyte differentiation in 3T3-L1 cells (Sclerostin は 3T3-L1 細胞における脂肪細胞分化を促進する) 主査：教授 山口 泰彦
	えん どう かづ き 遠 藤 一 樹	自動pHサイクル装置を用いた歯冠修復材料の脱灰抑制の影響 主査：教授 八若 保孝
	き やま のぞむ 木 山 望	Evaluation of the biocompatibility of ceramic nanoparticles with A549 lung epithelial cells (肺上皮由来細胞 A549 に対するセラミックナノ粒子の生体適合性の評価) 主査：教授 飯田 順一郎
	しょう まん けん と 正 満 健 斗	Changes of microvascular reactions induced by intermittent mechanical pressure (間歇的圧迫刺激による微小血管の反応) 主査：教授 飯田 順一郎
	なか じま とし のり 中 島 利 徳	顎機能異常者の睡眠時と食事時における咬筋活動の比較検討 主査：教授 山口 泰彦
	にし かわ えい すけ 西 川 瑛 亮	糖尿病モデル動物における間歇的圧刺激による微小血管の形態変化 主査：教授 飯田 順一郎
	みや かみ ゆう き 宮 上 雄 希	圧縮力は培養後期における破骨細胞の分化・融合を抑制する 主査：教授 飯田 順一郎
	む とう ま み 武 藤 麻 未	RANKL regulates the differentiation of microfold cells in mouse nasopharynx-associated lymphoid tissue (NALT) (RANKLはマウス鼻咽頭関連リンパ組織のM細胞分化を調節する) 主査：教授 飯田 順一郎
博士 (歯学)	や ぎ はら さやか 八木原 澄	破骨細胞に関する形態学的研究：歯髄処置経験乳歯における核数の分布について 主査：教授 八若 保孝
	いの また よし ひさ 猪 股 慶 久	$\alpha$ -TCP 複合化 4-META/MMA-TBB レジン上への rhBMP-2 による骨増生 主査：特任教授 川浪 雅光
	お だ なか ひとみ 小田中 瞳	健全な若年成人における局所麻酔時の音楽鎮静法の効果－心拍変動解析を用いた自律神経機能評価－ 主査：特任教授 川浪 雅光
	かつ また あい ちろう 勝 俣 愛一郎	象牙質湿潤状態がユニバーサルボンドの接着性能に及ぼす影響 主査：教授 佐野 英彦
	か とう ひろ みち 加 藤 展 教	Lactoferrin directly suppresses osteoclastogenesis (ラクトフェリンは破骨細胞の分化誘導を直接抑制する) 主査：教授 山崎 裕
	さ とう たか ひと 佐 藤 賢 人	高周波電流刺激がラット頭蓋骨欠損部の骨修復に及ぼす影響 主査：特任教授 川浪 雅光
	にし だ えり か 西 田 絵利香	Identifying bioactive properties of graphene oxide scaffold for bone tissue engineering therapy (骨組織再生用酸化グラフェンスキャフォールドの生体活性評価) 主査：特任教授 川浪 雅光
	はん や じゅん いち 半 谷 純 一	Mg, Ca 及び Zn のヒトアルカリ性ホスファターゼ活性に対する作用 主査：教授 鈴木 邦明
	ほん こう ひろ み 本 郷 裕 美	Ultrastructural examination on bone matrix surrounding osteocytes in PTH-administered mice (副甲状腺ホルモン投与によって誘導される骨細胞周囲の骨基質の微細構造学的変化について) 主査：教授 網塚 憲生
	まき の さ おり 牧 野 紗 織	漂白後エナメル質に対するメタリン酸ナトウムの着色抑制効果と吸着性の評価 主査：教授 佐野 英彦

博士（歯学）	むら かしゅう すけ 村 上 秀 輔	Biocompatibility and bone conductive ability dose effects of beta-TCP nanoparticles applied on 3D scaffold. ( $\beta$ -三リン酸カルシウムナノ粒子含有量の違いがスキャフォールドの生物学的特性と骨伝導性に及ぼす効果) 主査：特任教授 川浪 雅光
	やま もと ともま や 山 本 知真也	Intermittent administration of teriparatide with high and low frequencies showed different histological profile of bone formation in mice (マウスにおけるテリパラチド (PTH) の投与頻度の違いによる骨形成の組織学的変化について) 主査：教授 網塚 憲生
	あ べ ゆう な 阿 部 結 奈	大臼歯部への第三大臼歯自家移植の臨床的検討 主査：教授 鄭 漢忠
	いわ もと り え 岩 本 理 恵	ラット脳のCa-及び Mg-ATPase 活性の局所麻酔薬による可逆的な抑制 主査：教授 藤澤 俊明
	ジョン ジュウ モン 鄭 朱 蒙 パトリック	アデノウイルスの増殖にはARE-mRNAの安定化システムが必要である 主査：特任教授 進藤 正信
	ちよう た いち 長 太 一	早期舌扁平上皮癌における頸部リンパ節後発転移・局所再発に関連する因子の臨床病理学的検討 主査：教授 鄭 漢忠
	とり い ちさほ 鳥 居 ちさほ	高転移性腫瘍細胞外小胞由来 miRNAは腫瘍血管内皮における薬剤耐性を誘導する 主査：教授 鄭 漢忠
	なか むら ゆう すけ 中 村 裕 介	Anti-RANKL Ab induces osteonecrosis of the jaw in mice via imbalance of immune responses (抗RANKL中和抗体が関与した顎骨壊死は免疫応答の不均衡によって引き起こされる) 主査：教授 北川 善政
	はた なか とも ゆき 畑 中 知 之	口腔扁平上皮がん細胞におけるELAVL2の発現 主査：教授 鄭 漢忠
	はり ま み き 播 磨 美 樹	Effects of hyperglycemia on neuronal activity in the nucleus tractus solitarius and the area postrema (孤束核および最後野のニューロン活動に対する血糖値上昇の影響) 主査：教授 北川 善政
	ひえ だ とし お 稗 田 敏 雄	腫瘍溶解ウイルスとシスプラチンとの併用効果の検討 主査：教授 鄭 漢忠
	ほん ま しゅう いち 本 間 将 一	<sup>19</sup> F-NMR 測定によるリポソームを生体膜モデルとした吸入麻酔薬の作用部位の研究 主査：教授 藤澤 俊明
み かわ よう へい 三 河 洋 平	Conditionally replicative adenovirus controlled by the stabilization system of AU-rich element containing mRNA (mRNA の安定化システムを利用した腫瘍溶解アデノウイルスの開発) 主査：教授 北川 善政	
博士（獣医学）	あ だち ま み 足 立 真 実	犬血管肉腫における治療標的分子の検索と末梢血管内皮前駆細胞数変動の観察 主査：教授 滝口 満喜
	おか がわ とも ひろ 岡 川 朋 弘	Studies on T-cell exhaustion mediated by immunoinhibitory receptors in chronic infections in cattle (牛の慢性感染症における免疫抑制受容体を介したT細胞の疲弊化に関する研究) 主査：教授 大橋 和彦
	しま だ けい すけ 嶋 田 圭 祐	A study of micronucleated hepatocytes detection in the liver micronucleus assay using young adult rats (成熟ラットを用いた肝臓小核試験における小核を有する肝細胞の検出に関する研究) 主査：教授 安居院 高志
	なお なが のり 直 亨 則	Studies on virulence determinants of highly pathogenic avian influenza viruses (高病原性鳥インフルエンザウイルスの病原性決定因子に関する研究) 主査：教授 高田 礼人

博士 (獣医学)	なが い かつ ひさ 永 井 克 尚	Effects of ovarian reserve estimated with antral follicle counts on maturational ability and fertilizability of <i>in vivo</i> - and <i>in vitro</i> -grown oocytes in cattle (胞状卵胞数を指標とした牛卵巣予備能が体内および体外発育卵子の核成熟能および受精能に与える影響) 主査：教授 片桐 成二
	まる やま じゅん き 丸 山 隼 輝	Characterization of envelope glycoproteins of unisolated bat-derived viruses (コウモリ由来ウイルスの表面糖タンパク質の性状解析) 主査：教授 高田 礼人
	モ ハ メ ド Mohamed アブダッラー Abdallah モ ハ メ ド Mohamed ムスターファ Moustafa	Molecular investigation of tick-borne diseases in Hokkaido wildlife (北海道の野生動物におけるダニ媒介性感染症の分子疫学研究) 主査：教授 坪田 敏男
	や の き おり 矢 野 沙 織	雌マウスの同系統雄に対する忌避行動における鋤鼻系とエストロゲンの寄与 主査：教授 葉原 芳昭
博士 (情報科学)	よこ やま そういちろう 横 山 想一郎	Studies on Heuristic Approach with Priority Rules for Extended Job-shop Scheduling Problem (拡張ジョブショップスケジューリング問題に対する割り付け規則を用いた近似解法) 主査：教授 山本 雅人
	ダン 段 ライ 磊	A Study on Crowdsourcing for Multi-Label Affect Annotation (複数ラベル感情アノテーションのためのクラウドソーシングに関する研究) 主査：准教授 小山 聡
	チン 陳 カク 鶴	Research on Statistical Mechanics of Labor Markets Based on Simulation Substantiated by Actual Data (実データに基づくシミュレータ構築による労働市場の統計力学に関する研究) 主査：教授 小野 哲雄
	きさ かわ ひろ ひと 笹 川 裕 人	Faster Pattern Matching Algorithms for Massive Regular Expression Matching and Its Applications (大規模正規表現照合のための高速なパターン照合アルゴリズムとその応用) 主査：教授 有村 博紀
	わ さ くに ひろ 和 佐 州 洋	Studies on Enumeration of Acyclic Substructures in Graphs and Hypergraphs (グラフや超グラフに含まれる非巡回部分構造の列挙に関する研究) 主査：教授 有村 博紀
	いし むら かず よし 石 村 憲 意	ゆらぎを利用する非線形アナログ電子回路とデジタル信号処理システムに関する研究 主査：准教授 浅井 哲也
	博士 (工学)	きさ た しん や 崎 田 晋 哉
博士 (情報科学)	モウ シンシア Mou Sinthia シャブナム Shabnam	Optical Study on Proximity Effect and Cooper Pair Recombination in Semiconductor Quantum Dots (半導体量子ドットにおける近接効果とクーパー対再結合に関する光学的研究) 主査：教授 村山 明宏
博士 (工学)	みず の あり 水 野 暁	Study of Noise Robust Bit-Depth Expansion for High Dynamic Range Imaging (高ダイナミックレンジ画像処理のためのノイズにロバストなビット長拡張に関する研究) 主査：准教授 池辺 将之
	すぎ はら しゅん いち 杉 原 俊 一	視空間認知障害のためのhead mounted display (HMD) を利用した定量的評価方法の開発 主査：特任教授 清水 孝一
博士 (情報科学)	フェデリコ Federico メンドーザ アンゲ Mendoza Ang	A Study of Noise-Robust Speech Recognition and Time-Varying Speech Features (時変音声特徴抽出とロバスト音声認識に関する研究) 主査：教授 宮永 喜一
	ジョルダン アーノルド Jordan Arnaud	A Study on Dialogue Agent Adapting to Various Situations (多様な状況に適応する対話エージェントに関する研究) 主査：教授 荒木 健治



博士 (情報科学)	はら かわ りょう すけ 原 川 良 介	Extracting Hierarchical Structure of Web Video Groups for Realizing Advanced Web Video Retrieval (高度なWeb映像検索を実現するWeb映像集合の階層構造抽出に関する研究) 主査:教授 長谷山 美紀
	バク 朴 クン 君	走査型電子顕微鏡による生物画像の分類体系に注目した自動分類に関する研究 主査:教授 長谷山 美紀
博士 (工学)	まき の しゅんたろう 牧 野 俊太郎	A Study on Nonlinear Optical Devices Based on One-Dimensional Photonic Crystal Cavity (1次元フォトニック結晶共振器に基づく非線形光学デバイスに関する研究) 主査:教授 齊藤 晋聖
博士 (情報科学)	マズル ミ ハフ Mazur Michal	A Study on English Language Tutoring System Using Code-Switching Based Second Language Vocabulary Acquisition Method (コードスイッチングに基づく第二言語習得手法を用いた英語チュータリングシステムに関する研究) 主査:教授 荒木 健治
博士 (工学)	み さわ あきら 三 澤 明	光スイッチングネットワーク構成技術の研究 主査:客員教授 可児 淳一
博士 (情報科学)	よし だ そう 吉 田 壮	複数特徴を利用した映像意味解析とランキングの導入による検索の高精度化に関する研究 主査:教授 長谷山 美紀
	こ ばやし のり ひろ 小 林 憲 弘	作業者の動作予測と予測の信頼度を考慮したパワーアシスト制御方法に関する研究 主査:准教授 田中 孝之
博士 (工学)	しも まち けんたろう 下 町 健太郎	マイクログリッドの運用・設計手法の開発と経済性の評価 主査:教授 北 裕幸
博士 (情報科学)	の なか りょう 野 中 涼	A Study on Controller Design with Hysteresis Mechanism and Sliding-Sector (制御器設計におけるヒステリシス機構とスライディングセクタに関する研究) 主査:教授 山下 裕
博士 (工学)	まつ ぎき たつ や 松 崎 達 也	磁気浮上技術を用いた大容量・高速回転機に関する研究 主査:准教授 竹本 真紹
博士 (水産科学)	あ べ よし ゆき 阿 部 義 之	親潮域の春季植物プランクトンブルーム期における動物プランクトン群集の生態に関する研究 主査:教授 今井 一郎
	いな ば のぶ はる 稲 葉 信 晴	Distribution and characteristics of algicidal and growth-inhibiting bacteria in coastal sea and seagrass beds (沿岸海域及びアマモ場における殺藻細菌と増殖阻害細菌の分布と特性) 主査:特任教授 五嶋 聖治
	かた やま たか し 片 山 貴 士	日本海西部海域におけるトラフグはえ縄の漁獲特性の解明と漁業管理への応用のための基礎的研究 主査:教授 木村 暢夫
	かな もり まこと 金 森 誠	北海道における外来種ヨーロッパザラボヤの生物学的特性とホタテガイ養殖への影響 主査:教授 矢部 衛
	ス 芥 ユ 宇	洞爺湖産ヒメマスの資源評価と資源管理 主査:教授 高津 哲也
	エマニユエル Emmanuel エンドラル スウェケ Andrew Sweke	Social-Ecological Studies to Sustain Local Fisheries at Akkeshi and Erimo, Eastern Hokkaido, Japan (北海道東部えりも町と厚岸町における持続可能な漁業のための社会生態学的研究) 主査:教授 綿貫 豊
	なか 村 みつ ひろ 中 村 充 博	漁船の転覆とブローチングに関する研究 主査:教授 木村 暢夫
	にし ざわ おん こ 西 澤 文 吾	コアホウドリの繁殖期における採食生態 主査:特任教授 桜井 泰憲
	いずみ 泉 ひかり	ニホンウナギの卵質に関わる母性mRNAに関する研究 主査:教授 都木 靖彰
	えび たに こう じ 蛸 谷 幸 司	北海道産低利用魚種のすり身化およびホッケの加熱ゲル形成能の再評価に関する研究 主査:教授 佐伯 宏樹

博士 (水産科学)	えん 遠 藤 たく 琢	太平洋クロマグロ <i>Thunnus orientalis</i> の人為繁殖に関する研究 主査：教授 荒井 克俊
	と 杜 ライ 磊	Studies on antitumor and anti-cachectic activities of eicosapentaenoic acid-enriched phospholipids derived from marine echinoderms (棘皮動物に豊富なEPA結合型リン脂質の抗腫瘍ならびに抗悪液質作用に関する研究) 主査：教授 宮下 和夫
	にし 西 ざわ 澤 みず 瑞 ほ 穂	アルギン酸オリゴ糖修飾を利用した抗炎症魚肉タンパク質の開発に関する食品生化学的研究 主査：教授 川合 祐史
	まえ 前 ばやし 林 まもる 衛	チョウザメの多型ピテロジェニンに関する分子生物学的および免疫生化学的研究 主査：教授 足立 伸次
博士 (環境科学)	エルデンバト Erdenebat エンフバト Enkhbat	Statistical and numerical study of hot extremes in Mongolia: possible contribution of soil moisture to the recent increase in heat waves (モンゴルにおける極端高温に関する統計解析と数値実験：近年の熱波増加に対する土壌水分の寄与の可能性) 主査：准教授 佐藤 友徳
	さ 佐 いき 伯 りょう 立	A mechanism of ice-band pattern formation caused by resonant interaction between sea ice and internal waves (海水と内部波の共鳴相互作用によるアイスバンド形成機構) 主査：教授 三寺 史夫
	チャン 張 ウェイ 偉	HF ocean radar applications to estimation of wind drift current and measurement of sea ice drift velocity in the southern Sea of Okhotsk (短波海洋レーダを応用したオホーツク海南部における吹送流の推定および海水漂流速度の計測) 主査：教授 江淵 直人
	さかき 榊 ぼら 原 だい 大 き 貴	Ice front variations and velocity changes of calving glaciers in the Southern Patagonia Icefield and northwestern Greenland (南パタゴニア氷原およびグリーンランド北西部におけるカービング氷河の末端変動と流動変化) 主査：准教授 杉山 慎
	わた 渡 なべ 邊 み 美 ほ 穂	Phylogenetic and functional analysis of novel bacteria isolated from aquatic environment (水圏環境から分離した新規細菌の系統分類と機能解析) 主査：教授 福井 学
	はや 速 みず 水 まさ 将 と 人	Ecological genetic studies on intraspecific variation and evolution of reproductive systems in <i>Viola brevistipulata</i> (オオバキスミレにおける繁殖様式の種内変異と集団分化に関する生態遺伝学的研究) 主査：教授 大原 雅
	ふじ 藤 ぬま 沼 じゅん 潤 いち 一	Architecture and dynamics of two bamboo species in comparison with co-occurring woody trees in a Malaysian hill rainforest (共存樹木と比較したマレーシア丘陵多雨林のタケ二種の形態と動態) 主査：教授 甲山 隆司
	さ 佐 はし 橋 げん 玄 き 記	Phenotypic diversity and ecology in salmonid fishes: focusing on the effects of migration costs and hatchery stocking (サケ科魚類の表現型レベルの多様性と生態：回遊コストとふ化放流事業の影響に着目して) 主査：教授 宮下 和士
	たか 高 しま 嶋 たか 孝 ひろ 寛	ホッケ道北群資源の評価手法構築に関する研究 主査：教授 宮下 和士
	やま 山 ざき 崎 あや 彩	Molecular ecology of cold adaptations in the family Cottidae focused on type I antifreeze proteins (不凍タンパク質に着目したカジカ科魚類の寒冷地適応に関する分子生態学的解明) 主査：准教授 宗原 弘幸
ひら 平 やま 山 じゅん 純	地下水中の硝酸イオンを高選択的に窒素へと光分解するタンデム型反応系の構築 主査：教授 神谷 裕一	

博士 (環境科学)	リナ マハルディアニ Lina Mahardiani	Cobalt oxide ( $\text{Co}_3\text{O}_4$ ) as an active and selective catalyst for catalytic ozonation of ammonia nitrogen in water (水中アンモニアに高い活性と選択性を示す酸化コバルト触媒) 主査:教授 神谷 裕一
	ユウ 熊 シュン 俊	Structural investigation of polyoxometallates self-assembled architectures induced by crown ether supramolecular cations (クラウンエーテル超分子カチオンに誘起されるポリオキソメタレートの自己集積化構造に関する研究) 主査:教授 中村 貴義
	よし たけ まさし 吉 竹 理	超分子カチオンの導入による[MnCr(oxalate) <sub>3</sub> ]錯体結晶の複合物性開拓 主査:教授 中村 貴義
博士 (理学)	みな かわ だい じゅ 船 川 大 樹	Analysis on the Degeneracy of the Ground State in Quantum Field Models (量子場のモデルにおける基底状態の縮退度に関する解析) 主査:教授 新井 朝雄
	やま した たつ や 山 下 達 也	Studies on vector fields and differential forms on $\mathbb{C}^\infty$ -schemes ( $\mathbb{C}^\infty$ スキーム上のベクトル場と微分形式に関する研究) 主査:教授 石川 剛郎
	わ だ かず ゆき 和 田 和 幸	Spectral Analysis of a Charged Scalar Field Model with Cutoffs (切断の入った複素スカラー場のモデルのスペクトル解析) 主査:教授 新井 朝雄
	かめ おか しょういちろう 亀 岡 章一郎	<i>Helicobacter pylori</i> の病原因子CagAによるIL-1 $\beta$ 産生機構に関する研究 主査:教授 高岡 晃教
	た ばた あ ひろ 田 端 千 紘	Study of exotic low-temperature ordering of 5f electrons in isostructural heavy-electron compounds URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> and UAu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> (重い電子系化合物 URu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> およびUAu <sub>2</sub> Si <sub>2</sub> における5f電子低温秩序状態の研究) 主査:教授 網塚 浩
	もん べつ しょう た 門 別 翔 太	Investigation of Localized and Delocalized Character of 4f Electrons in Cage-Structure Compounds (カゴ状化合物における4f電子の局在・非局在性の研究) 主査:准教授 柳澤 達也
	なか の ゆ き 中 埜 夕 希	Chemical Fractionation of Chondritic Materials in the Protoplanetary Disk (原始惑星系円盤におけるコンドライト物質の化学分別の研究) 主査:准教授 橋元 明彦
	ひ うち こういちろう 日 浦 皓一郎	Observational Study on the Central Subparsec-Scale Structure of Active Galactic Nucleus with Very Long Baseline Interferometer (超長基線干渉計による活動銀河核の中心サブパーセクスケールの構造に関する観測的研究) 主査:准教授 徂徠 和夫
	ふじ もと ゆう すけ 藤 本 裕 輔	Formation and evolution of giant molecular clouds in a barred spiral galaxy (棒渦巻銀河における巨大分子雲の形成と進化) 主査:教授 羽部 朝男
	おもて けい た 表 溪 太	Study on molecular evolution and population genetic features on Blakiston's fish owl (シマフクロウにおける分子進化および集団遺伝学的特徴に関する研究) 主査:教授 増田 隆一
ノニロン マンテ Aspe	Taxonomy and phylogeny of pheretimoid earthworms (Clitellata:Megascolecidae) from Mindanao and associated islands, Philippines (フィリピン・ミンダナオ島及び周辺島嶼産フトミミズ類(環帯類:フトミミズ科)の分類と系統) 主査:准教授 柁原 宏	
リュウ ショウ クン 劉 昭 君	Dynamical downscaling of future sea-level change in the western North Pacific using ROMS (ROMSを用いた力学的ダウンスケーリングによる北西太平洋の将来海面高度変化の予測) 主査:教授 見延 庄士郎	
博士 (農学)	あか ほり ひろ かず 赤 堀 弘 和	自由貿易協定が経済と環境に及ぼす影響評価 主査:教授 山本 康貴

博士（農学）	おおもり たかし 大 森 隆	北海道における採卵養鶏業の企業化と系統農協機能の変化に関する研究 主査：教授 坂下 明彦
	かわた だい すけ 河 田 大 輔	合併による新農協の経営合理化と組織力強化に関する研究－JAきたみらいを事例に－ 主査：教授 坂下 明彦
	ガンバット GANBAT ウスフバヤル Usukhbayar	モンゴルの飼料市場形成段階における飼料産業の展開論理－集約的畜産の成長と畜産インテグレーション－ 主査：教授 坂爪 浩史
	すずき かず のぶ 鈴 木 和 信	Satoyama System Establishment as Sustainable Land Management in Sabah, Malaysia (マレーシアサバ州における持続的な土地管理としての里山システムの構築) 主査：准教授 渡部 敏裕
	チュウ ナン 褚 清 南	Study on dynamics of ionome and nitrogen in plant and soil (植物と土壌におけるイオノームおよび窒素の動態に関する研究) 主査：准教授 渡部 敏裕
	ふじ た ひさ お 藤 田 久 雄	農協系統組織再編と経済連の位置 主査：教授 坂下 明彦
	むら た たけし 村 田 武	現代ドイツの家族農業経営－「資本型家族経営」の新たな経営多角化－ 主査：教授 坂爪 浩史
	リュウ ユエ リン 刘 跃 林	Molecular biological studies on <i>Arabidopsis</i> DEAD-box RNA helicase 7 (シロイヌナズナDEAD-box RNA helicase 7の機能に関する分子生物学的研究) 主査：客員教授 今井 亮三
	あら き ひで はる 荒 木 英 晴	北海道における秋播きコムギの分けつ性に関する研究 主査：特任教授 岩間 和人
	ザオ チェン 赵 晨	Molecular-Genetic Study on Soybean Maturity Gene <i>E9</i> and its Role on Flowering (ダイズの感光性遺伝子 <i>E9</i> とその開花に及ぼす役割に関する分子遺伝学的研究) 主査：教授 阿部 純
	はやし たく 林 拓	トウモロコシ交雑品種における雄穂発達期の低温感受性に関する研究 主査：特任教授 岩間 和人
	はやし むさく 林 優 作	Studies on ecology and population genetics of <i>Microdochium nivale</i> and <i>M.majus</i> , causal agents of Fusarium head blight on wheat (コムギ赤かび病菌 <i>Microdochium nivale</i> と <i>M. majus</i> の生態学および集団遺伝学的研究) 主査：教授 近藤 則夫
	たけ し た か 竹 下 和 貴	Elucidation of evolutionary process and genetic basis of the stinkbug- <i>Burkholderia</i> gut symbiosis (カメムシ類- <i>Burkholderia</i> 腸内共生系の進化過程および遺伝的基盤に関する研究) 主査：客員准教授 菊池 義智
	あい かわ たか のぶ 相 川 高 信	森林・林業分野における人材育成政策の意義と政策実施手段としての課題 主査：教授 柿澤 宏昭
	ご とう けん 後 藤 健	山地河川における掃流砂観測に関する研究 主査：特任教授 丸谷 知己
	シユウ ケイ ケン 周 慧 娟	Physico-chemical Properties of Bioplastics and its Application for Fresh-cut Fruits Packaging (バイオプラスチックの理化学特性とカットフルーツ包装への応用) 主査：教授 川村 周三
やぶ はら むう き 藪 原 佑 樹	扇状地における森林の分断化と河川氾濫原の景観変化が鳥類多様性に与える影響 主査：教授 中村 太士	
やま なか さとし 山 中 聡	人為活動の進展と衰退が地表性甲虫の多様性にもたらす影響－農地景観での効率的な生物保全－ 主査：教授 中村 太士	
博士（生命科学）	イブラヒム フナラフ Ibrahim Farag モハメッド Mohammed レハン Rehan	Glycomics Approach of Livestock Management Toward the Discovery of Novel Biomarkers Indicating an Environmental Stress (糖鎖解析による家畜管理法の試み－環境ストレスを反映するバイオマーカーの探索) 主査：教授 西村 紳一郎

博士 (生命科学)	おお あさ しょう 大 浅 翔	Study on homodimer of glucocorticoid receptor and transcriptional regulation in single-cell level using fluorescence correlation spectroscopy and microwells. (蛍光相関分光法とマイクロウェルを用いたシングルセルにおけるグルココルチコイド受容体の二量体と転写制御に関する研究) 主査：教授 金城 政孝
	シッダバサーブゴウダ SIDDABASAVEGOWDA ボメゴウダ B	Development of novel methods for rapid and efficient extraction of naturally occurring bioactive sphingoid bases (生理活性を有する天然由来スフィンゴイド塩基類の迅速かつ効率的な新規抽出法の開発) 主査：教授 門出 健次
	た まき はじめ 田 巻 初	Study on Protein Structure Determination using Paramagnetic Magic-Angle Spinning Solid-state NMR (常磁性マジック角試料回転固体NMR法によるタンパク質立体構造決定に関する研究) 主査：教授 出村 誠
	チャンチャル CHANCHAL クマールロイ KUMAR ROY	Adhesion of Polyampholyte Hydrogels (ポリアンフォライトハイドロゲルの接着) 主査：教授 龔 劍萍
	つみ もと すけ 堤 元 佐	Studies of transcription factor FMBP-1 derived from silkworm <i>Bombyx mori</i> by using fluorescence correlation spectroscopy (蛍光相関分光法を用いたカイコ <i>Bombyx mori</i> 由来転写因子FMBP-1の研究) 主査：准教授 相沢 智康
	なが はた ゆたか 永 幡 裕	Development on Methods to Decipher Timescale Hierarchy in Reaction Networks (化学反応ネットワークに埋め込まれた時間階層構造の解読方法の開発) 主査：教授 小松崎 民樹
	はや かわ しゅん 早 川 瞬	Significance of the Posttranslational O-glycosylations in the Protein Conformation and Function (タンパク質立体構造および機能に関するO-結合型糖鎖修飾の意義) 主査：教授 西村 紳一郎
	ムハンマドタリフ Md. Tariful イスラム ミリダ Islam Mredha	Designing biopolymer-based hydrogels with biomimetic superstructures (バイオミメティック超構造を有する生体高分子ゲルの創製) 主査：教授 龔 劍萍
	ジャブ ティン 賈 婷	Dynamics of chlorophyll <i>b</i> in the photosystems of <i>Arabidopsis thaliana</i> (シロイヌナズナにおけるクロロフィル <i>b</i> の動態) 主査：教授 田中 歩
	たか はし か おり 高 橋 香 織	葉緑体のイソプレノイド代謝に関わるLight-harvesting-like protein (LIL3) の機能解析 主査：准教授 田中 亮一
まつ なが わたる 松 永 航	A regulatory mechanism of a heat-activated retrotransposon in <i>Arabidopsis</i> (シロイヌナズナ熱活性化型レトロトランスポソンの制御機構) 主査：教授 加藤 敦之	
み うら もも こ 三 浦 桃 子	Development and function of biological motion preference:behavioral study in domestic chicks (生物的运动嗜好性の発達と機能：ニワトリ雛を用いた行動学的研究) 主査：教授 松島 俊也	
博士 (薬科学)	かき た こう すけ 柿 田 浩 輔	含リン脱離基法を機軸とする単純ヘルペスウイルス感染阻害活性を示す糖ペプチドおよび類縁体の合成研究 主査：教授 松永 茂樹
	き むら あや の 木 村 彩 乃	BACE 1 によるAPP切断部位選択機構の解析 主査：教授 鈴木 利治
	すが わら ま すみ 菅 原 真 純	二酸化炭素を一炭素源として用いた $\alpha$ -アミノ酸の新規合成法の開発 主査：教授 佐藤 美洋
	ち ほ きょう こ 千 葉 杏 子	KLC 1 リン酸化によるJIP 1-KLC結合およびAPP軸索輸送制御の解析 主査：教授 鈴木 利治
	ち ほ たく や 千 葉 拓 也	シリングリンAを基盤とした新規プロテアソーム阻害剤の開発研究 主査：教授 市川 聡

博士 (薬科学)	と富 がし ら りょう へい 亮 平	自然免疫応答制御を考慮した遺伝子送達システムの開発と癌治療への応用 主査：准教授 秋田 英万
博士 (生命科学)	の野 むら 村 ゆう 勇 さく 作	スペクトマイシン類の全立体異性体全合成と構造活性相関 主査：教授 市川 聡
	は羽 とう 藤 よし 啓 お夫	アザローダサイクル中間体を經由する環化反応の開発 主査：教授 佐藤 美洋
博士 (臨床薬学)	さ さ き しょう たろう 将 太郎	モノカルボン酸輸送担体の分子機能に関する研究 主査：教授 井関 健
	なが ぬま たつ らう 永 沼 達 郎	皮膚神経疾患シェーグレン・ラルソン症候群原因遺伝子 <i>Aldh 3 a 2</i> のノックアウトマウスを用いた皮膚病態解析 主査：教授 菅原 満
博士 (教育学)	か とう ひろ あき 加 藤 裕 明	演劇教育による協働的創造性育成過程の質的研究－演劇部活動における高校生の変化－ 主査：特任教授 竹本 幸博
	たけ や りゅう し 竹 谷 隆 司	初期の空間的注意選択における知覚的体制化の役割 主査：准教授 河西 哲子
博士 (国際広報メディア)	す だ ひな こ 須 田 比 奈 子	広報活動の客観的評価方法に関する研究－企業メッセージの定量分析による広報の表現力の測定－ 主査：教授 伊藤 直哉
	たか や くに ひこ 高 谷 邦 彦	ゼロ年代の情報行動の変容－エスノグラフィによるブログ行動のモチベーション分析－ 主査：教授 伊藤 直哉
博士 (学術)	リン へん り 林 恒 立	現代日本語における「『見越しの評価』を表す副詞」の研究 主査：教授 上田 雅信
博士 (観光学)	は た た ん だ も と こ 八 反 田 元 子	農村と都市の創造的関係の構築に対する観光の機能に関する研究～ワインツーリズムを事例として～ 主査：教授 西川 克之
博士 (保健科学)	う き た あつ き 浮 田 徳 樹	バックサポート形状が車いす座位姿勢に及ぼす効果に関する研究：脳卒中者における検討 主査：教授 浅賀 忠義
	お ぐり さとし 小 栗 聡	環境での病原細菌の生存戦略：織毛虫を介した大腸菌間の遺伝子伝播とクオラムセンシングの誘導 主査：教授 齋藤 健
	こう だ ひろ し 合 田 央 志	頭部前方位姿勢に対する骨盤サポート付き車いすの影響：持続的座りと嚙下機能への効果 主査：教授 山中 正紀
	つ し しん たろう 辻 真 太郎	放射線治療におけるヒューマンエラー防止のための情報システムの構築 主査：准教授 坂田 元道
	なが ほり あ か か 香 子	Prevalence of Malnutrition and Associated Factors among Young Children in the Eastern Region of the Republic of Cameroon (カメルーン東部州に居住する年少の子どもの栄養不良と関連要因) 主査：教授 齋藤 健
	もり た ま ま 盛 田 真 貴	自閉スペクトラム症に対する Frontal/Executive Program の有効性の検討 主査：教授 八田 達夫
	や ま ご とも ひろ 山 崎 智 拓	病原性クラミジアの感染宿主細胞での生存戦略に関する研究 主査：教授 石津 明洋
博士 (工学)	す き まさ と ず 鈴 木 雅 人	A comprehensive study on cylindrical symmetry in optical physics: Full-quantitative characterization of cylindrically polarized optical pulses (光物理学における円筒対称性に関する研究：偏光渦パルスの完全定量評価) 主査：教授 森田 隆二
	わた なべ あき とも 渡 邊 章 友	自己組織化臨界ダイナミクスによるフラクタル・ネットワークの構造形成 主査：教授 矢久保 考介
	なか が ゆう き 中 川 祐 貴	Hydrogen desorption properties of $\text{NH}_3\text{BH}_3\text{-MH}_n$ mixtures: How to control by-product gases ( $\text{NH}_3\text{BH}_3\text{-MH}_n$ 複合物質の水素放出特性：副生成ガス放出の抑制方法) 主査：特任教授 大貫 惣明
	は お たけ し 萩 尾 健 史	磁気現象を利用した高機能材料の創製 主査：教授 岩井 一彦

博士 (工学)	いけ だ じゅん 池 田 隼	自動車運動－空力連成解析手法の開発と非定常空力予測 主査：教授 大島 伸行
	かわ はら じゅん や 川 原 潤 也	Theoretical Study on the Speed of Sound in a Bubbly Liquid (気泡流の音速に関する理論的研究) 主査：教授 渡部 正夫
	いし づか しん いち 石 塚 真 一	同時摂動確率近似による制御系設計手法に関する研究 主査：教授 梶原 逸朗
	ガイ イ ジョウ 蓋 軼 之	Soft Computing Approaches for Effective Utilization of Elastic Energy in Flexible Manipulator (柔軟マニピュレータの弾性エネルギー活用のためのソフトコンピューティング手法) 主査：教授 小林 幸徳
	あお やま ゆう すけ 青 山 祐 介	固体高分子形燃料電池内のマイクロ水輸送現象と高性能MPL構造に関する研究 主査：教授 近久 武美
	バク ヒョン ジン 朴 炫 珍	Repetitive bubble injection for control of turbulent boundary layers (乱流境界層の制御のための反復気泡注入法) 主査：教授 村井 祐一
	しま おか たけ ひろ 嶋 岡 毅 紘	Lift-off法により作製した単結晶CVDダイヤモンド放射線検出器の電荷キャリア輸送特性向上と核融合プラズマ診断への応用 主査：准教授 金子 純一
	むら た なお よし 村 田 尚 義	XAFS Studies on the Local Structure of Battery-Driven Gas Sensor (電池駆動ガスセンサーのXAFSによる局所構造解析) 主査：教授 朝倉 清高
	ユウ イウイ シェン 于 睿 讓	複合量子ビーム同時照射による表面ナノ構造構築とその光学特性に関する研究 主査：教授 柴山 環樹
	ク ラ ム KHURAM ラ シ ャ ッ ド RASHID	Behavior of interface between concrete-PCM at elevated temperature at material and member level (高温下の材料および部材レベルでのコンクリートとPCMとの付着界面挙動) 主査：教授 上田 多門
	アミール ショジョイ Amir Shojai	Introducing Side Setbacks in Residential Planning Policy in Iran based on Socio-psychological Evaluation of Side Setbacks in Japan (日本での社会心理的評価を踏まえたイランの住居地域計画政策への外壁後退による隣地間空地の導入に関する研究) 主査：教授 森 傑
	くり た とし ひろ 栗 田 宗 大	浸漬型MBRへの担体投入による膜ファウリングの抑制と曝気量の削減に関する研究 主査：准教授 木村 克輝
リュウ チュ ウィン Lieu Tu Uyen	Numerical simulation of restructuring behavior of non-fractal aggregate in simple shear flow (一様せん断流中における非フラクタル凝集体の再配列的挙動に関する数値シミュレーション) 主査：准教授 原田 周作	
博士 (総合化学)	ソン ケン 孫 健	Enzymatic Degradation Mechanism of Lactate-based Polyester Biosynthesized from Biomass Resources (バイオマスから生合成した乳酸ベースポリエステル酵素分解メカニズム) 主査：教授 大利 徹
博士 (理学)	いし わた たく み 石 渡 拓 己	Crystal Cross-Linking as a New Methodology for Designing Polymer Networks (結晶架橋法：結晶を用いた高分子ゲルの新しい合成手法) 主査：教授 加藤 昌子
	オウ ヤン 王 玥	Regulation of Polymer Conformation Using Light (光を用いた高分子の立体配座制御) 主査：教授 鈴木 孝紀
	カン ヤン ヤン 康 媛 媛	Synthesis and Photophysical Properties of Tricarbonyl Rhenium (I) Complexes Having Arylborane Charge Transfer Units (アリアルホウ素置換基を有するトリカルボニルレニウム (I) 錯体の合成と光化学物性に関する研究) 主査：教授 加藤 昌子

博士 (理学)	セピ クルニアワン Cepi Kurniawan	Spectroelectrochemical Study of Electron Transfer Steps at ITO Electrode Modified by Molecular Layer with Viologen Moieties with and without Pt Complexes (ITO 電極上に構築したピオロゲン分子層における白金錯体での電子移動過程の分光電気化学測定による研究 - 白金錯体存在の効果 -) 主査: 教授 村越 敬
	さ とう し の 佐 藤 志 野	Study on the Relation between Interfacial Electronic Connection and Functionality of Chemically Modified Electrodes (分子修飾電極における金属-分子界面接合と機能性の解明) 主査: 教授 石森 浩一郎
	せき ね ゆ かり 関 根 由可里	Regulation of Iron Metabolism in Pathogenic Vibrio cholerae by Heme Utilization Proteins (ヘム獲得系蛋白質によるコレラ菌鉄代謝の制御) 主査: 教授 坂口 和靖
	たけ うち こう へい 竹 内 公 平	Total Synthesis of Palau' amine (パラウアミンの全合成) 主査: 教授 及川 英秋
	た だ たか のり 多 田 貴 則	Phase Separation Dynamics of Aqueous Thermo-responsive Polymer Solutions Studied by a Laser-induced Temperature Jump Method Combined with Transient Photometry (レーザー温度ジャンプ型過渡透過光計測法による温度応答性高分子水溶液の相分離ダイナミクスの研究) 主査: 教授 佐田 和己
	たま おき ひと み 玉 置 瞳 美	Studies on Dynamic Redox Behavior of Hexaphenylethane-type and Diarylethenyl-type Electron Donors Containing the Perfluorobiphenyl Skeleton (パーフルオロビフェニル骨格を有するヘキサフェニルエタン型及びジアリールエテニル型電子供与体の動的酸化還元挙動に関する研究) 主査: 教授 澤村 正也
	なが お かず のり 長 尾 一 哲	Development of New Catalytic Reactions with Organoboron Compounds (有機ホウ素化合物を用いた新規触媒反応の開発) 主査: 教授 及川 英秋
	なが た しゅんじ りゅう 永 田 俊次郎	Fabrication of Functional Metal-Organic Frameworks by Polymer-Modification (ポリマー修飾による機能性Metal-Organic Frameworks の創製) 主査: 教授 武田 定
	はら だ とも や 原 田 友 哉	Development of Phosphine-Branched Polystyrenes and Their Applications to Transition-Metal Catalysis (ポリスチレン多点架橋型ホスフィン配位子の開発と遷移金属触媒反応への応用) 主査: 教授 谷野 圭持
	ヤン 楊 シュオ 碩	Electronic Structure of CO/Pt Electrochemical Interfaces Investigated by Potential Dependent Double Resonance Sum Frequency Generation Spectroscopy (電位依存二重共鳴和周波発生分光法によるCO/Pt 電極界面の電子構造解析) 主査: 教授 村越 敬
	ヨウ 楊 イ 維 肇	Synthesis of $\pi$ -Stacked, Helical Poly (1,10-phenanthroline-5,6-diyl) s ( $\pi$ スタック型らせん構造を有するポリ (1,10-フェナントロリン-5,6-ジイル) 類の合成) 主査: 教授 鈴木 孝紀
	リ 李 カイ 凱	Studies on Innate Immune Activation by HBV Infection and Its Sensing Mechanism in Hepatocytes (HBV 感染による肝細胞における自然免疫応答とその認識機構に関する研究) 主査: 教授 藤田 恭之
	わき ぎか まさ のり 脇 坂 聖 憲	Construction of Molecule-based Multi-electron/proton Transfer Systems based on Non-precious Metal Complexes with Electron/proton Pooling Ligands (電子・プロトンプーリング配位子を有する非貴金属錯体を基軸とした分子性多電子・プロトン移動系の構築) 主査: 教授 村越 敬
わ だ じゅん や 和 田 隼 弥	Study on Stability and Regulation of Tetramer Formation in Tumor Suppressor Protein p53 (癌抑制タンパク質p53 の四量体構造の安定性と制御に関する研究) 主査: 教授 村上 洋太	



博士 (工学)	アリムハンマド Ali Md. アユブ Ayub	Direct Synthesis of Amides and Imides by using Heterogeneous Lewis acid Catalysts (不均一系Lewis 酸触媒によるアミド・イミドの直接合成) 主査：教授 増田 隆夫
	イ 李 ジュン 俊 ソフ 燮	Study on Degradation of Passive Film Formed on Stainless Steels by Anion-generating System (アニオン発生システムによるステンレス鋼不動態皮膜の劣化に関する研究) 主査：教授 安住 和久
	く 久保田 た 浩 こう 司	Synthesis of Functionalized Organoboron Compounds through Copper (I) Catalysis (銅 (I) 触媒を用いた官能基化有機ホウ素化合物の合成) 主査：教授 大熊 毅
	こん 紺 の 野 よし 祥 き 岐	鉄上への自己規則化多孔質アノード酸化皮膜の生成挙動と耐食性コーティングへの応用に関する研究 主査：教授 島田 敏宏
	さ 佐 とう 藤 ゆう 祐 すけ 輔	Development of New Electrodeposition Methods for Corrosion Resistant Less-noble Metal Alloy Coatings (卑金属合金耐食性コーティングの新規電析法の開発に関する研究) 主査：教授 幅崎 浩樹
	ジャン 張 ヤ 雅 チ 琪	Membranes Made with Zeolite and ZIF-8, and Their Applications to Water Separation from Organic/Water Mixtures (ゼオライト膜及びZIF-8膜の合成と有機物水混合溶液分離への応用) 主査：教授 向井 紳
	しら 白 い 井 とも 智 ひこ 彦	Development of Asymmetric Hydroarylation of Unsaturated Bond via Direct C-H Functionalization by Cationic Iridium/Bisphosphoramidite Catalyst (カチオン性イリジウム触媒を用いた不飽和結合の直接不斉ヒドロアリアル化反応の開発に関する研究) 主査：教授 伊藤 肇
	たか 高 の 野 ひろ 裕 ゆき 之	二酸化炭素のメタン転換用Ni/ZrO <sub>2</sub> 触媒の開発研究 主査：教授 安住 和久
たに 谷 ぐち 口 た 太 いち 一	結晶サイズと酸特性を制御したゼオライトの触媒設計とその反応特性に関する研究 主査：教授 向井 紳	

論文博士

博士の専攻分野の名称	博士の学位を授与された者	博士論文名
	氏 名	
博士 (学術)	す 栖 はら 原 まなぶ 学	ソ連工業の研究 - 長期生産指数推計の試み - 主査：教授 田畑 伸一郎
博士 (経済学)	ひさ 久 なが 永 まこと 忠	Essays on Empirical Analysis of the Comparative Advantage Dynamics (比較優位の動学的変化に関する実証研究) 主査：教授 久保田 肇
博士 (医学)	おお 大 こし 越 ゆ 優 み 美	Studies on melatonin alterations and brain acetylcholine lesions in sleep disorders in Cockayne syndrome (コケイン症候群の睡眠障害におけるメラトニン代謝と脳内アセチルコリン病変に関する研究) 主査：教授 有賀 正
	しら 白 い 井 しん 慎 いち 一	A study of gait disturbance in spinocerebellar degeneration using 3-dimensional accelerometers (脊髄小脳変性症の歩行障害における3次元加速度計による歩行解析研究) 主査：教授 田中 真樹
	む 武 とう 藤 まさ 真 と 人	ゾレドロン酸により活性化させた $\gamma \delta$ T細胞の抗原提示能に関する検討 (Studies on antigen-presenting capacity of human $\gamma \delta$ T cells activated by zoledronate) 主査：准教授 北村 秀光

博士 (獣医学)	あおしま けいすけ 青島圭祐	Studies on epigenetic reprogramming of germ cells in mice (マウス生殖細胞におけるエピジェネティックリプログラミングに関する研究) 主査:教授 木村 享史
	かわはら しみや 川原史也	Parasitological analyses of Eimeria infections in domestic animals and the development of molecular methods for species discrimination (家畜におけるアイメリア感染の寄生虫学的研究と種鑑別のための分子生物学手法の開発) 主査:教授 杉本 千尋
	ふくい だいち 福井大祐	Control of emerging infectious diseases between free-ranging wildlife and captive animals in a zoo by diagnostic methods, epidemiological surveillances and biosecurity measures (動物園における野生動物と飼育動物の新興感染症の診断, 疫学調査およびバイオセキュリティ対策による制御) 主査:教授 坪田 敏男
博士 (水産科学)	シェラマエ Shelah Mae フエンウルシユア Buen URSUA	Studies on Seed Production and Genetic Markers for Stock Enhancement of Seahorses (タツノオトシゴ類資源増殖にむけた種苗生産と遺伝マーカーに関する研究) 主査:教授 都木 靖彰
博士 (環境科学)	ふくなが なおと 福永直人	PEG修飾半導体性クラスターの水中における光学特性と応答挙動 主査:教授 小西 克明
	フローリアン クラクスナー Florian Kraxner	Sustainable forest management and bioenergy expansion-A multi-scale approach from global to local- (持続可能な森林管理とバイオマスエネルギーの拡大-全球から地域までの多規模アプローチ) 主査:准教授 藤井 賢彦
博士 (農学)	うえだ やすこ 上田靖子	放牧飼養による生産乳の揮発性成分の特徴と乳中揮発性成分をマーカーとしたトレーサビリティの確立に関する研究 主査:特任教授 近藤 誠司
	おおさか いくお 大坂郁夫	早期離乳を基本とした乳用子牛の液状飼料期, 移行期および反芻期における総合的な飼養方法の再構築 主査:特任教授 近藤 誠司
	たなか ひでひこ 田中英彦	北海道の水稻直播栽培における落水出芽法の開発 主査:特任教授 岩間 和人
	やまぐち なおや 山口直矢	ダイズ ( <i>Glycine max</i> ) における種子低温裂開抵抗性及び早熟性に関する育種学的研究 主査:教授 増田 税
	いずみ ひろひさ 和泉裕久	乳中の既知および新規成分の解析とプロバイオティクスを使った人工乳の改良に関する研究 主査:教授 原 博
博士 (薬科学)	やまだ ちひろ 山田ちひろ	若齢および加齢マウスを用いた心理的ストレス負荷における摂食行動に関する研究 主査:教授 南 雅文
博士 (工学)	セイラム コッシ Seyram Kossi ソッソウ SOSSOU	The fate of intestinal parasites and pathogenic bacteria in the composting toilet (寄生虫卵と病原性バクテリアのコンポスト型トイレにおける挙動に関する研究) 主査:教授 船水 尚行

## ■同窓会との交流

### 函館同窓会「総会及び懇親会」



懇談する山口総長（右から2人目）と参加者

3月24日（木）に函館市のホテル函館ロイヤルにおいて、北海道大学函館

同窓会総会・懇親会が開催され、本学から山口佳三総長、新田孝彦理事・副

学長、徳久治彦理事・事務局長が出席しました。

当日の参加者は38名でした。懇親会では山根 繁会長の挨拶に始まり、山口総長、新田理事・副学長が「北大の現状」を交えた挨拶を行いました。宮下和夫水産科学研究院副研究院長の発声による乾杯の後、参加者の懇親を深め、最後に参加者全員が輪になって肩を組み寮歌「都ぞ弥生」を歌い、盛会の裡に終了しました。

（水産科学院・水産科学研究院・水産学部）

## 文学部同窓会、文学研究科が楡文賞受賞記念講演会を開催

文学部同窓会では楡文賞を設け、社会的に高く評価される業績や活動を通じて、文学研究科・文学部の名誉を高めた者（応募時40歳以下）を顕彰しています。平成27年度は、松下隆志さん（日本学術振興会特別研究員PD）と、マイエル・イングリッドさん（博士後期課程言語文学専攻修了）の2名が受賞し、3月25日（金）に、人文・社会科学総合教育研究棟6番教室において「楡文賞受賞記念講演会」（主催：翻訳ワークショップ・シンポジウム企画委員会、後援：文学研究科・文学部同窓会）が開催されました。

開会の挨拶では、副学長の望月恒子教授から楡文賞の選考経過と受賞理由が述べられました。松下さんは、ソローキンを中心とする現代ロシア文学

の翻訳と研究、マイエルさんは、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座と現代演劇の海外公演、現代日本文学のハンガリー語への翻訳出版を通しての国際交流が評価されました。

松下さんの講演「ウラジーミル・ソローキンの小説世界」では、ロシア文学を学ぶために大阪から本学に入学し図書館でドストエフスキーを読みふけたこと、ロシア文学を本格的に学ぶなかで現代ロシアを代表するポストモダン作家・ソローキン（1955-）の小説との出会いがあったこと、難解なロシア語表現を日本語に翻訳しながら、ソ連崩壊後の現代ロシア文学を展望するに至ったことなどが述べられました。現在、ソローキンの最新長編『テルリア』の翻訳を「早稲田文学」

に連載中であり、4月からは京都大学文学研究科において現代ロシア文学研究を推進しています。

マイエルさんの講演「現代演劇と人形浄瑠璃における国際交流」では、ハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学で日本語と日本の文学・文化を学び、本学に留学し日本古典文学の研究を進めるかたわら、様々な文化活動、現代日本文学の翻訳に関わるようになったいきさが述べられました。講演冒頭では、人形浄瑠璃芝居あしり座によって「東海道中膝栗毛 卵塔場の段」が演じられ、人形とは思えない表情の変化とコミカルかつダイナミックな所作に参会者は感嘆していました。

（文学研究科・文学部）



ことばが崩壊する様を文字で表現



東海道中膝栗毛 卵塔場の段



松下さん（左）とマイエルさん（右）

## ■レクリエーション

### 平成27年度 北大山岳会山行記録

北大山岳会は、昭和26年に北大職員レクリエーション団体活動の一環として、山岳またはスキー愛好の有志を以って組織された歴史と伝統ある親睦団体です。春から秋を中心に年5～6回、日帰りで道内の山を登っています。今年度は遠藤山（6月20日）、大雪山・黒岳（7月11日）、ニセイカウシュツベ山（8月8日）、上ホロカメツク山（9月5日）、シャクナゲ岳（10月3日）の5回の山行を実施しました。その中から天候に恵まれた大雪山・黒岳とニセイカウシュツベ山の山行を報告します。

大雪山・黒岳 7月11日（土）

黒岳ロープウェイで高度を上げていくと、凌雲岳、上川岳など大雪の山並みが見えてきます。リフトを下りると、国道を挟んで向かい側の北大雪の山々（ニセイカウシュツベ山など）もはっきりと見えてきます。絶好の天気に意気揚々と登り始めました。登りが1時間ちょっとで楽勝かと思っていましたが、天気が良すぎて意外と苦戦し、暑さに耐えて登り続けました。やっとたどり着いた頂上には、雪溪の残った大パノラマが広がっていました。

ニセイカウシュツベ山 8月8日（土）

札幌を午前5時30分に出発しました。途中、雨に降られましたが登山口に着く頃には陽が差し始め、良い登山になりそうだと胸が弾みました。登山道は所々ぬかるんではいましたが、日に焼けることもなく快適に歩くことができました。稜線へ出ると雲も晴れ、乾いた心地良い風が吹きぬけていきました。見晴らし台に立つと、雲海に浮かぶ黒岳をはじめとする山々がすばらしい展望を見せてくれました。頂上へ至る沢沿いの登山道には、クルマユリをはじめとする数々の高山植物が咲き乱れ、花の蜜を求めて高山蝶が舞っていました。出発から約3時間、正午には全員が頂上に到着しました。雨のために中止になることが2回あり、3年越しの念願が叶えられた一日となりました。

（北大山岳会）



快晴の黒岳山頂



ニセイカウシュツベ山頂

## ■ 諸会議の開催状況

---

### 役員会（平成28年3月7日）

議案・事務局の機能強化について

協議事項・北極域教育研究推進体制の整備について

- ・全学運用教員の措置について
- ・国立大学法人北海道大学業務方法書の変更について
- ・「国立大学法人北海道大学における評価に関する基本的な考え方」の改訂について
- ・フロンティア奨学金制度の改定と新渡戸スクール奨学金の創設について
- ・第3期中期目標・中期計画について
- ・平成28年度年度計画について
- ・平成29年度設置の新学院及びこれに伴う研究科の学院化等について
- ・教育研究組織等の部門等の改組について
- ・第3期中期目標期間における財政計画について
- ・平成28年度予算について
- ・諸規則の一部改正について

報告事項・副学長の任命並びに理事及び副学長の職務分担について

- ・平成27年度施設整備事業（追加予算分）について
  - ・平成28年度～平成30年度の「入試広報戦略」および「具体的な活動計画」について
  - ・第3期中期目標期間における部局等の中期計画について
  - ・「第2期中期目標期間における運営組織の点検評価報告書」に基づく改善状況等について
  - ・会計検査院会計実地検査の実施について
  - ・役員の退職手当の支給について
- 

### 教育研究評議会（平成28年3月15日）

議題・経営協議会の学外委員について

- ・名誉教授の選考について
- ・「国立大学法人北海道大学における評価に関する基本的な考え方」の改訂について
- ・フロンティア奨学金制度の改定と新渡戸スクール奨学金の創設について
- ・第3期中期目標・中期計画について
- ・平成28年度年度計画について
- ・平成29年度設置の新学院及びこれに伴う研究科の学院化等について
- ・教育研究組織等の部門等の改組について
- ・サバティカル研修制度の見直しについて
- ・第3期中期目標期間における財政計画について
- ・平成28年度予算について
- ・諸規則の一部改正について

報告事項・副学長の任命並びに理事及び副学長の職務分担について

- ・全学運用教員の措置について
  - ・平成28年度～平成30年度の「入試広報戦略」および「具体的な活動計画」について
  - ・産学協働試作ソリューション事業について
  - ・産業創出講座等の設置等について
  - ・寄附講座等の延長について
  - ・事務局の機能強化について
- 

### 役員会（平成28年3月15日）

議案・平成29年度設置の新学院及びこれに伴う研究科の学院化等について

---

### 経営協議会（平成28年3月18日）

議題・国立大学法人北海道大学業務方法書の変更について

- ・フロンティア奨学金制度の改定と新渡戸スクール奨学金の創設について
- ・第3期中期目標・中期計画について
- ・平成28年度年度計画について
- ・第3期中期目標期間における財政計画について
- ・平成28年度予算について
- ・役員の退職手当の支給について

報告事項・平成29年度設置の新学院及びこれに伴う研究科の学院化等について

- ・創成研究機構グローバルファシリティセンター構想について
  - ・監事及び委員の交代について
-

**役員会**（平成28年3月23日）

- 議案・国立大学法人北海道大学業務方法書の変更について
- ・「国立大学法人北海道大学における評価に関する基本的な考え方」の改訂について
  - ・フロンティア奨学金制度の改定と新渡戸スクール奨学金の創設について
  - ・第3期中期目標・中期計画について
  - ・平成28年度年度計画について
  - ・教育研究組織等の部門等の改組について
  - ・サバティカル研修制度の見直しについて
  - ・北極域教育研究推進体制の整備について
  - ・第3期中期目標期間における財政計画について
  - ・平成28年度予算について
  - ・就業規則関連規程の一部改正について
  - ・諸規則の一部改正について
  - ・国立大学法人北海道大学における障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領について
  - ・学長裁量経費の基本方針について
- 

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しております。

## ■ 学内規程

---

### 国立大学法人北海道大学における個人情報の開示等に関する規程の一部を改正する規程

(平成28年3月11日海大達第23号)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、住民基本台帳カードが廃止され、新たに個人番号カードが配付されること、並びに本学が新たに保有することとなる特定個人情報に関する開示請求等については、同法及び同法施行令の規定により読み替えて適用される独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び同法施行令に基づき行う必要があることから、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学インターナショナルハウス使用料等規程の一部を改正する規程

(平成28年3月25日海大達第24号)

本年3月25日付けで、インターナショナルハウスの使用料等の額を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学組織規則等の一部を改正する規則

(平成28年3月30日海大達第25号)

本年4月1日付けで、本学の組織の改組及び廃止を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 北海道大学大学院先端生命科学研究院附属次世代ポストゲノム研究センター規程の一部を改正する規程

(平成28年3月30日海大達第26号)

本年4月1日付けで、大学院先端生命科学研究院附属次世代ポストゲノム研究センターを改組することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学大学連携研究設備ネットワーク設備利用規程の一部を改正する規程

(平成28年3月30日海大達第27号)

大学連携研究設備ネットワークによる設備相互利用と共同研究の促進事業の実施期間が1年間延長され、平成29年3月31日までとされることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第28号)

本年4月1日付けで、①医学研究科の寄附講座を廃止すること、②獣医学研究科の寄附講座を廃止すること、③情報科学研究科の連携講座を廃止すること、④教育学研究院の部門に置く分野を改めること、⑤メディア・コミュニケーション研究院に新たな部門及び分野を置くこと、並びに⑥工学部の学科に置くコースを改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学総長選考会議規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第29号)

国立大学法人法の趣旨を踏まえた総長選考方法等の見直しを行うこと及び本学の組織の改組を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学人事委員会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第30号)

北海道大学招へい教員規程第3条に規定する招へい教員の選考手続きを踏まえ、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学技術支援本部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第31号)

本年4月1日付けで、技術支援本部に副本部長を置くことに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

### 国立大学法人北海道大学技術支援本部運営委員会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第32号)

本年4月1日付けで、運営委員会の組織を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学情報環境推進本部規程等の一部を改正する等の規程

(平成28年4月1日海大達第33号)

本年4月1日付けで、本学の運営組織である情報環境推進本部を改組すること及び本学の学内共同施設であるサステイナビリティ学教育研究センターを廃止することに伴い、所要の改正及び定めを行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学国際本部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第34号)

本年4月1日付けで、国際本部に副本部長代理及び国際企画課を置くことに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学大学力強化推進本部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第35号)

本年4月1日付けで国際本部の組織を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学病原体等安全管理委員会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第36号)

病原体等安全管理委員会において、病原体等の安全管理に係る部局委員会及び関連する本学各種委員会との連携を強化するため、委員会の組織を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学情報公開・個人情報保護審査委員会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第37号)

本年4月1日付けで行政不服審査法の全部を改正する法律が施行されることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第38号)

本年4月1日付けで、本学の学内共同施設であるサステイナビリティ学教育研究センターを廃止すること、総務企画部に情報企画課を置くこと、国際本部に国際企画課を置くこと並びに学務部の学務企画課、教育推進課及び学生支援課の事務分掌を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学通則の一部を改正する規則

(平成28年4月1日海大達第39号)

平成28年度から、①学士課程において柔軟な学事暦を導入すること及び②Hokkaidoサマー・インスティテュートを実施することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学大学院通則の一部を改正する規則

(平成28年4月1日海大達第40号)

平成28年度から、①各規定に見出しを設定すること、②柔軟な学事暦を導入すること、③大学院理工系専門基礎科目を廃止すること、及び④Hokkaidoサマー・インスティテュートを実施することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学学位規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第41号)

①学位の授与に係る審査のため選定する審査委員について、当該研究科等の研究指導を担当していることとすること、②連携講座又は連携分野以外に所属する客員教員及び特任教員を充てることを明確化すること、及び③審査委員に選定された者のほか、教授会等が審査等のため必要があると認めるときは、第7条第1項に規定する教授又は第2項第1号に規定する准教授と同等の能力を有すると認める者を審査委員に加えることができるようにすることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学現代日本学プログラム課程規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第42号)

本課程において、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---



---

**北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第43号)

本年4月1日付けで、新渡戸カレッジの修了要件及び修了者に授与する称号の付与要件を改めること、修了者に授与する称号を別に定めることとすること並びに学務部の事務分掌を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**北海道大学全学教育科目規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第44号)

全学教育科目について、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**北海道大学国際交流科目規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第45号)

国際交流科目において、海外留学を促進するための授業科目を整備することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**北海道大学大学院特別教育プログラム新渡戸スクール規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第46号)

本学大学院特別教育プログラム新渡戸スクールにおいて、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**北海道大学大学院共通授業科目規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第47号)

本学大学院共通授業科目において、研究科・学院・教育部の専門科目と共同の授業科目を開講できることとすることに伴い、成績評価に合格及び不合格の判定を加えること、並びに大学院共通授業科目においてより適切な教育効果を得るために、授業科目の整備及び充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**北海道大学における特別聴講学生及び特別研究学生に係る授業料等の不徴収に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第48号)

北海道大学通則の一部を改正することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学試作品作製受託規程**

(平成28年4月1日海大達第49号)

本学において、学外からの委託を受けて行う部品、装置等の試作品の作製に関し、所要の定めを行ったものです。

---

**北海道大学病的材料検査に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第50号)

本学において行う病的材料に係る検査料について、準拠していた診療報酬の算定方法が平成28年3月31日限りで廃止され、同年4月1日から適用された診療報酬の算定方法に準拠することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則**

(平成28年4月1日海大達第51号)

**国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第57号)

子ども・子育て支援新制度により、札幌市から支給される保育所委託費に処遇改善等加算が算定され、当該加算額のうち賃金改善要件分に係る加算率に基づき支給される額は、使途が職員の賃金改善に限られていることから、その趣旨に資する手当として保育士等加算手当を新設することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学嘱託職員就業規則の一部を改正する規則**

(平成28年4月1日海大達第52号)

職員と異なる所定労働時間で雇用される嘱託職員にフレックスタイム制を適用することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

---

**国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第53号)

メディア・コミュニケーション研究院の現代日本学部門に採用する講師並びに観光学高等研究センターのセンター長付として採用する准教授、講師及び助教について、大学の教員等の任期に関する法律第4条第1項第1号の規定に基づき任期を定めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学における公益通報の処理及び公益通報者の保護等に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第54号)

本年4月1日付けで、本学の運営組織である情報環境推進本部を改組することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学役員退職手当規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第55号)

国立大学法人法第35条の規定により準用される独立行政法人通則法第50条の2第3項の規定を踏まえ、役員退職手当について、国家公務員等の支給水準を十分考慮して国民の理解が得られる適正なものとするため、「独立行政法人、特殊法人及び認可法人の役員退職金について（平成15年12月19日閣議決定）」の一部が改正されたことを踏まえ、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第56号)

年俸制の適用を受ける教員に支給する業績給に含まれる額等を明確にすることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学職員退職手当規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第58号)

独立行政法人大学評価・学位授与機構法の一部が改正されたこと及び年俸制教員に係る退職手当の取扱いを改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学教員のサバティカル研修に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第59号)

本学における教員のサバティカル研修制度を見直すことに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学における人を対象とする医学系研究に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第60号)

人を対象とする医学系研究の実施に係る倫理審査の体制を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学リスク管理規程**

(平成28年4月1日海大達第61号)

本年4月1日付けで本学のリスク管理体制を整備することに伴い、所要の定めを行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学危機管理規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第62号)

本年4月1日付けで国立大学法人北海道大学リスク管理規程を制定し、本学のリスク管理に関する体制を整備することに伴い、国立大学法人北海道大学危機管理規程を災害等に係る危機対策に関する規程として位置付けを明確化するため、所要の改正を行ったものです。

---

**国立大学法人北海道大学法人文書管理規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第63号)

---

**国立大学法人北海道大学情報公開規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第64号)

---

**国立大学法人北海道大学における個人情報の開示等に関する規程の一部を改正する規程**

(平成28年4月1日海大達第65号)

本年4月1日付けで、本学の運営組織である情報環境推進本部を改組すること及び行政不服審査法の全部を改正する法律が施行されたことに伴い、所要の改正を行ったものです。

#### 国立大学法人北海道大学における財務及び会計に関する職務権限規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第66号)

研究に従事する職員（教員を除く。）に対し、本学が指定する取引先に対する契約等の権限を与えることに伴い、所要の改正を行ったものです。

#### 国立大学法人北海道大学情報教育館管理規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第67号)

本年4月1日付けで、学務部の事務分掌を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

#### 国立大学法人北海道大学産業イノベーション事業による設備利用規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第68号)

文部科学省が所管する研究開発施設共用等促進費補助金の交付を受けて実施されている産業イノベーション事業について、事業の名称及び実施形態が変更されたこと並びに利用料の変更を行うことに伴い、所要の改正を行ったものです。

#### 北海道大学文学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第69号)

#### 北海道大学教育学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第70号)

#### 北海道大学法学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第71号)

#### 北海道大学経済学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第72号)

#### 北海道大学理学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第73号)

#### 北海道大学医学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第74号)

#### 北海道大学歯学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第75号)

#### 北海道大学薬学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第77号)

#### 北海道大学農学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第79号)

#### 北海道大学獣医学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第80号)

#### 北海道大学水産学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第82号)

各学部において、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

#### 北海道大学病院規程等の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第76号)

本年4月1日付けで、①診療支援部の名称を改めること、②医療安全管理部、感染制御部、栄養管理部、企画マネジメント部、診療録管理室、地域医療連携福祉センター及び地域医療支援センターの長及び副長並びに女性医師等就労支援室の長の要件を改めること、③臨床研究開発センターの長の要件を改めること及び同センターに副センター長を置くこと、④卒後

臨床研修センターの名称を改めること、並びに⑤地域医療指導医支援センターを廃止することに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学工学部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第78号)

本年4月1日付けで、本学部環境社会工学科のコース名を変更すること、及び本学部において、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学獣医学部・帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程協議会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第81号)

本年4月1日付けで、協議会の構成員を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学水産学部附属練習船おしよろ丸共同利用協議会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第83号)

水産学部附属練習船おしよろ丸共同利用協議会において、委員の人数を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

---

北海道大学大学院文学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第84号)

北海道大学大学院法学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第85号)

北海道大学大学院経済学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第86号)

北海道大学大学院医学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第87号)

北海道大学大学院歯学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第88号)

北海道大学大学院獣医学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第89号)

北海道大学大学院情報科学研究科規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第90号)

北海道大学大学院水産科学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第91号)

北海道大学大学院環境科学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第92号)

北海道大学大学院理学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第93号)

北海道大学大学院農学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第95号)

北海道大学大学院生命科学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第96号)

北海道大学大学院教育学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第97号)

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第99号)

## 北海道大学大学院保健科学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第101号)

## 北海道大学大学院工学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第102号)

## 北海道大学大学院総合化学院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第103号)

## 北海道大学大学院公共政策学教育部規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第104号)

本年3月31日付けで北海道大学大学院理工系専門基礎科目規程が廃止されたこと、及び研究科等において、より適切な教育効果を得るために教育課程の整備充実を図ることに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北海道大学大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第94号)

本センター長の任命要件を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北海道大学大学院教育学研究院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第98号)

本年4月1日付けで、教育学研究院の教育学部門に置く分野を改組することに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第100号)

本年4月1日付けで、本学大学院メディア・コミュニケーション研究院に新たな部門及び分野を置くことに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北海道大学低温科学研究所規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第105号)

本年4月1日付けで、低温科学研究所の水・物質循環研究部門及び雪氷新領域部門に置く研究分野を廃止することに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北海道大学環境健康科学研究教育センター運営委員会規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第106号)

本年4月1日付けで、環境健康科学研究教育センターの運営委員会委員の要件を見直すことに伴い、所要の改正を行ったものです。

## 北極域研究共同推進拠点拠点本部規程

(平成28年4月1日海大達第107号)

本年4月1日付けで本学北極域研究センターが、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター及び国立研究開発法人海洋研究開発機構北極環境変動総合研究センターを連携施設として、学校教育法施行規則第143条の3第2項の規定による共同利用・共同研究拠点の認定を受けることに伴い、当該拠点の運営に関する事項を審議し、及び決定するため、拠点本部を置くことに伴い、所要の定めを行ったものです。

## 北極域研究共同推進拠点運営委員会規程

(平成28年4月1日海大達第108号)

本年4月1日付けで本学北極域研究センターが、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター及び国立研究開発法人海洋研究開発機構北極環境変動総合研究センターを連携施設として、学校教育法施行規則第143条の3第2項の規定による共同利用・共同研究拠点の認定を受けることに伴い、当該拠点の運営に関する重要事項を審議するため、北極域研究共同推進拠点運営委員会を置くことに伴い、所要の定めを行ったものです。

北極域研究共同推進拠点共同研究推進委員会規程

(平成28年4月1日海大達第109号)

本年4月1日付けで本学北極域研究センターが、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所国際北極環境研究センター及び国立研究開発法人海洋研究開発機構北極環境変動総合研究センターを連携施設として、学校教育法施行規則第143条の3第2項の規定による共同利用・共同研究拠点の認定を受けることに伴い、当該拠点の共同利用・共同研究に係る課題等を募集し、及び審査するため、北極域研究共同推進拠点共同研究推進委員会を置くことに伴い、所要の定めを行ったものです。

北海道大学大学文書館利用規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第110号)

本年4月1日に大学文書館が移転すること並びに資料の閲覧日及び閲覧時間を改めることに伴い、所要の改正を行ったものです。

北海道大学国際連携研究教育局規程の一部を改正する規程

(平成28年4月1日海大達第111号)

本年4月1日付けで、国際連携研究教育局に新たなグローバルステーションを設置することに伴い、所要の改正を行ったものです。

■表敬訪問

海外

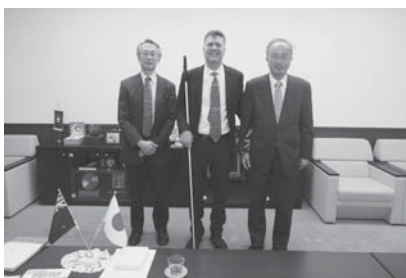
年月日	来訪者	来訪目的
28.3.28	韓国科学技術院 (KAIST) Sung-Mo "Steve" Kang総長	両大学の交流に関する懇談
28.3.28	Jordan Kalman氏 (札幌農学校初代教頭W. S.クラーク博士御子孫)	クラーク博士に関する情報収集
28.3.29	オークランド大学 (ニュージーランド) Robert David Greenberg文学部長・教授	両大学の交流に関する懇談
28.4.4	マレーシアDato' Seri Haji Idris bin Jusoh高等教育大臣	両国の交流に関する懇談



韓国科学技術院 (KAIST)  
Sung-Mo "Steve" Kang総長 (中央左)



札幌農学校初代教頭W. S.クラーク博士御子孫  
Jordan Kalman氏 (右から2人目)



オークランド大学 (ニュージーランド)  
Robert David Greenberg文学部長・教授 (中央)



マレーシアDato' Seri Haji Idris bin Jusoh  
高等教育大臣 (前列左から2人目)

(国際本部国際連携課)

# ■人事

平成28年3月16日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【助教】 大学院医学研究科助教	GOUDARZI HOUMAN	採用

平成28年3月31日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【教授】 (定年)	佐 藤 鍊太郎 高 橋 英 光 山 田 貞 三 有 賀 正 丸 藤 哲 玉 木 長 良 西 村 正 治 飯 田 順一郎 鈴 木 邦 明 葉 原 芳 昭 今 井 一 郎 門 谷 茂 矢 部 衛 田 中 俊 逸 泉 屋 周 一 羽 部 朝 男 上 田 雅 信 園 田 勝 英 八 田 達 夫 奈良林 直 古 坂 道 弘 家 田 修 杉 本 千 尋 佐 野 栄 一 齊 藤 誠 一	大学院文学研究科教授 大学院文学研究科教授 大学院文学研究科教授 大学院医学研究科教授 大学院医学研究科教授 大学院医学研究科教授 大学院医学研究科教授 大学院歯学研究科教授 大学院歯学研究科教授 大学院獣医学研究科教授 大学院水産科学研究院教授 大学院水産科学研究院教授 大学院水産科学研究院教授 大学院地球環境科学研究院教授 大学院理学研究院教授 大学院理学研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院教授 大学院保健科学研究院教授 大学院工学研究院教授 大学院工学研究院教授 スラブ・ユーラシア研究センター教授 人獣共通感染症リサーチセンター教授 量子集積エレクトロニクス研究センター教授 北極域研究センター教授
(辞職)	WELCH DAVID ANDREW	大学院法学研究科教授
【准教授】 (定年)	川 村 信 人 坂 田 元 道 藤 吉 亮 子 松 浦 亨 木 野 幸 一 辻 宣 行 濱 田 淳 一 村 井 哲 也 今 重 之 加 藤 元 嗣 深 瀬 均 佐 藤 耕 太 小 山 靖 人 大 泉 聡 史 加 藤 大 智	大学院理学研究院准教授 大学院保健科学研究院准教授 大学院工学研究院准教授 北海道大学病院准教授 大学院工学研究院准教授 サステイナビリティ学教育研究センター准教授 遺伝子病制御研究所准教授 大学院情報科学研究科准教授 大学院薬学研究院准教授 北海道大学病院准教授 大学院医学研究科准教授 大学院獣医学研究科准教授 触媒科学研究所准教授 大学院医学研究科准教授 大学院獣医学研究科准教授
(任期満了)		
(辞職)		

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【講師】 (定年) (辞職)	大 森 桂 一 石 神 圭 子 白 鳥 潤一郎 TOBIAS ALEXANDER STRECKER 高 影 娥 小 林 一 郎 荒 木 奈 緒 小 野 貢 伸 田 卷 知 宏 細 田 充 主 森 田 研	北海道大学病院講師 大学院法学研究科講師 大学院法学研究科講師 大学院法学研究科講師 大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター講師 大学院医学研究科講師 大学院保健科学研究所講師 北海道大学病院講師 北海道大学病院講師 北海道大学病院講師 北海道大学病院講師
【助教】 (定年)  (任期满了)  (辞職)	KURKIN SERGEY 田 中 英 一 真 木 誠 森 下 満 小 幡 宣 和 千 田 航 橋 場 典 子 久 永 忠 村 上 明 子 李 鳳 橋 本 勝 文 栗 田 紹 子 川 崎 公 平 瀬 川 行 太 猪 又 崇 志 佐 藤 大 介 廣 谷 真 松 島 将 士 真 鍋 治 秦 浩 信 佐 藤 晴 彦 吉 川 毅 早 野 健 太 北 浦 廣 剛 高 野 順 平 神 谷 昌 克 俵 紀 行 太 田 朋 子 木 田 敦 知 小 山 貴 弘 中 垣 祐 仲 唐 安 哉 畑 中 佳奈子 宮 本 大 輔 吉 満 隼 人	大学院医学研究科助教 大学院情報科学研究科助教 大学院保健科学研究所助教 大学院工学研究科助教 大学院法学研究科助教 大学院法学研究科助教 大学院法学研究科助教 大学院経済学研究科助教 大学院経済学研究科助教 大学院メディア・コミュニケーション研究所助教 大学院工学研究科助教 北海道大学病院助教 大学院文学研究科助教 大学院法学研究科助教 大学院医学研究科助教 大学院医学研究科助教 大学院医学研究科助教 大学院医学研究科助教 大学院医学研究科助教 大学院歯学研究科助教 大学院情報科学研究科助教 大学院情報科学研究科助教 大学院理学研究科助教 大学院薬学研究所助教 大学院農学研究所助教 大学院先端生命科学研究所助教 大学院保健科学研究所助教 大学院工学研究科助教 北海道大学病院助教 北海道大学病院助教 北海道大学病院助教 北海道大学病院助教 北海道大学病院助教 触媒科学研究所助教
【助手】 (定年)	西 田 千鶴子	大学院理学研究科助手





新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
(辞職)	稲 葉 洋 揮	北海道大学病院看護部看護師
	遠 藤 知 佐	北海道大学病院看護部看護師
	川真田 美 穂	北海道大学病院看護部看護師
	小 崎 巧 実	北海道大学病院看護部看護師
	小 林 亜 理	北海道大学病院看護部看護師
	斉 藤 桃 子	北海道大学病院看護部看護師
	高 松 啓 太	北海道大学病院看護部看護師
	立 木 夏 希	北海道大学病院看護部看護師
	田 中 知 美	北海道大学病院看護部看護師
	永 井 里 枝	北海道大学病院看護部看護師
	稗 田 陽 子	北海道大学病院看護部看護師
	布 施 拓 也	北海道大学病院看護部看護師
	堀 岡 愛 子	北海道大学病院看護部看護師
	松 葉 有 貴	北海道大学病院看護部看護師
	馬 渕 翔	北海道大学病院看護部看護師
	門 脇 唯	北海道大学病院看護部助産師
	川 口 朋 香	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
	熊 谷 菜 海	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
	増 田 裕 弥	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
	高 田 健 治	大学院工学研究院技術専門職員
	柴 山 良 彦	北海道大学病院薬剤部薬剤師
	難 波 正 志	北海道大学病院薬剤部薬剤師
	古 川 友 恵	北海道大学病院薬剤部薬剤師
	中 西 千代美	北海道大学病院看護部副看護部長
	生 田 千 晶	北海道大学病院看護部副看護部長
	青 山 美 穂	北海道大学病院看護部看護師
	飯 野 かなえ	北海道大学病院看護部看護師
	石 田 加奈子	北海道大学病院看護部看護師
	一 色 相 佳	北海道大学病院看護部看護師
	伊 藤 亜希子	北海道大学病院看護部看護師
	大 森 美 穂	北海道大学病院看護部看護師
	小 野 有 花	北海道大学病院看護部看護師
	貝 沼 里 美	北海道大学病院看護部看護師
	笠 井 亜 唯	北海道大学病院看護部看護師
	片 岡 真 衣	北海道大学病院看護部看護師
	工 藤 翼	北海道大学病院看護部看護師
	小 松 未 季	北海道大学病院看護部看護師
	坂 爪 里 紗	北海道大学病院看護部看護師
	新 庄 あゆみ	北海道大学病院看護部看護師
	杉 山 清 香	北海道大学病院看護部看護師
	高 橋 絢 子	北海道大学病院看護部看護師
	竹 田 晴 香	北海道大学病院看護部看護師
	津 川 恵 実	北海道大学病院看護部看護師
	飛 内 優 希	北海道大学病院看護部看護師
	永 井 り ほ	北海道大学病院看護部看護師
	西 村 千 尋	北海道大学病院看護部看護師
	濱 多 なつみ	北海道大学病院看護部看護師
	半 澤 江 衣	北海道大学病院看護部看護師
	東 辻 朝 彦	北海道大学病院看護部看護師
	東 辻 おり絵	北海道大学病院看護部看護師
	藤 田 和華子	北海道大学病院看護部看護師
	萬 田 智 美	北海道大学病院看護部看護師
	三 上 有 紀	北海道大学病院看護部看護師

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
	村 松 絵 里 矢 野 恵 梨 子 吉 原 智 絵 高 田 希 亀 岡 章 一 郎 田 森 郁 子	北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部看護師 北海道大学病院看護部助産師 遺伝子病制御研究所 北方生物圏フィールド科学センター
【特任教授 (再雇用)】 (任期満了)	中戸川 孝 治 岡 田 信 弘 瀬 谷 司 川 浪 雅 光 清 水 孝 一 福 井 孝 志 山 本 眞 史 久 万 健 志 五 嶋 聖 治 桜 井 泰 憲 芳 村 康 男 木 村 正 人 小野寺 彰 小 池 和 幸 清 水 隆 杉 山 滋 郎 高 橋 孝 行 茂 木 透 有 賀 寛 芳 浅 野 行 藏 岩 間 和 人 近 藤 誠 司 中 村 富美男 矢 島 崇 佐々木 直 樹 姉 崎 洋 一 西 尾 達 雄 矢 野 徳 郎 石 橋 道 大 竹 本 幸 博 大 貫 惣 明 覺 知 豊 次 下川部 雅 英 田 中 洋 行 原 正 治 緑 川 光 正 河 村 公 隆 藤 吉 康 志 古 川 義 純 大 澤 雅 俊 望 月 哲 男 栃 内 新 木 村 純	大学院文学研究科特任教授 大学院法学研究科特任教授 大学院医学研究科特任教授 大学院歯学研究科特任教授 大学院情報科学研究科特任教授 大学院情報科学研究科特任教授 大学院水産科学研究院特任教授 大学院水産科学研究院特任教授 大学院水産科学研究院特任教授 大学院水産科学研究院特任教授 大学院地球環境科学研究院特任教授 大学院理学研究院特任教授 大学院理学研究院特任教授 大学院理学研究院特任教授 大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター特任教授 大学院薬学研究院特任教授 大学院農学研究院特任教授 大学院農学研究院特任教授 大学院農学研究院特任教授 大学院農学研究院特任教授 大学院先端生命科学研究院特任教授 大学院教育学研究院特任教授 大学院教育学研究院特任教授 大学院教育学研究院特任教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院特任教授 大学院メディア・コミュニケーション研究院特任教授 大学院工学研究院特任教授 大学院工学研究院特任教授 大学院工学研究院特任教授 大学院工学研究院特任教授 低温科学研究所特任教授 低温科学研究所特任教授 低温科学研究所特任教授 触媒科学研究所特任教授 スラブ・ユーラシア研究センター特任教授 北方生物圏フィールド科学センター特任教授 高等教育推進機構特任教授
【特任准教授 (再雇用)】 (任期満了)	本 多 丘 人	大学院歯学研究科特任准教授

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
	前 田 仁一郎 堀 口 敬	大学院理学研究院特任准教授 大学院工学研究院特任准教授
【特任講師 (再雇用)】 (任期満了)	河 野 仁 志	大学院保健科学研究院特任講師
【特任助教 (再雇用)】 (任期満了)	西 方 眞 森 濟 水 田 洋 谷 津 茂 男	大学院歯学研究科特任助教 大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター特任助教 大学院工学研究院特任助教 大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター特任助教
【特任助手 (再雇用)】 (任期満了)	杉 山 園 子	大学院法学研究科特任助手
【嘱託職員】 (任期満了)	梅 原 正 義 菅 野 信 雄 岩 渕 良二郎 熊 谷 政 博 後 藤 裕 則 立 石 周 二 津 川 りゅう子 深 堀 文 男 松 本 治 阿 部 新 一 今 田 純 一 出 蔵 雅 憲 松 井 哲 司 片 岡 平 和 阿 部 公 子 酒 卷 孝 子 山 田 勉 松 井 良 春 小 川 正 人 木 村 勉 中 村 裕 遠 藤 義 雄 高 田 直 記 早 坂 孝 一 新 堀 邦 夫 須 藤 正 季 大 沼 英 雄 河 合 孝 雄 中 城 敏 明 茂 木 紀 昭 山ノ内 誠 瀬 良 柳 次	監査室 総務企画部人事課厚生労務室 財務部経理課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 財務部調達課 学務部学生支援課 研究推進部研究振興企画課 研究推進部研究支援課 研究推進部研究支援課 研究推進部産学連携課 施設部環境配慮促進課 附属図書館利用支援課 附属図書館利用支援課 函館キャンパス事務部 大学院理学研究院 大学院工学研究院 工学系事務部教務課 北海道大学病院栄養管理部 北海道大学病院管理課 北海道大学病院医事課 低温科学研究所 低温科学研究所 電子科学研究所 北方生物圏フィールド科学センター 北方生物圏フィールド科学センター 北方生物圏フィールド科学センター 北方生物圏フィールド科学センター 安全衛生本部
【役員】 監事 監事  【副学長】 (期間：平成29年3月31日まで)	竹 谷 千 里 堀 俊 介  吉 見 宏	北海道監査委員 監査法人ハイビスカス代表社員  大学院経済学研究科教授

## 平成28年4月1日付発令

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【副理事】 (期間：平成31年3月31日まで)	寶 金 清 博	北海道大学病院教授
【総長補佐】 (期間：平成29年3月31日まで) (期間：平成29年3月31日まで)	LA FAY MICHELLE KAY 湯 浅 万紀子	大学院文学研究科准教授 総合博物館教授
【経営協議会委員】 (期間：平成30年3月31日まで) (期間：平成30年3月31日まで) (期間：平成30年3月31日まで) (期間：平成30年3月31日まで) (期間：平成30年3月31日まで) (期間：平成30年3月31日まで)	樋 口 達 夫 横 山 清 長 澤 秀 行 石 山 喬 松 谷 有希雄 林 菜 つみ	大塚ホールディングス株式会社代表取締役兼CEO 株式会社アークス代表取締役社長, 株式会社ラルズ代表取締役会長兼CEO 元国立大学法人帯広畜産大学長, 国立大学法人帯広畜産大学顧問 北海道大学連合同窓会会長, 日本軽金属ホールディングス株式会社代表取締役会長 国際医療福祉大学副学長, 国立保健医療科学院名誉院長 弁護士 (林菜つみ法律事務所)
【部局長・施設長等】 大学院文学研究科長 文学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院経済学研究科長 経済学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院歯学研究科長 歯学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院情報科学研究科長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院水産科学研究院長 大学院水産科学院長 水産学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院生命科学院長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院教育学研究院長 大学院教育学院長 教育学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院保健科学研究院長 大学院保健科学院長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院工学研究院長 大学院工学院長 工学部長 (期間：平成30年3月31日まで) 大学院総合化学院長 (期間：平成30年3月31日まで) 北海道大学病院長 (期間：平成31年3月31日まで) 低温科学研究所長 (期間：平成30年3月31日まで) 遺伝子病制御研究所長 (期間：平成30年3月31日まで) 触媒科学研究所長 (期間：平成30年3月31日まで)	山 本 文 彦 町 野 和 夫 横 山 敦 郎 宮 永 喜 一 安 井 肇 山 口 淳 二 小 内 透 齋 藤 健 名 和 豊 春 大 熊 毅 寶 金 清 博 江 淵 直 人 村 上 正 晃 朝 倉 清 高	大学院文学研究科教授 大学院経済学研究科教授 大学院歯学研究科教授 大学院情報科学研究科教授 大学院水産科学研究院教授 大学院理学研究院教授 大学院教育学研究院教授 大学院保健科学研究院教授 大学院工学研究院教授 大学院工学研究院教授 北海道大学病院教授 低温科学研究所教授 遺伝子病制御研究所教授 触媒科学研究所教授

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
人獣共通感染症リサーチセンター長 (期間：平成30年3月31日まで)	鈴木 定彦	国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター教授
量子集積エレクトロニクス研究センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	橋 詰 保	量子集積エレクトロニクス研究センター教授
北方生物圏フィールド科学センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	本 村 泰 三	北方生物圏フィールド科学センター教授
環境健康科学研究教育センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	小笠原 克彦	大学院保健科学研究院教授
北極域研究センター長 (期間：平成29年3月31日まで)	齊 藤 誠 一	国際連携研究教育局・北極域研究センター特任教授
脳科学研究教育センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	渡 辺 雅 彦	大学院医学研究科教授
大学院獣医学研究科附属動物病院長 (期間：平成30年3月31日まで)	滝 口 満 喜	大学院獣医学研究科教授
水産学部附属練習船おしよろ丸船長 (期間：平成30年3月31日まで)	高 木 省 吾	水産学部附属練習船おしよろ丸准教授
大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	谷 岡 勇市郎	大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター教授
大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	木 村 真 明	大学院理学研究院准教授
薬学部附属薬用植物園長 (期間：平成30年3月31日まで)	前 仲 勝 実	大学院薬学研究院教授
大学院先端生命科学研究院附属次世代物質生命科学センター長 (期間：平成29年3月31日まで)	門 出 健 次	大学院先端生命科学研究院教授
大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	幅 崎 浩 樹	大学院工学研究院教授
低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	三 寺 史 夫	低温科学研究所附属環オホーツク観測研究センター教授
遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	近 藤 亨	遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所附属触媒連携研究センター長 (期間：平成30年3月31日まで)	長谷川 淳也	触媒科学研究所教授
<b>【副研究科長・副研究院長等】</b>		
大学院文学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	佐々木 啓	大学院文学研究科教授
大学院文学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	平 澤 和 司	大学院文学研究科教授
大学院法学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	山 本 哲 生	大学院法学研究科教授
大学院経済学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	平 本 健 太	大学院経済学研究科教授
大学院歯学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	八 若 保 孝	大学院歯学研究科教授
大学院情報科学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	今 井 英 幸	大学院情報科学研究科教授
大学院情報科学研究科副研究科長 (期間：平成30年3月31日まで)	村 山 明 宏	大学院情報科学研究科教授
大学院水産科学研究院副研究院長 (期間：平成30年3月31日まで)	木 村 暢 夫	大学院水産科学研究院教授
大学院水産科学研究院副研究院長 (期間：平成30年3月31日まで)	宮 下 和 夫	大学院水産科学研究院教授
大学院教育学研究院副研究院長 (期間：平成30年3月31日まで)	宮 崎 隆 志	大学院教育学研究院教授

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
大学院保健科学研究所副院長 (期間：平成30年 3月31日まで)	遠 山 晴 一	大学院保健科学研究所教授
大学院工学研究所副院長 (期間：平成30年 3月31日まで)	五十嵐 敏 文	大学院工学研究所教授
大学院工学研究所副院長 (期間：平成30年 3月31日まで)	小 林 幸 徳	大学院工学研究所教授
大学院工学研究所副院長 (期間：平成30年 3月31日まで)	増 田 隆 夫	大学院工学研究所教授
北海道大学病院副院長 (期間：平成31年 3月31日まで)	秋 田 弘 俊	大学院医学研究科教授
北海道大学病院副院長 (期間：平成31年 3月31日まで)	北 川 善 政	大学院歯学研究科教授
北海道大学病院副院長 (期間：平成31年 3月31日まで)	松 居 喜 郎	大学院医学研究科教授
低温科学研究所副所長 (期間：平成30年 3月31日まで)	福 井 学	低温科学研究所教授
遺伝子病制御研究所副所長 (期間：平成30年 3月31日まで)	廣 瀬 哲 郎	遺伝子病制御研究所教授
触媒科学研究所副所長 (期間：平成30年 3月31日まで)	長谷川 淳 也	触媒科学研究所教授
<b>【教育研究評議会評議員】</b> (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで) (期間：平成30年 3月31日まで)	佐々木 啓 平 本 健 太 八 若 保 孝 昆 泰 寛 川 合 祐 史 宮 崎 隆 志 小 林 幸 徳	大学院文学研究科教授 大学院経済学研究科教授 大学院歯学研究科教授 大学院獣医学研究科教授 大学院水産科学研究所教授 大学院教育学研究所教授 大学院工学研究所教授
<b>【教授】</b> 大学院文学研究科教授 大学院文学研究科教授 大学院文学研究科教授 大学院文学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院法学研究科教授 大学院経済学研究科教授 大学院経済学研究科教授 大学院経済学研究科教授 大学院医学研究科教授 大学院情報科学研究科教授 大学院情報科学研究科教授 大学院情報科学研究科教授 大学院水産科学研究所教授 大学院水産科学研究所教授 大学院水産科学研究所教授 大学院水産科学研究所教授 大学院理学研究所教授 大学院理学研究所教授 大学院理学研究所教授	大 西 郁 夫 小 田 博 志 樽 本 英 樹 吉 開 将 人 岩 谷 将 齊 藤 正 彰 野 田 耕 志 町 村 泰 貴 安 部 由起子 板 谷 淳 一 高 木 真 吾 西 浦 博 浅 井 哲 也 植 村 哲 也 田 中 章 今 村 央 工 藤 勲 向 井 徹 和 田 哲 合 川 正 幸 小 川 宏 人 黒 岩 麻 里 高 木 昌 興	大学院文学研究科准教授 大学院文学研究科准教授 大学院文学研究科准教授 大学院文学研究科准教授 採用 採用 採用 大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター教授 大学院公共政策学連携研究部教授 大学院公共政策学連携研究部教授 大学院経済学研究科准教授 東京大学大学院医学系研究科准教授 大学院情報科学研究科准教授 大学院情報科学研究科准教授 大学院情報科学研究科准教授 大学院水産科学研究所准教授 大学院水産科学研究所准教授 大学院水産科学研究所准教授 大学院水産科学研究所准教授 大学院理学研究所附属原子核反応データベース研究開発センター教授 大学院理学研究所准教授 大学院理学研究所准教授 採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
大学院理学研究院教授	藤 田 知 道	大学院理学研究院准教授
大学院農学研究院教授	岩 渕 和 則	北方生物圏フィールド科学センター教授
大学院農学研究院教授	上 田 宏 一 郎	大学院農学研究院准教授
大学院教育学研究院教授	上 原 慎 一	大学院教育学研究院准教授
大学院教育学研究院教授	松 田 康 子	大学院教育学研究院准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院教授	河 合 剛	大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院教授	SEATON PHILIP ANDREW	国際本部グローバル教育推進センター教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院教授	清 水 賢 一 郎	大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
大学院保健科学研究院教授	境 信 哉	大学院保健科学研究院准教授
大学院工学研究院教授	岡 崎 太 一 郎	大学院工学研究院准教授
大学院工学研究院教授	橋 本 直 幸	大学院工学研究院准教授
大学院公共政策学連携研究部教授	鈴 川 晶 夫	大学院経済学研究科教授
大学院公共政策学連携研究部教授	山 下 竜 一	大学院法学研究科教授
観光学高等研究センター教授	下 休 場 千 秋	採用
総合博物館教授	湯 浅 万 紀 子	総合博物館准教授
安全衛生本部教授	川 上 貴 教	安全衛生本部准教授
国際連携研究教育局・北極域研究センター教授 (転出)	杉 本 敦 子	大学院地球環境科学研究院教授
琉球大学教授(兼)企画調整役	福 治 友 英	財務部長
千葉大学大学院薬学研究院教授	秋 田 英 万	大学院薬学研究院准教授
宮崎大学医学部医学科教授	河 上 洋	北海道大学病院講師
東北大学理学研究科教授	田 中 秀 和	低温科学研究所准教授
徳島大学理工学部教授	小笠原 正 道	触媒科学研究所准教授
<b>【准教授】</b>		
大学院文学研究科准教授	LA FAY MICHELLE KAY	採用
大学院法学研究科准教授	岩 川 隆 嗣	東京大学大学院法学政治学研究科助教
大学院法学研究科准教授	田 中 啓 之	大学院公共政策学連携研究部准教授
大学院法学研究科准教授	HAZUCHA BRANISLAV	大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター准教授
大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター准教授	中 川 晶 比 兒	大学院法学研究科准教授
大学院経済学研究科准教授	代 田 豊 一 郎	採用
大学院経済学研究科准教授	成 田 大 樹	採用
大学院医学研究科准教授	今 野 哲	北海道大学病院講師
大学院医学研究科准教授	大 西 俊 介	北海道大学病院講師
大学院医学研究科准教授	久 保 大 輔	採用
大学院歯学研究科准教授	兼 平 孝	北海道大学病院講師
大学院水産科学研究院准教授	山 村 織 生	採用
大学院理学研究院准教授	川 野 潤	採用
大学院理学研究院准教授	SETTEPANELLA SIMONA	採用
大学院理学研究院准教授	TASKER ELIZABETH JANE	大学院理学研究院助教
大学院薬学研究院准教授	大 西 英 博	大学院薬学研究院講師
大学院薬学研究院准教授	山 田 勇 磨	大学院薬学研究院助教
大学院教育学研究院准教授	山 仲 勇 二 郎	大学院医学研究科助教
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	伊 藤 孝 行	国際本部グローバル教育推進センター准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	COOK EMMA ELIZABETH	国際本部グローバル教育推進センター准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	KLIEN SUSANNE	国際本部グローバル教育推進センター准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	佐々田 博 教	国際本部グローバル教育推進センター准教授
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	富 成 絢 子	採用



新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授	山 田 悦 子	国際本部グローバル教育推進センター准教授
大学院工学研究院准教授	磯 部 繁 人	採用
大学院工学研究院准教授	猪 熊 泰 英	東京大学大学院工学研究科講師
大学院工学研究院准教授	白 井 直 機	採用
大学院工学研究院准教授	HENRY MICHAEL WARD	大学院工学研究院助教
大学院工学研究院准教授	若 林 齐	採用
北海道大学病院准教授	小 林 正 紀	大学院薬学研究院准教授
北海道大学病院准教授	清 水 勇 一	大学院医学研究科准教授
大学院公共政策学連携研究部准教授	齋 藤 久 光	大学院経済学研究科准教授
大学院公共政策学連携研究部准教授	前 田 亮 介	大学院法学研究科准教授
アイソトープ総合センター准教授	安 井 博 宣	大学院獣医学研究科助教
北方生物圏フィールド科学センター准教授	清 水 晋	大学院水産科学研究院准教授
北方生物圏フィールド科学センター准教授	清 水 直 人	大学院農学研究院准教授
観光学高等研究センター准教授	石 黒 侑 介	採用
観光学高等研究センター准教授	上 田 裕 文	採用
高等教育推進機構准教授	伊 藤 康 弘	採用
国際連携研究教育局・大学院農学研究院准教授 (転出)	小 林 国 之	大学院農学研究院助教
東京大学人文社会系研究科准教授	守 川 知 子	大学院文学研究科准教授
小樽商科大学准教授	内 田 純 一	観光学高等研究センター准教授
<b>【講師】</b>		
大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター講師	李 妍 淑	大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター助教
大学院理学研究院講師	堀 内 涉	大学院理学研究院助教
大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター講師	大 園 真 子	山形大学理学部講師
大学院薬学研究院講師	野 村 洋	採用
大学院薬学研究院講師	室 本 竜 太	大学院薬学研究院助教
大学院薬学研究院講師	薬 師 寺 文 華	採用
大学院農学研究院講師	清 水 池 義 治	採用
大学院メディア・コミュニケーション研究院講師	WINKLER CHRISTIAN GERHARD	国際本部講師
大学院メディア・コミュニケーション研究院講師	GODART GERARD RAINIER CLINTON	国際本部講師
大学院保健科学研究院講師	杉 森 博 行	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院講師	榊 原 純	北海道大学病院助教
北海道大学病院講師	丸 山 覚	北海道大学病院助教
高等教育推進機構講師	岩 間 徳 兼	採用
国際連携研究教育局・大学院農学研究院講師 (転出)	齋 藤 陽 子	採用
旭川医科大学講師	谷 祐 児	大学院保健科学研究院助教
<b>【助教】</b>		
大学院文学研究科助教	井 上 敬 介	採用
大学院法学研究科助教	角 本 和 理	採用
大学院法学研究科助教	津 田 智 成	採用
大学院法学研究科助教	堀 田 尚 徳	採用
大学院法学研究科助教	李 ブン 静	採用
大学院経済学研究科助教	菊 地 雄 太	採用
大学院経済学研究科助教	小 林 大 州 介	採用
大学院経済学研究科助教	鈴 木 広 人	採用
大学院経済学研究科助教	田 中 藍 子	採用
大学院医学研究科助教	浅 井 雄 介	採用
大学院医学研究科助教	浅 野 毅	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
大学院医学研究科助教	岩 野 弘 幸	採用
大学院医学研究科助教	江 川 潔	採用
大学院医学研究科助教	高 橋 育 子	採用
大学院医学研究科助教	竹 谷 隆 司	採用
大学院医学研究科助教	平 田 健 司	採用
大学院医学研究科附属動物実験施設助教	鷲 尾 浩 平	採用
大学院歯学研究科助教	黒 嶋 雄 志	採用
大学院歯学研究科助教	玉 井 美 保	採用
大学院歯学研究科助教	田 村 潔 美	熊本大学発生病学研究科助教
大学院情報科学研究科助教	折 川 幸 司	採用
水産学部附属練習船うしお丸助教	飯 田 高 大	水産学部附属練習船おしよろ丸三等航海士
大学院理学研究院助教	尾 崎 太 郎	採用
大学院薬学研究院助教	佐 藤 悠 介	採用
大学院薬学研究院助教	土 井 良 平	採用
大学院農学研究院助教	小 出 陽 平	採用
大学院農学研究院助教	佐 藤 昌 直	採用
大学院先端生命科学研究院助教	林 陽 子	採用
大学院メディア・コミュニケーション研究院助教	林 恒 立	採用
大学院保健科学研究院助教	井 上 貴 雄	北海道大学病院診療支援部作業療法士
大学院保健科学研究院助教	高 島 理 沙	採用
大学院保健科学研究院助教	平 山 憲 吾	北海道大学病院看護部看護師
大学院工学研究院助教	NGUYEN THANH MAI	採用
大学院工学研究院助教	小 橋 好 充	採用
大学院工学研究院助教	三 浦 章	採用
大学院工学研究院助教	柳 瀬 隆	採用
大学院工学研究院助教	RAVANKAR ANKIT	採用
大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター助教	張 麗 華	採用
北海道大学病院助教	朝比奈 肇	採用
北海道大学病院助教	石 川 聡 司	採用
北海道大学病院助教	石 川 康 暢	採用
北海道大学病院助教	菅 野 由岐子	採用
北海道大学病院助教	斉 藤 仁 志	採用
北海道大学病院助教	笹 森 徹	採用
北海道大学病院助教	中 井 正 人	採用
北海道大学病院助教	成 田 尚	採用
北海道大学病院助教	野 路 武 寛	採用
北海道大学病院助教	長 谷 徹太郎	採用
北海道大学病院助教	藤 田 憲 明	採用
北海道大学病院助教	前 川 邦 彦	採用
電子科学研究所助教	大 友 康 平	採用
電子科学研究所助教	鈴 木 明 大	採用
電子科学研究所助教	石 旭	採用
電子科学研究所助教	孫 泉	採用
遺伝子病制御研究所助教	河 村 佳 見	遺伝子病制御研究所附属感染癌研究センター助教
遺伝子病制御研究所助教	山 田 大 翔	採用
スラブ・ユーラシア研究センター助教	菊 田 悠	採用
スラブ・ユーラシア研究センター助教	馬 路 真 理	採用
アイヌ・先住民研究センター助教 (転出)	近 藤 祉 秋	採用
金沢大学助教	村 上 和 弘	大学院先端生命科学研究院助教
筑波大学システム情報系助教	鈴 木 研 悟	大学院工学研究院助教
<b>【専門職 (学術)】</b> 大学院工学研究院学術専門職	SHMAKOVA NATALYA	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
国際本部学術主任専門職	南 波 直 樹	採用
国際本部学術専門職	吉 田 純 子	採用
産学・地域協働推進機構学術専門職	門 傳 千 尋	採用
<b>【専門職 (特定)】</b>		
総務企画部人事課厚生労務室付特定専門職	高 橋 賢 充	採用
総務企画部人事課厚生労務室付特定専門職	築 田 美 抄	採用
総務企画部情報企画課特定専門職	吉 川 浩	情報環境推進本部情報推進課特定専門職
<b>【部長】</b>		
財務部長	山 岸 仁	国立青少年教育振興機構教育事業部長
研究推進部長	山 崎 淳一郎	弘前大学研究推進部長
医学系事務部長	小 谷 正 雄	理学・生命科学事務部長 (兼) 理学・生命科学事務部事務課長
理学・生命科学事務部長 (兼) 理学・生命科学事務部事務課長 (転出)	寺 澤 陸	財務部調達課長
(再掲) 琉球大学教授 (兼) 企画調整役	福 治 友 英	財務部長
千葉大学学術国際部長	大 山 卓 也	研究推進部長
苫小牧工業高等専門学校事務部長	伊 藤 恒 明	研究推進部産学連携課長
新潟大学施設管理部長	柴 田 大	施設部環境配慮促進課長
<b>【次長・副本部長代理】</b>		
総務企画部次長 (兼) 総務企画部企画課長	長谷川 康 弘	総務企画部企画課長
学務部次長 (兼) 学務部学務企画課長	吉 原 春 之	学務部学務企画課長
研究推進部次長 (兼) 研究推進部研究振興企画課長	勝 山 憲 明	研究推進部研究振興企画課長
国際本部副本部長代理 (兼) 国際本部国際企画課長	坂 本 秀 敬	総務企画部総務課長
<b>【課長・事務長・室長】</b>		
総務企画部総務課長	鈴 木 剛	東京医科歯科大学総務部総務秘書課長 (兼) 広報部広報課長
総務企画部人事課長	熊 谷 達 也	文部科学省大臣官房人事課専門官 (併) 任用班任用第一係長
総務企画部人事課厚生労務室長	平 松 亨	総務企画部人事課課長補佐
総務企画部情報企画課長	河 野 孝 紀	総務企画部人事課厚生労務室長
財務部主計課長	前 田 隆 司	文部科学省大臣官房会計課専門官 (併) 総務班総務係長
財務部経理課長	六 家 英 紀	北キャンパス合同事務部事務長
財務部調達課長	佐々木 博 之	財務部資産運用管理課長
学務部キャリアセンター課長	小 塩 俊 二	情報環境推進本部情報推進課長
施設部環境配慮促進課長	竹 内 真 司	文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課調査係長
附属図書館利用支援課長	樋 口 秀 樹	旭川医科大学教務部図書館情報課長
医学系事務部会計課長	吉 田 直 美	財務部経理課課長補佐
歯学研究科・歯学部事務長	柴 田 仁	低温科学研究所事務長
環境科学事務部事務長	徳 山 雅 一	学務部キャリアセンター課長
北海道大学病院医事課長	佐 藤 悟	弘前大学医学部附属病院医事課長
低温科学研究所事務長	宮 内 政 幸	環境科学事務部事務長
北キャンパス合同事務部事務長	長 野 剛 志	医学系事務部会計課長
(出向復帰)		
財務部資産運用管理課長	高 野 雅 広	苫小牧工業高等専門学校総務課長
研究推進部産学連携課長	岩 佐 俊 明	小樽商科大学企画戦略課課長代理
農学事務部事務長	見 永 博 英	小樽商科大学総務課長
(出向)		
北見工業大学学生支援課長	菅 原 暢 廣	学務部学務企画課課長補佐
小樽商科大学総務課長	佐 藤 陽 一	北海道大学病院総務課課長補佐
室蘭工業大学財務グループマネージャー (転出)	辻 賢 司	北海道大学病院経営企画課課長補佐
人間文化研究機構事務局総務課長	鳥 根 亨	総務企画部人事課長
文部科学省大臣官房会計課専門官	海 藤 和 俊	財務部主計課長
旭川医科大学教務部図書館情報課長	鶴 澤 和 往	附属図書館管理課課長補佐

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
横滨国立大学図書館・情報部図書館情報課長	豊田 裕 昭	附属図書館利用支援課長
旭川医科大学病院事務部経営企画課長	北脇 清 一	北海道大学病院医事課長
小樽商科大学学術情報課長	結城 憲 司	事務局付 (小樽商科大学出向中)
<b>【補佐】</b>		
総務企画部広報課課長補佐	乾 優紀子	施設部施設企画課係長
総務企画部人事課課長補佐	小澤 嘉 磨	研究推進部研究振興企画課課長補佐
総務企画部情報企画課課長補佐	根本 恒 秀	情報環境推進本部情報推進課課長補佐
財務部経理課課長補佐	菅原 育 哉	研究推進部産学連携課課長補佐
学務部学務企画課課長補佐	池田 徹	学務部教育推進課課長補佐
学務部学務企画課課長補佐	三浦 征 則	学務部学生支援課課長補佐
学務部学務企画課課長補佐	芳岡 洋	学務部学務企画課専門員
学務部学生支援課課長補佐	藤野 祐 一	農学事務部事務長補佐
学務部入試課課長補佐	佐々木 淳 子	工学系事務部教務課課長補佐
学務部キャリアセンター課長補佐	加福 千 明	学務部入試課課長補佐
研究推進部研究振興企画課課長補佐	今田 有 治	研究推進部研究振興企画課係長
施設部施設整備課課長補佐	加藤 成 生	北海道教育大学財務部施設課副課長
附属図書館管理課課長補佐	田邊 千 雪	附属図書館利用支援課付係長
函館キャンパス事務部事務長補佐	佐藤 規 久	施設部施設企画課係長
理学・生命科学事務部事務課課長補佐	土本 光 一	学務部教育推進課係長
農学事務部事務長補佐	菊池 洋 美	農学事務部係長
工学系事務部総務課課長補佐	清水 智 之	総務企画部広報課課長補佐
工学系事務部教務課課長補佐	菅田 勝 美	理学・生命科学事務部事務課課長補佐
北海道大学病院経営企画課課長補佐 (出向復帰)	花 島 純	函館キャンパス事務部事務長補佐
総務企画部人事課	成田 芳 道	帯広畜産大学経営管理部施設課課長補佐
研究推進部産学連携課課長補佐	松橋 和 哉	室蘭工業大学地域連携推進グループコーディネーター
北海道大学病院総務課課長補佐 (出向)	蟹口 宏 幸	室蘭工業大学総務グループコーディネーター
北海道教育大学財務部施設課副課長	成田 芳 道	総務企画部人事課
小樽商科大学企画戦略課課長代理	小守林 訓	財務部主計課専門員
小樽商科大学教務課課長代理(兼)入試室長	川崎 直	学務部教育推進課係長
帯広畜産大学教育研究支援部学務課課長補佐	奴賀 修	学務部教育推進課係長
室蘭工業大学総務グループコーディネーター	久米 繁 輝	工学系事務部総務課係長
<b>【専門員】</b>		
財務部主計課専門員	石田 出	財務部主計課係長
<b>【係長】</b>		
総務企画部総務課係長	中崎 治	総務企画部企画課係長
総務企画部総務課係長	渡邊 勉	歯学研究科・歯学部係長
総務企画部総務課総長秘書室係長	大沢 将	総務企画部総務課主任
総務企画部総務課総長秘書室係長	西村 公 子	学務部学生支援課主任
総務企画部企画課係長	笹原 聡	総務企画部人事課係長
総務企画部広報課係長	隅田 由美子	総務企画部人事課厚生労務室係長
総務企画部人事課係長	福井 将 人	北方生物圏フィールド科学センター係長
総務企画部人事課厚生労務室係長	三橋 千 昭	学務部入試課係長
総務企画部情報企画課係長	菅野 一 徳	情報環境推進本部情報推進課係長
総務企画部情報企画課係長	白川 孝 子	情報環境推進本部情報推進課係長
総務企画部情報企画課係長	清野 浩 昭	情報環境推進本部情報推進課係長
総務企画部情報企画課係長	築田 和 人	情報環境推進本部情報推進課係長
総務企画部情報企画課係長	富西 哲 史	情報環境推進本部情報推進課係長
学務部学務企画課係長	佐々木 徹 也	学務部学生支援課係長
学務部学務企画課係長	横澤 史 彦	文学研究科・文学部係長
学務部教育推進課係長	田中 奈緒美	総務企画部広報課係長

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
学務部教育推進課係長	波多野 訓 広	学務部教育推進課主任
学務部教育推進課係長	原 田 奈緒子	医学系事務部総務課係長
学務部学生支援課係長	菅 原 嘉奈子	学務部キャリアセンター係長
学務部入試課係長	表 啓 政	法学研究科・法学部係長
研究推進部研究振興企画課係長	佐 藤 永 晃	工学系事務部経理課係長
研究推進部研究支援課係長	中 原 大 輔	研究推進部研究振興企画課主任
施設部施設企画課係長	泉 澤 成 実	総務企画部総務課係長
附属図書館管理課係長	磯 本 善 男	附属図書館利用支援課付係長
附属図書館管理課係長	佐々木 由 香	総務企画部総務課総長秘書室主任
附属図書館利用支援課係長	茶 屋 容 子	附属図書館学術システム課係長
附属図書館利用支援課付係長	中 村 陽	附属図書館管理課係長
附属図書館利用支援課付係長	平 田 栄 夫	附属図書館管理課係長
文学研究科・文学部係長	片 石 竜 史	農学事務部係長
文学研究科・文学部係長	竹 本 樹	北海道大学病院総務課係長
法学研究科・法学部係長	八 戸 勇 人	理学・生命科学事務部事務課係長
医学系事務部総務課係長	中 村 義 伸	小樽商科大学教務課教務企画係長
医学系事務部総務課係長	渡 邊 秀 敏	低温科学研究所係長
医学系事務部保健科学研究院事務課係長	古 坐 要	獣医学研究科・獣医学部主任
医学系事務部保健科学研究院事務課係長	山 田 真 美	学務部教育推進課主任
歯学研究科・歯学部係長	藤 野 智 彦	総務企画部人事課主任
函館キャンパス事務部係長	山 田 孝 幸	学務部学務企画課主任
環境科学事務部係長	佐 藤 有 希	医学系事務部保健科学研究院事務課係長
理学・生命科学事務部事務課係長	竹 下 欣 吾	学務部学生支援課係長
農学事務部係長	小 倉 健 二	医学系事務部総務課係長
農学事務部係長	宮谷内 洋	函館キャンパス事務部係長
工学系事務部総務課係長	三分一 利 恵	総務企画部総務課係長
工学系事務部経理課係長	大 林 豊	医学系事務部保健科学研究院事務課係長
工学系事務部経理課係長	押 田 亜 希	工学系事務部経理課主任
北海道大学病院総務課係長	高 橋 善 聡	研究推進部研究支援課係長
北海道大学病院総務課係長	福 井 陽 一	工学系事務部経理課係長
北海道大学病院経営企画課係長	掛 端 誠	北海道大学病院医事課係長
北海道大学病院経営企画課係長	佐々木 結	監査室係長
北海道大学病院医事課係長	仲 澤 将 夫	学務部学生支援課課長補佐
北海道大学病院医事課係長	村 岡 健一郎	北海道大学病院経営企画課係長
低温科学研究所係長	長 尾 かなえ	情報環境推進本部情報推進課主任
北方生物圏フィールド科学センター係長	大 峽 賢 也	文学研究科・文学部係長
国際本部国際企画課係長	山 口 聡 子	国際本部国際連携課係長
国際本部国際連携課係長 (出向復帰)	巽 貞 信	環境科学事務部係長
監査室係長	尾留川 瑞 樹	苫小牧工業高等専門学校総務課財務係長
財務部主計課係長	村 井 利 光	北海道教育大学財務部財務課係長
学務部学生支援課係長	大 瀧 恵 二	帯広畜産大学教育研究支援部学務課学務企画係長
附属図書館管理課係長	三 浦 千 穂	小樽商科大学学術情報課専門職員
附属図書館利用支援課係長 (出向)	細 井 真弓美	旭川医科大学教務部図書館情報課情報サービス係長
北海道教育大学財務部財務課係長	鈴 木 裕 樹	財務部主計課主任
帯広畜産大学学術情報室利用支援係長	三 隅 健 一	附属図書館管理課
小樽商科大学学術情報課専門職員 (転出)	一 戸 佳 織	附属図書館利用支援課
室蘭工業大学施設グループユニットリーダー	加 藤 聡	総務企画部人事課 (室蘭工業大学出向中)
帯広畜産大学	齋 藤 洋 史	北海道大学病院経営企画課係長
【主任】 総務企画部企画課主任	浅 野 泰 規	総務企画部企画課

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
総務企画部企画課主任	蜂 谷 真 央	医学系事務部総務課主任
総務企画部広報課主任	中 島 裕 子	採用
総務企画部人事課主任	関 本 岳	総務企画部広報課
総務企画部人事課主任	山 添 晃 伸	総務企画部総務課総長秘書室主任
総務企画部情報企画課主任	石 井 英 樹	情報環境推進本部情報推進課主任
総務企画部情報企画課主任	白 取 靖 子	情報環境推進本部情報推進課主任
総務企画部情報企画課主任	瀬 崎 修 一	情報環境推進本部情報推進課主任
財務部主計課主任	今 田 裕 一	財務部主計課
財務部主計課主任	横 山 隆 宏	財務部主計課
財務部経理課主任	有 田 貴 博	財務部経理課
財務部資産運用管理課主任	谷 口 雄 郎	財務部資産運用管理課
学務部学務企画課主任	市 川 智 章	北キャンパス合同事務部主任
学務部学務企画課主任	笹 本 和 矢	工学系事務部総務課
学務部教育推進課主任	高 原 めぐみ	工学系事務部教務課主任
学務部学生支援課主任	飯 田 奈 緒	理学・生命科学事務部事務課主任
学務部学生支援課主任	西 尾 慎一郎	学務部学生支援課
学務部入試課主任	佐 藤 洋 一	学務部入試課
研究推進部研究振興企画課主任	熊 木 弥 広	研究推進部研究振興企画課
研究推進部研究振興企画課主任	瀧 川 翼	北海道大学病院総務課主任
施設部施設企画課主任	赤 淵 崇 弘	総務企画部総務課主任
施設部施設整備課主任	佐 藤 祐 介	施設部施設整備課
附属図書館利用支援課付主任	中 道 敦 子	附属図書館利用支援課主任
法学研究科・法学部主任	玉 木 敏	放送大学学園放送部企画管理課業務係主任
経済学研究科・経済学部主任	大久保 康 子	経済学研究科・経済学部
医学系事務部総務課主任	佐 脇 康 仁	医学系事務部総務課
医学系事務部会計課主任	重 金 千賀子	医学系事務部保健科学研究院事務課主任
医学系事務部保健科学研究院事務課主任	中 島 香寿美	医学系事務部総務課
獣医学研究科・獣医学部主任	近 藤 哲 仁	北方生物圏フィールド科学センター主任
函館キャンパス事務部主任	八 田 紘 介	函館キャンパス事務部
理学・生命科学事務部事務課主任	亀 山 尚 枝	研究推進部研究振興企画課主任
理学・生命科学事務部事務課主任	山 形 直 子	メディア・観光学事務部主任
農学事務部主任	安 齊 愛 郎	国際本部国際交流課主任
農学事務部主任	坂 口 知 子	農学事務部
農学事務部主任	武 隈 香	農学事務部
メディア・観光学事務部主任	高 嶋 和 希	メディア・観光学事務部
メディア・観光学事務部主任	山 本 真 希	理学・生命科学事務部事務課主任
工学系事務部総務課主任	岩 間 秀 敏	北海道大学病院総務課主任
工学系事務部経理課主任	戸 出 成 記	工学系事務部情報科学研究科事務課主任
工学系事務部経理課主任	山 本 一 博	北海道大学病院医事課主任
工学系事務部教務課主任	岡 嶋 正 育	工学系事務部情報科学研究科事務課主任
工学系事務部教務課主任	西 東 宏 章	学務部入試課主任
工学系事務部教務課主任	照 井 敏 康	学務部学生支援課係長
北海道大学病院総務課主任	斉 藤 拓 朗	北キャンパス合同事務部
北海道大学病院経営企画課主任	大 内 聖 和	北キャンパス合同事務部主任
北海道大学病院経営企画課主任	窪 田 一 将	北海道大学病院経営企画課
北海道大学病院医事課主任	児 玉 直 樹	学務部学務企画課主任
北海道大学病院医事課主任	佐 藤 達 也	北海道大学病院医事課
北海道大学病院医事課主任	矢 野 沙 織	北海道大学病院医事課
北海道大学病院医療支援課主任	杉 本 由 佳	北海道大学病院医療支援課
北方生物圏フィールド科学センター主任	武 部 将 智	薬学事務部主任
国際本部国際企画課主任	山 内 務 巨	財務部調達課主任
国際本部国際連携課主任	角 家 由紀子	国際本部国際教務課主任
国際本部国際教務課主任	高 木 敦 子	国際本部国際教務課

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
国際本部国際交流課主任	平 岩 和 之	工学系事務部経理課主任
北キャンパス合同事務部主任 (出向復帰)	小 池 直 弘	北方生物圏フィールド科学センター主任
研究推進部研究振興企画課主任	上 田 敦	日本学術振興会研究事業部研究助成第二課主任
北海道大学病院管理課主任 (出向)	表 山 尚 史	旭川医科大学総務部会計課主任
日本学術振興会研究事業部研究事業課主任 (転出)	松 村 恭 子	総務企画部企画課
旭川医科大学	鈴 木 英 紀	施設部施設整備課主任
苫小牧工業高等専門学校学生課主任	大 西 朋 子	医学系事務部総務課主任
<b>【係員】</b>		
総務企画部総務課	引 地 華 恵	採用
総務企画部総務課	朴 錦 花	採用
総務企画部総務課	三 木 彰 真	農学事務部
総務企画部企画課	澤 里 惇 生	財務部調達課
総務企画部企画課	菅 原 由紀子	国際本部国際連携課
総務企画部企画課	濱 田 貴 之	工学系事務部総務課
総務企画部広報課	赤 坂 知 恵	採用
総務企画部人事課	前 田 龍之介	研究推進部研究振興企画課
総務企画部人事課厚生労務室	竹 田 慎太郎	法学研究科・法学部
総務企画部情報企画課	澤 井 朝 紀	総務企画部企画課
総務企画部情報企画課	中 嶋 果 紅	採用
総務企画部情報企画課	沼 倉 明紗美	情報環境推進本部情報推進課
財務部主計課	渥 美 裕 介	北海道大学病院管理課
財務部主計課	中 山 琴 絵	総務企画部企画課
財務部調達課	上 平 裕 也	旭川工業高等専門学校総務課財務係
財務部調達課	川 口 留 奈	採用
財務部調達課	佐 藤 辰 紀	環境科学事務部
財務部調達課	長 崎 由佳利	北海道大学病院経営企画課
財務部調達課	本 多 佑 輔	採用
学務部学務企画課	小 田 歩 実	採用
学務部学務企画課	菊 地 修 平	学務部学生支援課
学務部学務企画課	中 川 紗百合	採用
学務部学務企画課	渡 部 瑞 穂	学務部学生支援課
学務部教育推進課	小 林 敏 泰	総務企画部企画課
学務部入試課	武 田 卓	採用
研究推進部研究振興企画課	大久保 雅 史	理学・生命科学事務部事務課
施設部環境配慮促進課	城 弘 次	採用
施設部施設整備課	吉 田 貴 子	採用
附属図書館管理課	岩 田 慈 子	附属図書館利用支援課
附属図書館管理課	北 村 雅 子	附属図書館利用支援課付
附属図書館管理課	佐々木 翼	附属図書館学術システム課
附属図書館管理課	堀 切 香 菜	北海道大学病院管理課
附属図書館利用支援課	平 館 真希子	附属図書館利用支援課付
附属図書館利用支援課	眞 野 光 章	採用
附属図書館利用支援課	三 上 絢 子	採用
附属図書館利用支援課付	井 上 雅 史	附属図書館管理課
附属図書館利用支援課付	紙 谷 五 月	附属図書館利用支援課
附属図書館利用支援課付	本 多 竜 二	採用
附属図書館利用支援課付	丸 山 絢 子	附属図書館利用支援課
附属図書館利用支援課付	山 崎 佳 子	附属図書館管理課
附属図書館学術システム課	前 田 翔 太	附属図書館管理課

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
法学研究科・法学部	金 田 将 人	獣医学研究科・獣医学部
医学系事務部総務課	小 幡 修 平	苫小牧工業高等専門学校学生課教務係
医学系事務部総務課	篁 紘 子	採用
歯学研究科・歯学部	岩 見 雅 大	採用
歯学研究科・歯学部	西 村 萌	農学事務部
歯学研究科・歯学部	山 口 航 平	採用
獣医学研究科・獣医学部	蝦 名 慧	理学・生命科学事務部事務課
函館キャンパス事務部	橋 本 圭 史	理学・生命科学事務部事務課
環境科学事務部	山 内 拓	採用
理学・生命科学事務部事務課	鈴 木 啓 介	工学系事務部総務課
理学・生命科学事務部事務課	寺 澤 太 志	採用
理学・生命科学事務部事務課	鍵 利 真 子	採用
理学・生命科学事務部事務課	吉 井 一 平	採用
薬学事務部	須 永 玲	北海道大学病院医事課
薬学事務部	高 橋 絢 子	歯学研究科・歯学部
農学事務部	熊 原 伸 也	歯学研究科・歯学部
農学事務部	村 岡 凌 平	採用
教育学事務部	酒 井 美 咲	採用
工学系事務部総務課	小 原 梓	法学研究科・法学部
工学系事務部総務課	片 山 直 紀	採用
工学系事務部総務課	山 本 翔 平	法学研究科・法学部
工学系事務部経理課	鈴 木 拓 人	施設部環境配慮促進課
工学系事務部経理課	高 橋 英 嗣	総務企画部人事課
工学系事務部経理課	田 附 望	低温科学研究所
工学系事務部教務課	佐々木 真 理	採用
工学系事務部教務課	竹 内 亮 太	国際本部国際連携課
工学系事務部教務課	藤 田 真 由	採用
工学系事務部情報科学研究科事務課	宇 野 樹 矢	採用
工学系事務部情報科学研究科事務課	中 島 百 恵	採用
北海道大学病院総務課	近 田 悟 羽	函館キャンパス事務部
北海道大学病院総務課	寺 澤 惇	国際本部国際連携課
北海道大学病院管理課	鈴 木 竜 一	附属図書館管理課
北海道大学病院医事課	本 田 知 里	採用
低温科学研究所	岩 崎 圭 祐	採用
北方生物圏フィールド科学センター	三升畑 元 基	理学・生命科学事務部事務課
北キャンパス合同事務部	片 垣 麻 理 子	国際本部国際教務課
北キャンパス合同事務部	内 藤 輝 章	北海道大学病院総務課
北キャンパス合同事務部	成 田 千 紘	採用
北キャンパス合同事務部	西 村 美 里	研究推進部研究振興企画課
国際本部国際連携課	山 下 史 恵	国際本部国際交流課
国際本部国際教務課	伊 藤 淑 恵	薬学事務部
国際本部国際教務課	三 宅 由 美	歯学研究科・歯学部
国際本部国際交流課	船 越 雄 也	工学系事務部経理課
(出向復帰)		
総務企画部人事課	宮 崎 脩 平	国立大雪青少年交流の家管理係
農学事務部	辻 陽 菜	旭川工業高等専門学校総務課施設係
(出向)		
大学改革支援・学位授与機構評価事業部評価企画課国立大学評価室	野 入 由 起 子	法学研究科・法学部
北海道教育大学財務部施設課施設整備グループ	川 本 学	農学事務部
(転出)		
東京農工大学	小 山 亜 希 子	総務企画部人事課 (東京農工大学出向中)
金沢大学医薬保健系事務部会計課	吉 田 一 石	総務企画部人事課
文部科学省生涯学習政策局	増 田 小 春	学務部学務企画課



新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
【技術職員等】		
総務企画部情報企画課技術専門職員	池 田 光 雄	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	岩 崎 誠	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	計 良 広 幸	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	更 科 高 広	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	相 馬 崇 宏	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	永 井 謙 芝	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	成 田 一 郎	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課技術専門職員	林 卓 也	情報環境推進本部情報推進課技術専門職員
総務企画部情報企画課	高 橋 亮 太	情報環境推進本部情報推進課
水産学部附属練習船おしよろ丸三等航海士	佐 藤 太 一	水産学部附属練習船うしお丸二等航海士
水産学部附属練習船おしよろ丸機関長	沢 中 和 也	水産学部附属練習船おしよろ丸一等機関士
水産学部附属練習船おしよろ丸一等機関士	進 藤 謙 一	水産学部附属練習船おしよろ丸二等機関士
水産学部附属練習船おしよろ丸二等機関士	杉 原 明	水産学部附属練習船うしお丸二等機関士
水産学部附属練習船おしよろ丸三等機関士	宇 野 浩 之	水産学部附属練習船おしよろ丸機関員
水産学部附属練習船おしよろ丸操舵手	江 田 直 行	水産学部附属練習船うしお丸操舵手
水産学部附属練習船おしよろ丸機関員	中 尾 祥 一	採用
水産学部附属練習船おしよろ丸機関員	村 田 拓 也	水産学部附属練習船おしよろ丸甲板員
水産学部附属練習船おしよろ丸甲板員	井戸向 航 汰	採用
水産学部附属練習船うしお丸二等機関士	横 川 雄 高	水産学部附属練習船おしよろ丸三等機関士
水産学部附属練習船うしお丸操舵手	三 島 正 士	水産学部附属練習船おしよろ丸操舵手
水産学部附属練習船うしお丸機関員	山 本 靖 弘	採用
大学院農学研究技術専門職員	和 田 友 則	大学院農学研究
大学院工学研究院	原 田 真 吾	採用
大学院工学研究院	李 家 康	採用
北海道大学病院薬剤部薬剤師	長 瀬 茉里奈	採用
北海道大学病院薬剤部薬剤師	仁 木 加寿子	大学院薬学研究助教
北海道大学病院薬剤部薬剤師	西 嶋 劍 一	アイソトープ総合センター講師
北海道大学病院薬剤部薬剤助手	高 桑 志 帆	採用
北海道大学病院薬剤部薬剤助手	豊 田 梓 乃	採用
北海道大学病院薬剤部薬剤助手	野 表 知 世	採用
北海道大学病院薬剤部薬剤助手	山 岡 怜 央	採用
北海道大学病院看護部長	佐 藤 ひとみ	北海道大学病院看護部副看護部長
北海道大学病院看護部副看護部長	新 岡 郁 子	北海道大学病院看護部看護師長
北海道大学病院看護部副看護部長	船 木 典 子	北海道大学病院看護部看護師長
北海道大学病院看護部看護師長	奥 山 静 香	北海道大学病院看護部副看護師長
北海道大学病院看護部看護師長	笠 松 美 紀	北海道大学病院看護部副看護師長
北海道大学病院看護部看護師長	菊 地 千 夏	北海道大学病院看護部副看護師長
北海道大学病院看護部副看護師長	植 西 佳 奈	北海道大学病院看護部看護師
北海道大学病院看護部副看護師長	得 永 布由子	北海道大学病院看護部助産師
北海道大学病院看護部副看護師長	中 村 可 奈	北海道大学病院看護部看護師
北海道大学病院看護部副看護師長	長谷川 真 里	北海道大学病院看護部看護師
北海道大学病院看護部副看護師長	松 本 か な	北海道大学病院看護部看護師
北海道大学病院看護部看護師	石 川 実 咲	採用
北海道大学病院看護部看護師	片 山 美 樹	東京大学医学部附属病院看護部看護師
北海道大学病院看護部看護師	工 藤 優	採用
北海道大学病院看護部看護師	栗 山 智 実	採用
北海道大学病院看護部看護師	佐々木 麻 菜	採用
北海道大学病院看護部看護師	鳥 崎 絢 子	採用
北海道大学病院看護部看護師	高 瀬 明 香	採用
北海道大学病院看護部看護師	高 梨 仁 美	東京大学医学部附属病院看護部看護師
北海道大学病院看護部看護師	高 橋 史	北海道大学病院看護部副看護師長
北海道大学病院看護部看護師	竹 田 真 夕	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
北海道大学病院看護部看護師	谷 本 晶 子	京都大学医学部附属病院看護部看護師
北海道大学病院看護部看護師	蛭 田 悠 子	北海道大学病院助教
北海道大学病院看護部看護師	本 田 彩	採用
北海道大学病院看護部看護師	馬久地 ふ み	採用
北海道大学病院看護部看護師	南 山 斗志世	採用
北海道大学病院看護部看護師	宮 脇 伶 奈	採用
北海道大学病院看護部看護師	村 田 詠 子	採用
北海道大学病院看護部准看護師	石 川 智 之	採用
北海道大学病院看護部准看護師	海 部 摩 衣	採用
北海道大学病院看護部准看護師	難 波 加奈子	採用
北海道大学病院看護部准看護師	藤 原 麻里恵	採用
北海道大学病院看護部看護助手	浅 沼 寛 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	蘆 原 操 希	採用
北海道大学病院看護部看護助手	荒 木 望 実	採用
北海道大学病院看護部看護助手	池 野 花 恵	採用
北海道大学病院看護部看護助手	井 下 海 凧	採用
北海道大学病院看護部看護助手	伊 東 篤 史	採用
北海道大学病院看護部看護助手	伊 藤 若 奈	採用
北海道大学病院看護部看護助手	岩 谷 美和子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	浦 川 梨里子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	大 黒 真 歩	採用
北海道大学病院看護部看護助手	大須賀 貴 帆	採用
北海道大学病院看護部看護助手	大 角 彩 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	太 田 さやか	採用
北海道大学病院看護部看護助手	近江谷 美 春	採用
北海道大学病院看護部看護助手	岡 梨紗子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 川 佐緒梨	採用
北海道大学病院看護部看護助手	長 内 絵 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	尾 立 陸	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 野 彩 花	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 野 真如月	採用
北海道大学病院看護部看護助手	賀 集 仁 美	採用
北海道大学病院看護部看護助手	川 合 千 秋	採用
北海道大学病院看護部看護助手	河 田 瀬 那	採用
北海道大学病院看護部看護助手	菅 野 理 紗	採用
北海道大学病院看護部看護助手	菊 地 菜都美	採用
北海道大学病院看護部看護助手	北 本 爽	採用
北海道大学病院看護部看護助手	木 村 眞佑子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	熊 谷 侑 美	採用
北海道大学病院看護部看護助手	倉 茂 菜 摘	採用
北海道大学病院看護部看護助手	郡 司 奈 弥	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 池 大 地	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 金 愛璃紗	採用
北海道大学病院看護部看護助手	小 杉 遥 香	採用
北海道大学病院看護部看護助手	近 藤 花 菜	採用
北海道大学病院看護部看護助手	佐々木 惇 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	佐々木 かおる	採用
北海道大学病院看護部看護助手	佐々木 慎太郎	採用
北海道大学病院看護部看護助手	佐々木 萌	採用
北海道大学病院看護部看護助手	佐 藤 香奈子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	澤 田 瑞 希	採用
北海道大学病院看護部看護助手	清 水 め い	採用
北海道大学病院看護部看護助手	庄 子 要	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
北海道大学病院看護部看護助手	白 野 秋 季	採用
北海道大学病院看護部看護助手	進 藤 彩	採用
北海道大学病院看護部看護助手	須 貝 郁 美	採用
北海道大学病院看護部看護助手	鈴 木 詠 巳	採用
北海道大学病院看護部看護助手	諏訪田 恵 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	大 門 里 実	採用
北海道大学病院看護部看護助手	高 根 茉 那	採用
北海道大学病院看護部看護助手	高 橋 愛 佳	採用
北海道大学病院看護部看護助手	高 橋 美 香	採用
北海道大学病院看護部看護助手	高 橋 美 冴	採用
北海道大学病院看護部看護助手	高 橋 侑 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	武 田 愛	採用
北海道大学病院看護部看護助手	竹 野 里 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	武 山 華	採用
北海道大学病院看護部看護助手	舘 山 奈 菜	採用
北海道大学病院看護部看護助手	田 原 慶 一	採用
北海道大学病院看護部看護助手	玉 川 愛	採用
北海道大学病院看護部看護助手	千 嶋 海 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	辻 明 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	中 川 る い	採用
北海道大学病院看護部看護助手	中 西 彩	採用
北海道大学病院看護部看護助手	中 野 志 穂	採用
北海道大学病院看護部看護助手	中 鉢 萌 花	採用
北海道大学病院看護部看護助手	成 澤 咲 花	採用
北海道大学病院看護部看護助手	西 萌 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	西 野 かさね	採用
北海道大学病院看護部看護助手	野 坂 康 太	採用
北海道大学病院看護部看護助手	野 崎 紫 保	採用
北海道大学病院看護部看護助手	芳 賀 司	採用
北海道大学病院看護部看護助手	袴 田 侑 衣	採用
北海道大学病院看護部看護助手	橋 本 あさひ	採用
北海道大学病院看護部看護助手	橋 本 杏 姫	採用
北海道大学病院看護部看護助手	林 萌 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	深 川 恵 衣	採用
北海道大学病院看護部看護助手	福 田 真 生	採用
北海道大学病院看護部看護助手	藤 澤 築	採用
北海道大学病院看護部看護助手	古 口 夏 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	古 谷 優 紀	採用
北海道大学病院看護部看護助手	堀 田 彩 花	採用
北海道大学病院看護部看護助手	本 間 加 那 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	本 間 千 尋	採用
北海道大学病院看護部看護助手	牧 田 真 実	採用
北海道大学病院看護部看護助手	松 沢 あずさ	採用
北海道大学病院看護部看護助手	松 田 知 佳	採用
北海道大学病院看護部看護助手	三 上 紗 央 里	採用
北海道大学病院看護部看護助手	光 永 理 沙	採用
北海道大学病院看護部看護助手	湊 梨 緒 奈	採用
北海道大学病院看護部看護助手	南 亜 弥	採用
北海道大学病院看護部看護助手	宮 越 文 菜	採用
北海道大学病院看護部看護助手	明 井 遼	採用
北海道大学病院看護部看護助手	毛 木 歩 未	採用
北海道大学病院看護部看護助手	森 菜々子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	森 田 有 華	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
北海道大学病院看護部看護助手	安 岡 茉 耶	採用
北海道大学病院看護部看護助手	梁 田 七 海	採用
北海道大学病院看護部看護助手	矢 野 は な	採用
北海道大学病院看護部看護助手	山 川 紅 葉	採用
北海道大学病院看護部看護助手	山 口 大 輝	採用
北海道大学病院看護部看護助手	山 崎 磨 奈	採用
北海道大学病院看護部看護助手	山 本 雄 哉	採用
北海道大学病院看護部看護助手	吉 田 圭 介	採用
北海道大学病院看護部看護助手	吉 田 祥 美	採用
北海道大学病院看護部看護助手	若 生 麻 弥 香	採用
北海道大学病院看護部看護助手	渡 邊 薫 子	採用
北海道大学病院看護部看護助手	渡 邊 咲 瑛	採用
北海道大学病院医療技術部長	澁 谷 齊	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師長
北海道大学病院医療技術部副臨床検査技師長	西 田 陸	北海道大学病院診療支援部副臨床検査技師長
北海道大学病院医療技術部副臨床検査技師長	藤 澤 真 一	北海道大学病院診療支援部副臨床検査技師長
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	秋 沢 宏 次	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	安孫子 光 春	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	井 上 真 美 子	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	佐 藤 かおり	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	早 坂 かすみ	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	早 坂 光 司	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	丸 川 活 司	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	南 昭 子	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	安 田 慶 子	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	山 下 亜 妃 子	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	山 下 直 樹	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	山 本 雅 史	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	米 岡 麻 記	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部主任臨床検査技師	渡 邊 千 秋	北海道大学病院診療支援部主任臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	市 川 絢 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	伊 藤 誠	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	岩 井 孝 仁	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	岩 崎 澄 央	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	魚 住 諒	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	宇佐美 貴 之	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	上 床 貴 代	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	大 沼 有 美	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	大 沼 麗 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	小 栗 聡	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	越 智 典 樹	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	表 原 里 実	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	香 川 郁 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	菊 地 玲	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	工 藤 悠 輔	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	小 林 美 穂	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	駒 込 香 織	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	榎 わか菜	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	志 賀 麻 衣 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	清 水 知 浩	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	砂後谷 華 奈	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	高 橋 香 代 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	中 野 恵 一	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	中 鉢 雅 大	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	西 野 久 雄	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	畑 瀬 正 尚	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	福 元 達 也	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	眞 鍋 智 代	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	三 谷 麻 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	道 又 理 恵	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	宮 本 晴 恵	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	村 上 望	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	望 月 抄 苗	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	山 下 ひろ子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	山 田 幸 穂	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	横 山 し の ぶ	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	和 田 妙 子	北海道大学病院診療支援部臨床検査技師
北海道大学病院医療技術部臨床検査技師	渡 部 涼 子	採用
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師長	藤 田 勝 久	北海道大学病院診療支援部副診療放射線技師長
北海道大学病院医療技術部副診療放射線技師長	小 田 ま こと	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部副診療放射線技師長	孫 田 恵 一	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部副診療放射線技師長	山 下 道 明	北海道大学病院診療支援部副診療放射線技師長
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	石 坂 欣 也	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	上 田 俊 一	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	後 藤 啓 司	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	笹 木 工	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	堀 江 達 則	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	堀 田 賢 治	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	宗 像 大 和	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	山 口 仰	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	山 崎 理 衣	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師	横 山 英 辰	北海道大学病院診療支援部主任診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	青 池 寿々子	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	青 池 拓 哉	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	浅 野 有 加 里	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	石 坂 香 織	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	一 宇 佑 太	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	葛 西 克 彦	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	潟 端 純 也	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	亀 田 拓 人	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	川 角 恵 里 奈	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	北 市 雅 子	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	齋 藤 英 一	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	坂 本 悠 輔	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	佐 藤 恵 美	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	佐 藤 泰 彦	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	島 洋 介	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	高 森 清 華	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	田 村 弘 詞	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	辻 真 太 朗	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	南 雲 淳 也	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	野 畑 圭 亮	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	平 山 博 之	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	藤 原 太 郎	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	宮 本 佳 史 子	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	門 馬 弘 司	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	吉 村 高 明	採用

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	若 林 千容子	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部診療放射線技師	若 林 倭	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
北海道大学病院医療技術部理学療法士	阿 部 隆 宏	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部理学療法士	梶 本 泰 志	採用
北海道大学病院医療技術部理学療法士	河 内 綾 乃	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部理学療法士	小 島 尚 子	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部理学療法士	千 葉 健	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部理学療法士	堀 弘 明	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部理学療法士	由 利 真	北海道大学病院診療支援部理学療法士
北海道大学病院医療技術部作業療法士	稲 垣 侑 士	北海道大学病院診療支援部作業療法士
北海道大学病院医療技術部作業療法士	小 川 圭 太	北海道大学病院診療支援部作業療法士
北海道大学病院医療技術部作業療法士	角 井 由 佳	北海道大学病院診療支援部作業療法士
北海道大学病院医療技術部作業療法士	吉 田 奈 美	北海道大学病院診療支援部作業療法士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	石 川 勝 清	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	岩 崎 毅	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	太 田 稔	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	岡 本 花 織	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	加 藤 伸 彦	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	寒河江 磨	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	佐々木 亮	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	竹 田 博 明	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	千 葉 裕 基	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	鴫 田 智 久	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	平 子 竜 大	採用
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	法 邑 まなみ	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	前 野 幹	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	松 本 剛 直	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部臨床工学技士	矢 萩 亮 児	北海道大学病院診療支援部臨床工学技士
北海道大学病院医療技術部言語聴覚士	大 澤 恵留美	北海道大学病院診療支援部言語聴覚士
北海道大学病院医療技術部言語聴覚士	堤 昌 恵	北海道大学病院診療支援部言語聴覚士
北海道大学病院医療技術部言語聴覚士	三 上 愛	北海道大学病院診療支援部言語聴覚士
北海道大学病院医療技術部視能訓練士	阿 部 朋 子	北海道大学病院診療支援部視能訓練士
北海道大学病院医療技術部視能訓練士	金 泉 沙 宝	北海道大学病院診療支援部視能訓練士
北海道大学病院医療技術部視能訓練士	橋 本 勇 希	北海道大学病院診療支援部視能訓練士
北海道大学病院医療技術部視能訓練士	廣 岡 季里子	採用
北海道大学病院医療技術部視能訓練士	溝 口 亜矢子	北海道大学病院診療支援部視能訓練士
北海道大学病院医療技術部歯科衛生士	小 森 さやか	採用
北海道大学病院医療技術部歯科衛生士	須 摩 美 雪	北海道大学病院診療支援部歯科衛生士
北海道大学病院医療技術部歯科衛生士	中 山 絵 里	北海道大学病院診療支援部歯科衛生士
北海道大学病院医療技術部歯科衛生士	前 澤 かおる	北海道大学病院診療支援部歯科衛生士
北海道大学病院医療技術部歯科衛生士	森 田 加 代	採用
北海道大学病院医療技術部歯科技工士	阪 野 充	北海道大学病院診療支援部歯科技工士
北海道大学病院医療技術部歯科技工士	西 川 圭 吾	北海道大学病院診療支援部歯科技工士
北海道大学病院医療技術部歯科技工士	道 田 智 宏	北海道大学病院診療支援部歯科技工士
北海道大学病院医療技術部歯科技工士	輪 島 克 司	北海道大学病院診療支援部歯科技工士
北海道大学病院医療技術部心理士	秋 谷 絵 理	採用
北海道大学病院医療技術部心理士	中 谷 紫 乃	北海道大学病院診療支援部心理士
北海道大学病院医療技術部心理士	成 田 学	北海道大学病院診療支援部心理士
北海道大学病院医療技術部主任	斉 藤 かおり	北海道大学病院診療支援部主任
北海道大学病院医療技術部	石 塚 麻伊子	採用
北海道大学病院医療技術部	照 井 涼 子	北海道大学病院診療支援部
低温科学研究所技術専門職員	佐 藤 陽 亮	旭川工業高等専門学校技術専門職員
電子科学研究所技術専門職員	武 井 将 志	電子科学研究所

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
電子科学研究所	中 野 和佳子	採用
電子科学研究所	平 井 直 美	採用
触媒科学研究所技術専門職員	長谷川 貴 彦	触媒科学研究所
アイソトープ総合センター技術専門職員	阿 保 憲 史	アイソトープ総合センター
北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員	榎 本 浩 志	北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員
北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員	桂 川 英 徳	北方生物圏フィールド科学センター
北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員	立 邊 竜 男	北方生物圏フィールド科学センター
北方生物圏フィールド科学センター技術専門職員	山 田 文 啓	北方生物圏フィールド科学センター
北方生物圏フィールド科学センター	兼 松 勝 寿	採用
北方生物圏フィールド科学センター	竹 本 尚 右	採用
北方生物圏フィールド科学センター	鳥 羽 悠	採用
北方生物圏フィールド科学センター	中 島 夕 里	採用
技術支援本部付 (創成研究機構) 技術専門職員 (出向復帰)	中 村 葵	技術支援本部付 (創成研究機構)
北海道大学病院医療技術部主任診療放射線技師 (転出)	濱 口 裕 行	岡山大学病院医療技術部診療放射線技師
九州大学病院看護部看護師	江 崎 景 子	北海道大学病院看護部看護師
東京大学医学部附属病院看護部看護師	中 野 美 鈴	北海道大学病院看護部看護師
岡山大学病院医療技術部診療放射線技師	吉 富 敬 祐	北海道大学病院診療支援部診療放射線技師
<b>【特任教授 (再雇用)】</b>		
大学院文学研究科特任教授	佐 藤 鍊太郎	
大学院文学研究科特任教授	高 橋 英 光	
大学院文学研究科特任教授	山 田 貞 三	
大学院医学研究科特任教授	有 賀 正	
大学院医学研究科特任教授	丸 藤 哲	
大学院医学研究科特任教授	玉 木 長 良	
大学院医学研究科特任教授	西 村 正 治	
大学院歯学研究科特任教授	飯 田 順一郎	
大学院歯学研究科特任教授	鈴 木 邦 明	
大学院獣医学研究科特任教授	葉 原 芳 昭	
大学院水産科学研究院特任教授	今 井 一 郎	
大学院水産科学研究院特任教授	門 谷 茂	
大学院水産科学研究院特任教授	矢 部 衛	
大学院地球環境科学研究院特任教授	田 中 俊 逸	
大学院理学研究院特任教授	泉 屋 周 一	
大学院理学研究院特任教授	羽 部 朝 男	
大学院メディア・コミュニケーション研究院特任教授	上 田 雅 信	
大学院メディア・コミュニケーション研究院特任教授	園 田 勝 英	
大学院工学研究院特任教授	奈良林 直	
大学院工学研究院特任教授	古 坂 道 弘	
スラブ・ユーラシア研究センター特任教授	家 田 修	
国際連携研究教育局・人獣共通感染症リサーチセンター特任教授	杉 本 千 尋	
量子集積エレクトロニクス研究センター特任教授	佐 野 栄 一	
<b>【特任准教授 (再雇用)】</b>		
大学院理学研究院特任准教授	川 村 信 人	
大学院工学研究院特任准教授	藤 吉 亮 子	
北海道大学病院特任准教授	松 浦 亨	
<b>【特任講師 (再雇用)】</b>		
北海道大学病院特任講師	大 森 桂 一	
<b>【特任助教 (再雇用)】</b>		
大学院医学研究科特任助教	KURKIN SERGEY	
大学院情報科学研究科特任助教	田 中 英 一	

新 職 名 (発令事項)	氏 名	旧 職 名 (現職名)
大学院保健科学研究所特任助教 大学院工学研究所特任助教	真 木 誠 森 下 満	
【特任助手 (再雇用)】 大学院理学研究所特任助手	西 田 千鶴子	
【嘱託職員 (再雇用)】 監査室 総務企画部広報課 総務企画部情報企画課 総務企画部情報企画課 総務企画部情報企画課 財務部調達課 財務部調達課 学務部教育推進課 学務部学生支援課 研究推進部研究支援課 研究推進部研究支援課 附属図書館管理課付 附属図書館利用支援課付 大学院経済学研究所 大学院工学研究所 大学院工学研究所 大学院工学研究所 大学院工学研究所 大学院工学研究所 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北海道大学病院医療技術部 北方生物圏フィールド科学センター 人材育成本部 安全衛生本部 大学力強化推進本部	不 動 康 則 山 内 一 昭 大 島 雅 明 折 野 神 恵 辻 満 久 保 修 正 木 一 宏 武 良 博 己 竹 田 充 岩 渕 徹 也 福 原 義 幸 福盛田 勉 永 山 裕 子 塚 田 久美子 太 田 隆 夫 工 藤 豊 菅 原 隆 之 長 倉 清 剛 山 崎 賢 治 勝 本 尚 菊 池 仁 佐 賀 和 高 高 木 敏 彦 坪 田 秀 一 内 藤 智 浩 中 島 收 間 宮 春 大 大日向 孝 治 瀬 田 尚 利 木 場 保 洋	情報環境推進本部情報推進課 情報環境推進本部情報推進課 情報環境推進本部情報推進課 財務部経理課 工学系事務部総務課 農学事務部 附属図書館利用支援課付 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 北海道大学病院診療支援部 学務部学生支援課



新任監事・副学長・部局長等紹介

平成28年4月1日付

監事に



竹谷 千里 氏

平成28年3月31日限りで米澤 勉氏が任期満了となり、その後任として、竹谷千里氏が発令されました。  
任期は、平成32年8月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和29年7月8日  
昭和53年3月 北海道大学法学部卒業  
昭和53年4月 北海道庁  
平成12年4月 経済部観光振興課長補佐  
平成17年4月 企画振興部総務課参事  
平成19年6月 知事政策部知事室広報聴課長  
平成21年4月 経済部観光局次長  
平成22年4月 経済部観光局国際観光担当局長  
平成23年4月 留萌振興局長  
平成25年4月 環境生活部長  
平成26年4月 北海道監査委員

監事に



堀 俊介 氏

平成28年3月31日限りで上野昌美氏が任期満了となり、その後任として、堀 俊介氏が発令されました。  
任期は、平成32年8月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和46年12月14日  
平成6年3月 北海道大学経済学部卒業  
平成7年10月 } あずさ監査法人  
平成15年8月 }  
平成15年8月 公認会計士堀俊介事務所（現 堀俊介税務会計事務所）開設  
平成17年12月 監査法人ハイビスカス設立 代表社員就任

副学長に



吉見 宏 教授

副学長として吉見 宏教授が発令されました。  
任期は、平成29年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和36年8月1日  
昭和60年3月 九州大学経済学部卒業  
昭和62年3月 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了  
平成2年3月 九州大学大学院経済学研究科博士後期課程単位修得退学  
平成2年4月 } 日本学術振興会特別研究員  
平成3年2月 }  
平成3年2月 北海道大学経済学部講師  
平成5年2月 北海道大学経済学部助教授  
平成12年4月 北海道大学大学院経済学研究科助教授  
平成16年6月 北海道大学大学院経済学研究科教授  
平成18年3月 博士（経営学）（北海道大学）  
平成21年4月 } 北海道大学大学院経済学研究科副研究科長、  
平成24年3月 } 北海道大学教育研究評議会評議員  
平成24年4月 }  
平成28年3月 } 北海道大学大学院経済学研究科長

文学研究科長・文学部長に



山本 文彦 教授

平成28年3月31日限りで白木沢旭児文学研究科長・文学部長が任期満了となり、その後任として山本文彦教授が発令されました。  
任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和36年9月10日  
昭和60年3月 東北大学文学部卒業  
昭和62年3月 東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了  
平成4年3月 東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得退学  
平成4年4月 北海道大学文学部助教授  
平成6年2月 博士（文学）（東北大学）  
平成12年4月 北海道大学大学院文学研究科助教授  
平成19年4月 北海道大学大学院文学研究科准教授  
平成21年4月 北海道大学大学院文学研究科教授  
平成24年4月 } 北海道大学大学院文学研究科副研究科長  
平成28年3月 }  
平成26年4月 } 北海道大学教育研究評議会評議員  
平成28年3月 }

経済学研究科長・経済学部長に



まちの かずお 町野 和夫 教授

平成28年3月31日限りで吉見 宏経済学研究科長・経済学部長が任期満了となり、その後任として町野和夫教授が発令されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和32年7月31日  
 昭和55年3月 京都大学経済学部卒業  
 昭和55年4月 民間（株式会社三菱総合研究所研究員）  
 平成元年6月 }  
 平成7年9月 ノースカロライナ大学大学院退学  
 平成7年10月 北海道大学経済学部助教授  
 平成8年12月 Ph.D（経済学）（ノースカロライナ大学）  
 平成12年4月 北海道大学大学院経済学研究科助教授  
 平成16年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授  
 平成17年4月 北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授  
 平成19年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授  
 平成20年8月 } 北海道大学大学院経済学研究科長・経済学部長  
 平成24年3月 }  
 平成24年4月 北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授  
 平成26年4月 北海道大学大学院経済学研究科教授  
 平成27年4月 北海道大学総長補佐

保健科学研究院長・保健科学院長に



さいとう たけし 齋藤 健 教授

平成28年3月31日限りで伊達広行保健科学研究院長・保健科学院長が任期満了となり、その後任として齋藤 健教授が発令されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和30年5月7日  
 昭和56年3月 北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了  
 昭和57年3月 北海道大学大学院環境科学研究科博士後期課程退学  
 昭和57年4月 北海道大学医学部助手  
 昭和62年9月 医学博士（北海道大学）  
 平成6年9月 北海道大学医学部講師  
 平成9年8月 北海道大学医学部助教授  
 平成17年4月 北海道大学医学部教授  
 平成20年4月 北海道大学大学院保健科学研究院教授  
 平成24年4月 } 北海道大学大学院保健科学研究院副研究院長  
 平成26年3月 }  
 平成24年4月 } 北海道大学環境健康科学研究教育センター長  
 平成28年3月 }

総合化学院長に



おおくま たけし 大熊 毅 教授

平成28年3月31日限りで坂口和靖総合化学院長が任期満了となり、その後任として大熊 毅教授が発令されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和37年2月5日  
 昭和60年3月 慶應義塾大学理工学部卒業  
 昭和62年3月 慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了  
 平成3年1月 理学博士（名古屋大学）  
 平成3年3月 名古屋大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了  
 平成3年3月 スタンフォード大学博士研究員  
 平成4年3月 新技術事業団（現 科学技術振興機構）研究員  
 平成8年10月 名古屋大学大学院理学研究科助教授  
 平成14年7月 名古屋大学物質科学国際研究センター助教授  
 平成16年6月 北海道大学大学院工学研究科教授  
 平成22年4月 北海道大学大学院工学研究院教授、北海道大学大学院総合化学院担当  
 平成25年4月 北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター長（兼任）

遺伝子病制御研究所長に



むらかみ まさあき 村上 正晃 教授

平成28年3月31日限りで高岡晃教遺伝子病制御研究所長が任期満了となり、その後任として村上正晃教授が発令されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和38年7月13日  
 昭和62年3月 北海道大学獣医学部卒業  
 平成元年3月 北海道大学大学院獣医学研究科修士課程修了  
 平成5年3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了  
 平成5年3月 医学博士（大阪大学）  
 平成5年4月 北海道大学免疫科学研究所助手  
 平成11年4月 日本学術振興会海外特別研究員  
 平成13年4月 コロラド大学客員准教授  
 平成14年8月 大阪大学大学院医学系研究科助教授  
 平成19年4月 大阪大学大学院生命機能研究科准教授  
 平成26年5月 北海道大学遺伝子病制御研究所教授、北海道大学大学院医学研究科教授

人獣共通感染症リサーチセンター長に



すずき やすひこ  
鈴木 定彦 教授

平成28年3月31日限りで杉本千尋人獣共通感染症リサーチセンター長が任期満了となり、その後任として鈴木定彦教授が発令されました。  
任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和32年10月31日  
昭和56年3月 静岡大学理学部卒業  
昭和58年3月 静岡大学大学院理学研究科修士課程修了  
昭和63年3月 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了  
昭和63年3月 医学博士（大阪大学）  
昭和63年4月 大阪大学微生物病研究所助手  
平成3年4月 大阪府立公衆衛生研究所主任研究員  
平成15年4月 鳥取大学医学部助教授  
平成17年7月 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター教授  
平成26年7月 北海道大学国際連携研究教育局教授（兼任）

環境健康科学研究教育センター長に



おがさわら かつひこ  
小笠原 克彦 教授

平成28年3月31日限りで齋藤 健環境健康科学研究教育センター長が任期満了となり、その後任として小笠原克彦教授が発令されました。  
任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和41年2月16日  
昭和63年3月 北海道大学医療技術短期大学部卒業  
昭和63年4月 札幌北榆病院  
平成3年2月 慶應義塾大学大学院医学研究科修士課程修了  
平成9年3月 慶應義塾大学大学院医学研究科修士課程修了  
平成10年7月 エイズ予防財団  
平成10年12月 日本学術振興会特別研究員（DC）  
平成11年1月 北海道大学医療技術短期大学部助手  
平成12年3月 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了  
平成12年4月 博士（医学）（北海道大学）  
平成13年3月 北海道大学医学部保健学科助教授  
平成13年3月 北海道大学医学部保健学科教授  
平成15年10月 北海道大学医学部保健学科教授  
平成18年12月 小樽商科大学大学院商学研究科専門職学位課程修了  
平成19年3月 経営管理修士（専門職）（小樽商科大学）  
平成19年3月 北海道大学大学院保健科学研究院教授  
平成20年4月

脳科学研究教育センター長に



わたなべ まさひこ  
渡邊 雅彦 教授

平成28年3月31日限りで吉岡充脳科学研究教育センター長が任期満了となり、その後任として渡邊雅彦教授が発令されました。  
任期は、平成30年3月31日までです。

略 歴

生年月日 昭和34年4月2日  
昭和59年3月 東北大学医学部卒業  
昭和63年3月 筑波大学大学院医学研究科博士課程修了  
昭和63年3月 医学博士（筑波大学）  
昭和63年4月 金沢大学医学部助手  
平成2年1月 東北大学医学部助手  
平成4年2月 北海道大学医学部助教授  
平成10年11月 北海道大学医学部教授  
平成12年4月 北海道大学大学院医学研究科教授

## 副理事・部局長等（再任）紹介

平成28年4月1日付

## 副理事・北海道大学病院長に

ほうきん きよひろ  
**寶金 清博 氏**

寶金清博氏は、平成25年4月1日から副理事・北海道大学病院長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同氏が再任されました。

任期は、平成31年3月31日までです。

## 歯学研究科長・歯学部長に

よこやま あつろう  
**横山 敦郎 教授**

横山敦郎教授は、平成26年4月1日から歯学研究科長・歯学部長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長に

やすい はじめ  
**安井 肇 教授**

安井 肇教授は、平成26年4月1日から水産科学研究院長・水産科学院長・水産学部長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 教育学研究院長・教育学院長・教育学部長に

おない とおる  
**小内 透 教授**

小内 透教授は、平成26年4月1日から教育学研究院長・教育学院長・教育学部長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 低温科学研究所長に

えぶち なおと  
**江淵 直人 教授**

江淵直人教授は、平成26年4月1日から低温科学研究所長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 情報科学研究科長に

みやなが よしかず  
**宮永 喜一 教授**

宮永喜一教授は、平成26年4月1日から情報科学研究科長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 生命科学院長に

やまぐち じゅんじ  
**山口 淳二 教授**

山口淳二教授は、平成26年4月1日から生命科学院長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 工学研究院長・工学院長・工学部長に

なわ とよはる  
**名和 豊春 教授**

名和豊春教授は、平成26年4月1日から工学研究院長・工学院長・工学部長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 触媒科学研究所長に

あさくら きよたか  
**朝倉 清高 教授**

朝倉清高教授は、平成26年4月1日から触媒化学研究センター長を務め、改組に伴い、平成27年10月1日からは触媒科学研究所長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 量子集積エレクトロニクス研究センター長に

はしづめ たもつ  
橋詰 保 教授

橋詰 保教授は、平成26年4月1日から量子集積エレクトロニクス研究センター長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 北方生物圏フィールド科学センター長に

もとむら たいぞう  
本村 泰三 教授

本村泰三教授は、平成26年4月1日から北方生物圏フィールド科学センター長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同教授が再任されました。

任期は、平成30年3月31日までです。

## 北極域研究センター長に

さいとう せいいち  
齊藤 誠一 特任教授

齊藤誠一特任教授は、平成27年4月1日から北極域研究センター長を務め、平成28年3月31日をもって任期満了となりましたが、引き続き同特任教授が再任されました。

任期は、平成29年3月31日までです。

## 新任教授紹介

平成28年4月1日付



文学研究科教授に

おおにし いくお  
大西 郁夫 氏

言語文学専攻西洋文学講座

生年月日

昭和33年9月16日

最終学歴

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学（平成元年3月）  
文学修士（北海道大学）

専門分野

ロシア文学



文学研究科教授に

おだ ひろし  
小田 博志 氏

歴史地域文化学専攻  
歴史文化論講座

生年月日

昭和41年12月1日

最終学歴

ハイデルベルク大学医学部博士課程修了（平成13年3月）  
Dr.sc.hum.（ハイデルベルク大学）

専門分野

人類学

文学研究科教授に

樽本 英樹 氏

人間システム科学専攻  
社会システム科学講座

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了（平成11年3月）  
博士（社会学）（東京大学）

専門分野

国際社会学，政治社会学，理論社会学



文学研究科教授に

吉開 将人 氏

歴史地域文化学専攻  
東洋史学講座

生年月日

昭和42年7月25日

最終学歴

東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学（平成7年3月）  
博士（文学）（東京大学）

専門分野

中国研究（歴史・民族）



法学研究科教授に

岩谷 将 氏

法学政治学専攻政治学講座

生年月日

昭和51年11月27日

最終学歴

慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学（平成19年3月）  
博士（法学）（慶應義塾大学）

専門分野

中国政治史，日中関係史



法学研究科教授に

齊藤 正彰 氏

法学政治学専攻現代法講座

生年月日

昭和45年5月23日

最終学歴

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了（平成10年3月）  
博士（法学）（北海道大学）

専門分野

憲法



法学研究科教授に

野田 耕志 氏

法律実務専攻民事法講座

生年月日

昭和49年12月1日

最終学歴

東北大学大学院法学研究科博士後期課程修了（平成14年3月）  
博士（法学）（東北大学）

専門分野

商法



経済学研究科教授に

高木 真吾 氏

会計情報専攻会計情報講座

生年月日

昭和46年8月15日

最終学歴

大阪大学大学院経済学研究科博士課程修了（平成12年3月）  
経済学博士（大阪大学）

専門分野

経済統計学，応用計量経済学



医学研究科教授に

にしうら ひろし  
**西浦 博 氏**

医学専攻社会医学講座  
衛生学・細胞予防医学分野

生年月日

昭和52年11月16日

最終学歴

広島大学大学院保健学研究科博士後期課程修了（平成18年3月）  
博士（保健学）（広島大学）

専門分野

衛生学，感染症疫学，理論疫学



情報科学研究科教授に

あさい てつや  
**浅井 哲也 氏**

情報エレクトロニクス専攻  
集積システム講座

最終学歴

豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了（平成11年3月）  
博士（工学）（豊橋技術科学大学）

専門分野

集積回路工学，ナノエレクトロニクス，  
ソフトコンピューティング



情報科学研究科教授に

うえむら てつや  
**植村 哲也 氏**

情報エレクトロニクス専攻  
先端エレクトロニクス講座

生年月日

昭和40年5月1日

最終学歴

京都大学大学院工学研究科修士課程修了（平成2年3月）  
博士（工学）（京都大学）

専門分野

スピントロニクス



情報科学研究科教授に

たなか あきら  
**田中 章 氏**

情報理工学専攻数理科学講座

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了（平成12年9月）  
博士（工学）（北海道大学）

専門分野

標本化理論，機械学習理論，画像・音響信号処理



水産科学研究院教授に

いまむら ひさし  
**今村 央 氏**

海洋生物資源科学部門  
海洋生物学分野

生年月日

昭和40年10月8日

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了（平成8年3月）  
博士（水産学）（北海道大学）

専門分野

魚類系統分類学



水産科学研究院教授に

くどう いさお  
**工藤 勲 氏**

海洋生物資源科学部門  
海洋環境科学分野

生年月日

昭和35年1月24日

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了（平成元年12月）  
水産学博士（北海道大学）

専門分野

海洋生物地球化学，基礎生産学



水産科学研究院教授に

むかい とおる  
**向井 徹 氏**

海洋生物資源科学部門  
海洋計測学分野

生年月日

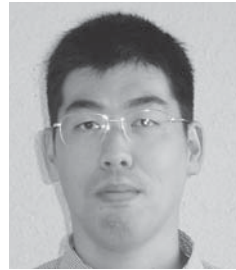
昭和38年 2月 4日

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科修士課程退学（昭和63年 5月）  
博士（水産学）（北海道大学）

専門分野

水産音響学



水産科学研究院教授に

わだ さとし  
**和田 哲 氏**

海洋生物資源科学部門  
海洋生物学分野

生年月日

昭和44年 3月23日

最終学歴

北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程修了（平成10年 3月）  
博士（水産学）（北海道大学）

専門分野

動物生態学



理学研究院教授に

おがわ ひろと  
**小川 宏人 氏**

生物科学部門  
行動神経生物学分野

生年月日

昭和40年 3月 3日

最終学歴

岡山大学大学院自然科学研究科博士課程修了（平成 4年 3月）  
博士（理学）（岡山大学）

専門分野

神経生物学



理学研究院教授に

くろいわ あさと  
**黒岩 麻里 氏**

生物科学部門  
生殖発生生物学分野

生年月日

昭和48年 6月27日

最終学歴

名古屋大学大学院生命農学研究科博士課程後期課程修了（平成14年 3月）  
博士（農学）（名古屋大学）

専門分野

生殖発生学



理学研究院教授に

たかぎ まさおき  
**高木 昌興 氏**

生物科学部門多様性生物学分野

生年月日

昭和42年 6月29日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了（平成 9年 3月）  
博士（農学）（北海道大学）

専門分野

鳥類生態学， 島嶼生物学



理学研究院教授に

ふじた ともみち  
**藤田 知道 氏**

生物科学部門形態機能学分野

生年月日

昭和39年10月 3日

最終学歴

東京大学大学院理学系研究科博士課程修了（平成 5年 3月）  
博士（理学）（東京大学）

専門分野

植物進化発生制御学





農学研究院教授に

うえだ こういちろう  
**上田 宏一郎 氏**

基盤研究部門畜産科学分野

生年月日

昭和43年 6月17日

最終学歴

北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了（平成8年3月）  
博士（農学）（北海道大学）

専門分野

畜牧体系学



教育学研究院教授に

うえほら しんいち  
**上原 慎一 氏**

教育学部門教育社会科学分野

生年月日

昭和39年 8月10日

最終学歴

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程修了（平成7年3月）  
博士（教育学）（北海道大学）

専門分野

産業教育



教育学研究院教授に

まつだ やすこ  
**松田 康子 氏**

教育学部門教育心理学分野

生年月日

昭和36年11月 5日

最終学歴

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程中退（平成10年3月）  
博士（教育学）（北海道大学）

専門分野

臨床心理学



メディア・コミュニケーション  
研究院教授に

かわい ごう  
**河合 剛 氏**

メディア・コミュニケーション部門  
言語習得論分野

生年月日

昭和36年 6月17日

最終学歴

東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了（平成11年3月）  
博士（工学）（東京大学）

専門分野

教育工学，特に対話型オンライン学習システムの  
設計・構築・運用・評価



メディア・コミュニケーション  
研究院教授に

しみず けんいちろう  
**清水 賢一郎 氏**

メディア・コミュニケーション部門  
国際地域文化論分野

生年月日

昭和42年 3月 1日

最終学歴

東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了（平成6年3月）  
博士（文学）（東京大学）

専門分野

中国メディア社会文化史，観光創造研究



保健科学研究院教授に

さかい しんや  
**境 信哉 氏**

保健科学部門生活機能学分野

最終学歴

東北大学大学院医学系研究科博士後期課程修了（平成15年3月）  
博士（障害科学）（東北大学）

専門分野

作業療法学，神経心理学



工学研究院教授に

おかざき たいちろう  
**岡崎 太一郎 氏**

建築都市空間デザイン部門  
空間防災分野

生年月日

昭和46年 9月28日

最終学歴

米国テキサス州立大学Civil Engineering博士課程修了(平成16年12月)  
Ph.D. (テキサス州立大学)

専門分野

構造工学, 鋼構造, 耐震構造



工学研究院教授に

はしもと なおゆき  
**橋本 直幸 氏**

材料科学部門  
エネルギー材料分野

生年月日

昭和42年12月26日

最終学歴

北海道大学大学院工学研究科博士後期課程修了(平成8年3月)  
博士(工学) (北海道大学)

専門分野

エネルギー炉構造材料



観光学高等研究センター教授に

しもやす ば ちあき  
**下休場 千秋 氏**

観光システム研究部

生年月日

昭和31年 2月27日

最終学歴

筑波大学大学院環境科学研究科修士課程修了(昭和56年3月)  
博士(芸術文化学) (大阪芸術大学)

専門分野

地域生態計画論, 観光芸術論



総合博物館教授に

ゆあさ まきこ  
**湯浅 万紀子 氏**

博物館教育・メディア研究系

最終学歴

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位修得退学(平成17年9月)  
博士(文学) (東京大学)

専門分野

博物館教育学



安全衛生本部教授に

かわかみ たかのり  
**川上 貴教 氏**

化学物質等安全管理担当

生年月日

昭和45年 2月5日

最終学歴

茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程物質科学専攻(平成10年3月)  
博士(工学) (茨城大学)

専門分野

化学物質管理, 安全衛生, 環境保全

新任部課長等紹介

平成28年4月1日付



財務部長に

やまぎし ひとし  
山岸 仁 氏



研究推進部長に

やまざき じゅんいちろう  
山崎 淳一郎 氏

- 昭和37年 6月29日生
- 昭和59年 1月 国立大雪青年の家
- 昭和63年 4月 文部省教育助成局教職員課
- 平成 6年 4月 文部省大臣官房会計課経理班
- 平成 6年 7月 文部省大臣官房会計課経理班経理第二係主任
- 平成 8年 4月 文部省大臣官房会計課総務班総務係主任
- 平成 9年 4月 文部省体育局生涯スポーツ課庶務係長
- 平成12年 9月 文部省体育局体育課総務係長
- 平成13年 1月 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課総務係長
- 平成14年 4月 電気通信大学会計課長
- 平成16年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局生涯スポーツ課補佐  
(併) 参事官付参事官補佐
- 平成18年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課補佐
- 平成20年 4月 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課補佐
- 平成23年 4月 独立行政法人国立青少年教育振興機構管理部長
- 平成24年10月 独立行政法人国立青少年教育振興機構管理部長  
(兼) オリピックセンター運営部長
- 平成25年 1月 独立行政法人国立青少年教育振興機構教育事業部長

- 昭和36年 8月生
- 昭和60年 3月 関西大学法学部卒業
- 昭和55年 4月 大阪大学工学部
- 昭和60年 6月 大阪大学人事課
- 昭和61年 4月 文部省初等中等教育局職業教育課
- 昭和62年 2月 文部省初等中等教育局高等学校課
- 平成 3年 4月 放送大学学園教務部修学指導課
- 平成 3年10月 放送大学学園教務部修学指導課学務第一係主任
- 平成 4年 2月 放送大学学園教務部修学指導課学習指導係主任
- 平成 4年 4月 放送大学学園教務部修学指導課学習指導係長
- 平成 5年12月 文部省大臣官房総務課国会連絡調整室専門職員
- 平成 6年 4月 文部省大臣官房総務課調査第二係長
- 平成 6年10月 文部省大臣官房総務課広報室庶務係長
- 平成 7年10月 文部省高等教育局医学教育課庶務係長
- 平成10年 4月 文部省高等教育局医学教育課看護教育係長(兼) 医療技術係長
- 平成12年 4月 山形大学庶務部庶務課長
- 平成13年 4月 山形大学総務部総務課長
- 平成14年 4月 東京大学総務部学務課長
- 平成16年 4月 文部科学省研究振興局学術研究助成課学術団体専門官
- 平成18年 4月 山形大学教授
- 平成19年 2月 同(兼) 企画部副部長
- 平成21年 4月 文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課技術移転推進室補佐
- 平成23年 4月 宇都宮大学学術研究部長
- 平成25年 4月 弘前大学研究推進部長



理学・生命科学事務部長に

てらさわ むつみ  
寺澤 睦 氏



総務企画部次長(兼・総務企画部企画課長)に

はせがわ やすひろ  
長谷川 康弘 氏

- 昭和34年 6月20日生
- 昭和53年 3月 北海道松前高等学校卒業
- 昭和53年 4月 函館工業高等専門学校学生課
- 昭和54年 4月 函館工業高等専門学校会計課
- 昭和55年11月 北海道大学工学部経理課
- 昭和58年 7月 北海道大学医学部附属病院医事課
- 昭和60年 4月 北海道大学経理部経理課
- 昭和63年 5月 北海道大学経理部主計課
- 平成 3年 4月 北海道大学経理部経理課
- 平成 5年 4月 北海道大学経理部経理課給与掛経理主任
- 平成 7年10月 北海道大学経理部主計課監査掛企画主任
- 平成 9年 4月 北海道大学経理部主計課総務掛会計法規主任
- 平成12年 4月 旭川医科大学総務部会計課出納係長
- 平成14年 4月 旭川医科大学総務部会計課総務係長
- 平成15年 4月 北海道大学経理部主計課専門職員
- 平成16年 4月 財務部主計課専門職員
- 平成17年 4月 財務部主計課財務企画係長
- 平成18年10月 学術国際部研究協力課課長補佐
- 平成20年 4月 財務部主計課課長補佐
- 平成22年 4月 施設部施設管理課長
- 平成23年 4月 財務部資産運用管理課長
- 平成24年 4月 総務企画部広報課長
- 平成26年 4月 財務部調達課長

- 昭和36年 4月生
- 昭和59年 4月 北海道大学医学部附属病院管理課
- 平成13年 4月 小樽商科大学会計課司計係長
- 平成16年 4月 北海道大学財務部主計課第一予算係長
- 平成17年 4月 北海道大学財務部主計課総括予算係長
- 平成18年 4月 北海道大学財務部主計課予算第一係長
- 平成19年 4月 北海道大学病院経営企画課課長補佐
- 平成21年 4月 北海道大学財務部主計課課長補佐
- 平成23年 4月 北海道大学研究推進部産学連携課長
- 平成25年 4月 北海道大学総務企画部企画課長



学務部次長（兼・学務部学務企画課長）に

よしはら はるゆき  
吉原 春之 氏

昭和32年 1月10日生  
 昭和50年 4月 北海道大学庶務部庶務課  
 昭和50年 5月 北海道大学工学部  
 昭和52年 4月 北海道大学工学部総務課  
 昭和56年 5月 北海道大学厚生課  
 昭和60年 5月 北海道大学教養部  
 平成 4年 4月 北海道大学庶務部庶務課  
 平成 7年 4月 北海道大学総務部総務課  
 平成 9年 4月 旭川工業高等専門学校庶務課庶務係長  
 平成12年 4月 北海道大学工学研究科・工学部総務課研究協力掛長  
 平成14年 4月 北海道大学総務部総務課法規・調査掛長  
 平成16年 4月 北海道大学総務部総務課法規係長  
 平成17年 4月 北海道大学企画部企画調整課課長補佐  
 平成21年 4月 北海道大学企画部調査分析課長  
 平成23年 4月 小樽商科大学学務課長  
 平成25年 4月 北海道大学学務部教務課長  
 平成26年 4月 北海道大学学務部学務企画課長



研究推進部次長（兼・研究推進部研究振興企画課長）に

かつやま のりあき  
勝山 憲明 氏

昭和33年12月23日生  
 昭和59年 3月 北海学園大学経済学部卒業  
 昭和52年 4月 室蘭工業大学  
 昭和54年 5月 北海道大学  
 平成11年 4月 旭川医科大学会計課用度第一係長  
 平成12年 4月 旭川医科大学会計課司計係長  
 平成14年 4月 北海道大学経理部主計課第二予算掛長  
 平成15年 4月 北海道大学経理部主計課第一予算掛長  
 平成16年 4月 北海道大学経理部主計課総括予算係長  
 平成17年 4月 北海道大学経理部主計課課長補佐  
 平成21年 4月 北海道大学企画部企画調整課長  
 平成23年 4月 北海道大学総務企画部企画課長  
 平成24年 4月 帯広畜産大学財務課長  
 平成26年 4月 北海道大学研究推進部研究振興企画課長



総務企画部総務課長に

すずき たけし  
鈴木 剛 氏

昭和39年 4月生  
 昭和60年 5月 大学入試センター事業部事業課  
 平成 6年 4月 文部省高等教育局大学課大学入試室  
 平成 8年 4月 文部省高等教育局大学課大学改革推進室学務係主任  
 平成 9年 4月 文部省高等教育局企画課研修交流係長  
 平成10年10月 文部省高等教育局学生課調査係長  
 平成13年 4月 放送大学学園教務部大学院課課長補佐  
 平成15年 4月 放送大学学園教務部教務課課長補佐  
 平成16年 4月 独立行政法人大学評価・学位授与機構管理部学位審査課長  
 平成19年 4月 大阪大学学生部学生支援課長（兼）キャリア支援室長  
 平成21年 4月 大学共同利用機関法人自然科学研究機構事務局総務課長  
 平成24年 4月 京都大学総務部総務課長  
 平成26年 4月 東京医科歯科大学総務部総務企画課長  
 平成27年 4月 東京医科歯科大学総務部総務秘書課長  
 （兼）広報部広報課長



総務企画部人事課長に

くまがい たつや  
熊谷 達也 氏

昭和51年 4月30日生  
 札幌大学経営学部卒業  
 平成13年 4月 釧路工業高等専門学校庶務課  
 平成16年 4月 独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局総務課  
 平成18年 4月 文部科学省大臣官房人事課  
 平成19年 4月 文部科学省大臣官房人事課総務班  
 平成20年 8月 文部科学省大臣官房人事課任用班  
 平成21年 7月 文部科学省大臣官房人事課任用班任用第一係主任  
 平成22年 5月 放送大学学園総務部総務課人事係長  
 平成24年 4月 文部科学省大臣官房人事課任用班専門職  
 平成25年 4月 文部科学省大臣官房人事課総務班総務係長  
 （併）文書情報管理係長  
 平成25年 8月 同（併）人事情報係長  
 平成26年 4月 文部科学省大臣官房人事課任用班任用第一係長  
 平成27年 4月 文部科学省大臣官房人事課専門官  
 （併）任用班任用第一係長



総務企画部人事課厚生労務室長に  
ひらまつ とおる  
**平松 亨 氏**

昭和39年12月10日生  
昭和58年4月 北海道大学  
平成15年4月 北海道大学総務部人事課専門職員  
平成16年4月 北海道大学総務部人事課任用計画掛長  
平成18年4月 北海道大学企画部企画調整課企画調整係長  
平成19年4月 北海道大学企画部企画調整課係長  
平成22年4月 北海道大学総務部人事課課長補佐  
平成23年4月 北海道大学総務企画部企画課課長補佐  
平成26年4月 北海道大学総務企画部人事課課長補佐



財務部主計課長に  
まえだ りゅうじ  
**前田 隆司 氏**

昭和49年12月3日生  
平成6年4月 山梨大学会計課  
平成13年4月 放送大学学園教務課  
平成15年4月 文部科学省大臣官房国際課  
平成17年4月 文部科学省大臣官房国際課総務係主任  
平成18年1月 文部科学省大臣官房会計課用度班契約第三係主任  
平成18年10月 放送大学学園経理課専門職員  
平成20年7月 文部科学省大臣官房会計課管理班管理係長  
(併) 企画渉外係長  
平成21年1月 文部科学省大臣官房会計課管理班管理係長  
平成23年4月 文部科学省大臣官房会計課用度班契約第三係長  
平成24年4月 文部科学省大臣官房会計課用度班総括係長  
平成25年4月 文部科学省大臣官房会計課総務班企画渉外係長  
平成26年4月 文部科学省大臣官房会計課専門官  
(併) 総務班総務係長



施設部環境配慮促進課長に  
たけうち しんじ  
**竹内 真司 氏**

平成4年4月 名古屋大学施設部建築課  
平成9年4月 名古屋大学施設部企画課  
平成12年4月 名古屋大学施設部建築課  
(併) 文部省大臣官房文教施設部計画課整備計画室  
平成13年10月 文部科学省大臣官房文教施設部計画課整備計画室  
平成15年4月 文部科学省大臣官房文教施設部計画課  
平成16年4月 文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課調査係主任  
平成16年10月 国立教育政策研究所文教施設研究センター企画係長  
平成20年4月 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設企画課  
防災推進室災害復旧係長  
平成22年4月 文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課管理調整係長  
平成25年4月 文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課予算執行第一係長  
平成27年4月 文部科学省大臣官房文教施設企画部計画課調査係長



附属図書館利用支援課長に  
ひぐち ひでき  
**樋口 秀樹 氏**

昭和39年5月生  
昭和62年4月 木更津工業高等専門学校  
平成元年4月 学術情報センター  
平成10年4月 学術情報センターシステム管理課システム業務係長  
平成12年4月 国立情報学研究所企画調整課共同利用係長  
平成15年4月 国立情報学研究所企画調整課情報基盤整備係長  
平成18年4月 国立情報学研究所企画調整課専門員  
平成20年4月 国立情報学研究所基盤企画課副課長  
平成23年4月 電気通信大学学術情報課長  
平成26年4月 旭川医科大学教務部図書館情報課長



医学系事務部会計課長に

よしだ なおみ  
吉田 直美 氏

昭和35年 3月22日生  
昭和55年 3月 藤女子短期大学国文科卒業  
昭和55年 3月 小樽商科大学  
昭和59年 9月 北海道大学  
平成17年 4月 北海道大学病院医療企画課専門職員  
平成17年10月 北海道大学病院医事課入院係長  
平成18年 4月 北海道大学病院医事課包括審査係長  
平成20年 4月 北海道大学医学系事務部総務課係長  
平成23年 4月 北海道大学病院医事課課長補佐  
平成27年 4月 北海道大学財務部経理課課長補佐



北海道大学病院医事課長に

さとう さとる  
佐藤 悟 氏

昭和37年10月24日生  
昭和56年 4月 弘前大学  
平成 7年 4月 弘前大学医療技術短期大学部  
平成 9年 8月 弘前大学  
平成11年 4月 弘前大学医学部管理課専門職員  
平成15年 4月 弘前大学医学部管理課医療材料係長  
平成16年 6月 弘前大学医学部管理課総務係長  
平成17年 4月 弘前大学医学部附属病院管理課管理グループ係長  
平成17年10月 一関工業高等専門学校会計課長  
平成19年 4月 秋田大学医学部医事課長(兼)医療サービス室長  
平成20年 4月 秋田大学医学部企画管理課長  
平成21年 4月 秋田大学医学系研究科・医学部企画管理課長  
平成22年 4月 弘前大学財務部契約課長  
平成25年 4月 弘前大学医学部附属病院医事課長



財務部資産運用管理課長に

たかの まさひろ  
高野 雅広 氏

昭和37年 6月13日生  
昭和56年 4月 北海道大学医学部附属病院管理課  
平成13年 4月 北海道大学大学院水産科学研究科・水産学部経理掛長  
平成16年 4月 北海道大学財務部経理課収入係長  
平成19年 4月 北海道大学財務部経理課係長(旅費・謝金担当)  
平成20年 4月 北海道大学財務部主計課係長(総務担当)  
平成21年 4月 室蘭工業大会計課課長補佐  
平成22年 7月 室蘭工業大学財務グループコーディネーター  
平成23年 7月 北海道大学財務部調達課課長補佐  
平成25年 4月 北海道大学財務部経理課課長補佐  
平成26年 4月 苫小牧工業高等専門学校総務課長



研究推進部産学連携課長に

いわさ としあき  
岩佐 俊明 氏

昭和40年 2月 3日生  
昭和58年 4月 北海道大学  
平成15年 4月 北海道大学経理部第一契約課専門職員  
平成16年 4月 北海道大学財務部調達課政府調達掛長  
平成19年 4月 北海道大学監査室係長(監査担当)  
平成21年 4月 北海道大学財務部主計課係長(総務担当)  
平成22年 4月 北海道大学医学系事務部総務課課長補佐  
平成24年 4月 北海道大学研究推進部外部資金戦略課課長補佐  
平成27年 4月 小樽商科大学企画戦略課課長代理



農学事務部事務長に  
みなが ひろひで  
**見永 博英 氏**

昭和34年 9月23日生  
昭和63年10月 北海道大学教養部  
平成12年 4月 北海道大学水産科学研究科・水産学部教務掛長  
平成15年 4月 北海道大学学務部入試課第二入試掛長  
平成16年 4月 北海道大学学務部入試課入試第二掛長  
平成17年 1月 北海道大学学務部教務課全学教育事務室全学教育第一係長  
平成19年 4月 北海道大学学務部教務課全学教育事務室係長  
平成20年 1月 北海道大学学務部教務課係長  
平成21年 4月 北海道大学総務部総務課秘書室室長補佐  
平成23年 4月 北海道大学工学系事務部教務課長  
平成25年 4月 小樽商科大学総務課長



北海道大学病院看護部長に  
さとう  
**佐藤 ひとみ 氏**

昭和33年 5月25日生  
昭和55年 3月 北海道大学医学部附属看護学校卒業  
昭和55年 4月 北海道大学医学部附属病院看護部  
平成 2年 4月 北海道大学医学部附属病院看護部副看護婦長  
平成 7年 4月 北海道大学医学部附属病院看護部看護婦長  
平成20年 3月 博士（北海道大学）  
平成24年 4月 北海道大学病院看護部副看護部長



北海道大学病院医療技術部長に  
しぶや ひとし  
**澁谷 斉 氏**

昭和36年 9月17日生  
昭和58年 3月 北海道大学医学部附属臨床検査技師学校卒業  
昭和58年 4月 北海道大学医学部附属病院検査部  
昭和63年 4月 北海道大学医学部附属病院検査部臨床検査技師  
平成10年 4月 北海道大学医学部附属病院検査部主任臨床検査技師  
平成18年 4月 北海道大学病院診療支援部副臨床検査技師長  
平成23年 4月 北海道大学病院診療支援部臨床検査技師長

## 訃報

名誉教授 ひでしま 秀島 てるお 光夫 氏  
(享年92歳)



名誉教授 秀島光夫先生が平成28年2月10日に逝去されました。先生は、昭和22年北海道帝国大学理学部物理学科をご卒業され、同23年より理化学研究所に勤務されました。その後、昭和39年北海道大学工学部に新設された応用物理学科の教授に迎えられ、応用物理学第二講座の担当者として、同学科の基礎の確立と発展に大きく貢献されました。先生の研究分野は、ソフトマター物理学、特に高分子物理学であ

り、一貫して高分子固体物性の研究に従事し、独創的かつ優れた業績をあげられました。また、学部、大学院の講義や研究指導を通じて教育にも力を注ぎ、学生から強く慕われていました。

先生の主要な業績は、高分子のガラス転移を自由体積変化の非線形緩和現象として解明したこと、結晶性高分子個体のマイクロ構造と緩和現象との関連を明らかにしたこと、高分子の分子運動特性を決めるのに有用な緩和スペクトロスコピーの手法を確立したことなどであり、いずれも国内外において高い評価を得ています。昭和34年にはガラス転移における力学緩和現象の研究により理学博士の学位を取得され、同60年には、「高分子のガラス転移及び緩和現象の研究」により、高分子学会より高分子科学功績賞を授与されました。また、平成11年には、勲三等瑞宝章を受章されています。

学外では、応用物理学会評議員、理事、北海道支部長、高分子学会北海道支部理事などを歴任され、学会の発展と研究者の育成にご尽力されました。また、ドイツでの在外研究員をはじめ、多くの国際学会で研究発表されるなど、研究の国際交流にも大きく貢献されました。

昭和61年に本学を停年退官されたあとは、新設の北海道情報大学の教授に迎えられ、同大学の設立にも大きく貢献されました。同大学を定年退職後は、ご自宅にて物理学書を耽読する日々を送られていました。

先生の長年にわたるご貢献に改めて感謝し、ここに謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(工学院・工学研究院・工学部)



# 資料

## 平成28年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ

学部・学科等	募集人員	入学者数		道内・道外人数		道内・道外比率		卒業年度別人数				卒業年度別比率		その他	
		全体	女子	道内	道外	道内	道外	28年3月卒業	過年度卒業	28年3月卒業	過年度卒業	人数	比率		
総合入試文系	100	100	35	22	78	22.0%	78.0%	79	21	79.0%	21.0%	0	0.0%		
総合入試理系	数学重点選抜群	130	136	14	62	74	45.6%	54.4%	94	42	69.1%	30.9%	0	0.0%	
	物理重点選抜群	235	250	25	103	146	41.2%	58.4%	131	118	52.4%	47.2%	1	0.4%	
	化学重点選抜群	235	244	55	67	176	27.5%	72.1%	115	128	47.1%	52.5%	1	0.4%	
	生物重点選抜群	177	187	66	29	158	15.5%	84.5%	125	62	66.8%	33.2%	0	0.0%	
	総合科学選抜群	250	263	95	93	168	35.4%	63.9%	166	95	63.1%	36.1%	2	0.8%	
	計	1,027	1,080	255	354	722	32.8%	66.9%	631	445	58.4%	41.2%	4	0.4%	
文学部	155	161	76	64	95	39.8%	59.0%	125	34	77.6%	21.1%	2	1.2%		
教育学部	30	33	17	18	13	54.5%	39.4%	24	7	72.7%	21.2%	2	6.1%		
法学部	180	188	57	89	97	47.3%	51.6%	139	47	73.9%	25.0%	2	1.1%		
経済学部	160	169	54	90	77	53.3%	45.6%	114	53	67.5%	31.4%	2	1.2%		
理学部	数学科	13	14	0	3	9	21.4%	64.3%	10	2	71.4%	14.3%	2	14.3%	
	物理学科	10	10	0	2	7	20.0%	70.0%	7	2	70.0%	20.0%	1	10.0%	
	化学科	23	23	3	6	17	26.1%	73.9%	12	11	52.2%	47.8%	0	0.0%	
	生物科学科	生物学専修分野	10	10	2	0	10	0.0%	100.0%	6	4	60.0%	40.0%	0	0.0%
		高分子機能学専修分野	5	5	1	1	4	20.0%	80.0%	1	4	20.0%	80.0%	0	0.0%
	小計	15	15	3	1	14	6.7%	93.3%	7	8	46.7%	53.3%	0	0.0%	
	地球惑星科学科	10	10	3	1	9	10.0%	90.0%	10	0	100.0%	0.0%	0	0.0%	
計	71	72	9	13	56	18.1%	77.8%	46	23	63.9%	31.9%	3	4.2%		
医学部	医学科	102	102	25	48	53	47.1%	52.0%	47	54	46.1%	52.9%	1	1.0%	
	保健学科	看護学専攻	67	72	69	56	15	77.8%	20.8%	47	24	65.3%	33.3%	1	1.4%
		放射線技術科学専攻	35	36	14	30	6	83.3%	16.7%	21	15	58.3%	41.7%	0	0.0%
		検査技術科学専攻	35	36	21	26	10	72.2%	27.8%	19	17	52.8%	47.2%	0	0.0%
		理学療法専攻	17	17	6	11	6	64.7%	35.3%	11	6	64.7%	35.3%	0	0.0%
		作業療法専攻	17	17	9	9	8	52.9%	47.1%	13	4	76.5%	23.5%	0	0.0%
	小計	171	178	119	132	45	74.2%	25.3%	111	66	62.4%	37.1%	1	0.6%	
計	273	280	144	180	98	64.3%	35.0%	158	120	56.4%	42.9%	2	0.7%		
歯学部	43	43	17	21	22	48.8%	51.2%	18	25	41.9%	58.1%	0	0.0%		
薬学部	24	25	11	4	19	16.0%	76.0%	11	12	44.0%	48.0%	2	8.0%		
工学部	応用理工系学科	38	43	7	10	27	23.3%	62.8%	21	16	48.8%	37.2%	6	14.0%	
	情報エレクトロニクス学科	38	40	4	6	28	15.0%	70.0%	20	14	50.0%	35.0%	6	15.0%	
	機械知能工学科	30	33	4	2	26	6.1%	78.8%	11	17	33.3%	51.5%	5	15.2%	
	環境社会工学科	53	52	8	11	40	21.2%	76.9%	30	21	57.7%	40.4%	1	1.9%	
	計	159	168	23	29	121	17.3%	72.0%	82	68	48.8%	40.5%	18	10.7%	
農学部	53	56	18	4	50	7.1%	89.3%	34	20	60.7%	35.7%	2	3.6%		
獣医学部	35	37	15	4	33	10.8%	89.2%	21	16	56.8%	43.2%	0	0.0%		
水産学部	175	175	42	43	132	24.6%	75.4%	89	86	50.9%	49.1%	0	0.0%		
現代日本学プログラム	-	19	15	-	-	-	-	-	-	-	-	19	100.0%		
合計	2,485	2,606	788	935	1,613	35.9%	61.9%	1,571	977	60.3%	37.5%	58	2.2%		

※その他とは、高等学校卒業程度認定試験合格者、高等専門学校第3学年修了者、帰国子女入試による入学者及び外国人留学生である。

(学務部入試課)

## 平成28年度入学者の都道府県分布及び地域比率

地域名	入学者	男子	女子	地域%
-----	-----	----	----	-----

北海道	935	617	318	35.9%
-----	-----	-----	-----	-------

東北	126	82	44	4.8%
----	-----	----	----	------

青森県	27	15	12
-----	----	----	----

岩手県	20	16	4
-----	----	----	---

宮城県	37	19	18
-----	----	----	----

秋田県	15	10	5
-----	----	----	---

山形県	7	6	1
-----	---	---	---

福島県	20	16	4
-----	----	----	---

関東	603	451	152	23.1%
----	-----	-----	-----	-------

茨城県	46	34	12
-----	----	----	----

栃木県	28	21	7
-----	----	----	---

群馬県	36	25	11
-----	----	----	----

埼玉県	79	63	16
-----	----	----	----

千葉県	75	58	17
-----	----	----	----

東京都	246	179	67
-----	-----	-----	----

神奈川県	93	71	22
------	----	----	----

北陸・中部	361	252	109	13.9%
-------	-----	-----	-----	-------

新潟県	34	24	10
-----	----	----	----

富山県	36	27	9
-----	----	----	---

石川県	44	26	18
-----	----	----	----

福井県	11	9	2
-----	----	---	---

山梨県	19	14	5
-----	----	----	---

長野県	28	20	8
-----	----	----	---

岐阜県	18	11	7
-----	----	----	---

静岡県	70	49	21
-----	----	----	----

愛知県	101	72	29
-----	-----	----	----

地域名	入学者	男子	女子	地域%
-----	-----	----	----	-----

近畿	349	256	93	13.4%
----	-----	-----	----	-------

三重県	21	12	9
-----	----	----	---

滋賀県	17	16	1
-----	----	----	---

京都府	49	34	15
-----	----	----	----

大阪府	110	80	30
-----	-----	----	----

兵庫県	96	74	22
-----	----	----	----

奈良県	38	28	10
-----	----	----	----

和歌山県	18	12	6
------	----	----	---

中国・四国	107	79	28	4.1%
-------	-----	----	----	------

鳥取県	8	6	2
-----	---	---	---

島根県	4	3	1
-----	---	---	---

岡山県	13	10	3
-----	----	----	---

広島県	35	21	14
-----	----	----	----

山口県	7	6	1
-----	---	---	---

徳島県	5	4	1
-----	---	---	---

香川県	9	8	1
-----	---	---	---

愛媛県	22	17	5
-----	----	----	---

高知県	4	4	0
-----	---	---	---

九州・沖縄	67	47	20	2.6%
-------	----	----	----	------

福岡県	29	23	6
-----	----	----	---

佐賀県	3	3	0
-----	---	---	---

長崎県	5	3	2
-----	---	---	---

熊本県	11	7	4
-----	----	---	---

大分県	4	3	1
-----	---	---	---

宮崎県	0	0	0
-----	---	---	---

鹿児島県	8	6	2
------	---	---	---

沖縄県	7	2	5
-----	---	---	---

その他	58	34	24	2.2%
-----	----	----	----	------

高等学校卒業程度認定試験等	8	7	1
---------------	---	---	---

帰国子女入試	12	7	5
--------	----	---	---

外国人留学生	38	20	18
--------	----	----	----

入学者数合計	2,606	1,818	788
--------	-------	-------	-----

※地域別入学者数割合は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(学務部入試課)

## 編集メモ

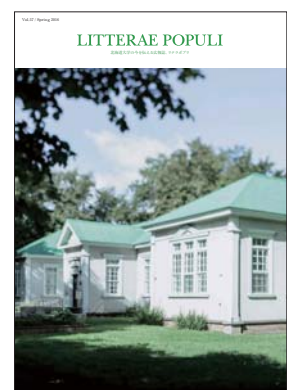
---

●4月になり、春の陽気を感じられるようになりました。キャンパス内では、コブシやツツジの花が咲き始めています。

●広報誌「リテラポプリ」57号を発行しました。

特集ページでは“きらめき”をテーマに、「新渡戸スクール」「理学研究院附属天文台『ビリカ望遠鏡』」「都ぞ弥生」を取り上げています。

◆ <http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/litterae.html>





2016.3.26 北海道新幹線 木古内～新函館北斗（七飯町・北斗市）

## 北の鉄道風景 37 海峡を越えて

1988年3月13日に供用開始された青函トンネルは、将来的に新幹線の運行が可能となるように建設された。1982年の閣議決定による整備新幹線計画の凍結に伴い、在来線という暫定的な形でスタートしてから29年目の今春、北海道新幹線が開業した。1964年の着工から半世紀を経て、新幹線車両を通すという建設当初の目的がようやく果たされたのだ。

写真は北海道新幹線が開業した3月26日の「はやて91号」、北海道に上陸した最初の新幹線営業列車である。津軽海峡とその彼方にうかがすむ津軽半島を背景に、北の大地を新幹線が駆け抜けるシーンを目の当たりにして、新しい時代の幕開けを実感した。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ④ No.745 平成28年4月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html